

第5次八幡市総合計画

第6次実施計画

みんなで創って好きになる 健やかで心豊かに暮らせるまち
～住んでよし、訪れてよし

Smart Wellness City, Smart Welcoming City Yawata～

令和5年6月
八 幡 市

目 次

第1章 ともに支え合う 「共生のまち やわた」	1
総 括	2
第1節 共に生きる社会	5
①人権・平和の尊重	5
②男女共同参画の推進	10
③障がいのあるなしにかかわらず地域で安心して暮らせる社会の推進	13
④地域の絆と支え合いによる共生社会の推進	20
第2節 協働による地域づくり	23
①コミュニティ活動による地域づくりの推進	23
②新たな担い手による地域づくり	27
第2章 子どもが輝く 「未来のまち やわた」	31
総 括	32
第1節 子育て支援	35
①妊娠・出産・育児サポート	35
②就学前教育・保育の充実	42
第2節 子どもの生きる力の育成	45
①学校教育	45
②児童・青少年の健全育成	52
第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な 「健幸のまち やわた」	55
総 括	56
第1節 健康で幸せのまちづくり	59
①健康づくり習慣の定着促進	59
②地域のつながりを活かした健幸づくり	65
③健幸につながるまちの基盤づくり	69
第2節 医療・介護の連携	73
①医療基盤の充実	73
②地域包括ケアシステムの推進	79
第4章 自然と歴史と文化が織りなす 「観幸のまち やわた」	85
総 括	86
第1節 シビックプライドの醸成	89
①文化芸術活動の振興	89
②お茶のある幸せの風景の創出	94
③豊かな自然・歴史との触れ合い	97
第2節 幸せと出逢う観光まちづくり	101
①「観幸のまち やわた」のブランド構築	101
②自然と歴史と文化が織りなす「出逢いの物語」観光の推進	105

第5章	しなやかに発展する 「活力のまち やわた」	・ ・ ・ ・ ・	109
	総 括	・ ・ ・ ・ ・	110
	第1節 活力の担い手育成	・ ・ ・ ・ ・	112
	①商工業の振興	・ ・ ・ ・ ・	112
	②農業の振興	・ ・ ・ ・ ・	117
	第2節 活力の基盤整備	・ ・ ・ ・ ・	121
	①企業立地の推進	・ ・ ・ ・ ・	121
	②人・物の流れをつくる基盤の整備	・ ・ ・ ・ ・	125
第6章	持続可能な 「安心・安全のまち やわた」	・ ・ ・ ・ ・	131
	総 括	・ ・ ・ ・ ・	132
	第1節 環境と発展の調和	・ ・ ・ ・ ・	137
	①環境にやさしい暮らしの創出	・ ・ ・ ・ ・	137
	②資源の循環利用	・ ・ ・ ・ ・	142
	第2節 安心・安全	・ ・ ・ ・ ・	144
	①地域ぐるみでの防犯・交通安全対策の推進	・ ・ ・ ・ ・	144
	②自助・共助・公助による防災・減災対策の推進	・ ・ ・ ・ ・	148
	③火災予防・消防活動の推進	・ ・ ・ ・ ・	154
	第3節 持続可能な暮らしの基盤づくり	・ ・ ・ ・ ・	157
	①生活都市としての魅力の向上	・ ・ ・ ・ ・	157
	②公共施設の適正管理とインフラ施設の更新・耐震化・長寿命化	・ ・ ・ ・ ・	162
	第4節 戦略的な行財政経営	・ ・ ・ ・ ・	166
	①健全で持続可能な財政運営	・ ・ ・ ・ ・	166
	②意欲と能力にあふれた組織と職員づくり	・ ・ ・ ・ ・	170
	③新たな需要に応える効果的で効率的な行政サービスの提供	・ ・ ・ ・ ・	173

凡 例

<各基本目標の総括「指標」について>

- ・計画当初値：第5次八幡市総合計画策定時の現状値。原則として平成28年度実績値。
 なお、第5次八幡市総合計画後期基本計画策定時（令和4年度）に追加した指標については「－」表示としている。
- ・前年度実績：「現状値」との経年比較を行うための値。
 なお、第6次実施計画における「前年度実績」は、第5次八幡市総合計画後期基本計画に掲載している「現状値（令和3年）」を転記している。
- ・現 状 値：当実施計画策定時の実績値。原則として令和5年3月末現在値。
- ・目 標 値：第5次八幡市総合計画に掲載している令和9年度の目標値。
 なお、第5次八幡市総合計画後期基本計画策定時（令和4年度）に追加した指標については、後期基本計画にのみ掲載。

<具体的事業名の表記について>

- ・【新規】：令和5年度から新たに取り組むこととしている事業。
- ・【充実】：令和5年度に取組内容等の充実を図ることとしている事業。
- ・【再掲】：施策体系上の位置付けが重複するため、計画中に2回以上掲載されている事業。
 副次的な位置付けとして掲載している場合に表示。

<繰越額の表記について>

- ・「R4 予算(千円)」に繰越額を内数表記。

(例)

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
〇〇事業	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	10,000	5,000	5,000
	R4 実績: 〇〇〇〇〇	(繰越:5,000)		

第1章

ともに支え合う
「共生のまち やわた」

第1章 総括

基本目標	ともに支え合う「共生のまち やわた」
------	--------------------

< 施策体系 >

第1節 共に生きる社会

めざす姿	すべての人の人権が尊重され、多様な人々が地域の中でいきいきと活躍できています。
------	---

① 人権・平和の尊重

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
人権文化セミナーの参加者数	人	705	185	358	600	○
日本語教室の在籍者数	人	28	115	90	115より高い (※1)	△

※1…115人は後期基本計画策定時の最新数値。

② 男女共同参画の推進

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
市役所の男性職員の育児休業取得率	%	0.0	44.4	60.0	50.0	◎
市役所の管理・監督職女性比率	%	25.9	24.3	26.5	35.0	○
審議会等委員の女性比率	%	33.2	34.2	35.7	45.0	○
男女共同参画社会啓発事業への参加者数	人	245	49	109	300	○

③ 障がいのあるなしにかかわらず地域で安心して暮らせる社会の推進

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数	件	-	6	10	8	◎
就労系サービス利用者及び一般就労移行者の数(延人数)	人	1,889	2,420	2,466	3,000	○
計画相談支援利用者数(延人数)	人	447	748	810	748より高い (※2)	◎

※2…748人は後期基本計画策定時の最新数値。

④ 地域の絆と支え合いによる共生社会の推進

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
地域で活動する団体や住民が連携するネットワークの設置数	団体	4	7	7	8	○
生活保護からの自立世帯件数	件	38	27	42	49	○

第2節 協働による地域づくり

めざす姿	多様な担い手による地域づくりが活発に行われ、地域のつながりが広がり、暮らしの安心が高まっています。
------	---

① コミュニティ活動による地域づくりの推進

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
自治組織団体への加入率	%	69.1	68.1	67.6	73.0	△
自主防災組織設立地域数	地域	43	43	43	48	○

② 新たな担い手による地域づくり

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
市民協働活動センター利用登録団体数	団体	15	15	15	25	○
ボランティア保険加入者数	人	-	1,031	1,161	1,125	◎
リカレント教育推進講座の受講者数	人	532	407	527	700	○
生涯学習人材バンク登録者数	人	91	104	105	110	○
生涯学習人材バンク利用件数	件	-	0	0	10	○

達成の 状況の	目標値を達成(◎)		4 件	22.2%
	未達成	「前年度実績」より前進または同値(○)		12 件 66.7%
		「前年度実績」より後退(△)		2 件 11.1%

第1章 総括

基本目標 ともに支え合う「共生のまち やわた」

総括(指標の達成状況・今後の方向性)

第1節	<p>(めざす姿の実現に向けて実施した取組、指標の達成状況) 人権・平和の尊重については、八幡市非核平和都市推進協議会と連携して平和意識の高揚を図るとともに、第2次八幡市人権のまちづくり推進計画に基づき、様々な人権問題に対して地域・学校・企業等、市民がかかわる場面において人権教育・啓発の推進を図った。また、男女共同参画の推進については、市職員の男性育児休業取得率や管理・監督職女性比率の向上を図るとともに、ワーク・ライフ・バランス啓発等により、家事や育児への男性の参画促進を進めるなど、女性の社会参画の推進に向けた環境の形成を進めた。</p> <p>誰もが安心して暮らせる共生社会の推進に向けては、八幡市障がい者計画等の推進や第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画に基づき、障がい児・者への相談支援や地域生活支援事業を提供するための体制の確保を総合的かつ計画的に行った。また、社会福祉協議会と協働し、全ての住民が気軽かつ自由に語り合える「めばえの談話」、地域活動者を中心とした「まちの談話」、福祉に関わる専門職による「むすびの談話」など、「わたしたちの談話」プロジェクトの取組を進め、地域について語り合える場づくりを行った。さらに、生活に困窮した方が自立に向けた目標を設定し、それに対する支援を行うことで、市民自身の生活力向上、ひいては経済的な自立につながった。</p> <p>指標の達成状況では、いずれの指標も概ね前年度実績より前進しており、中でも「市役所の男性職員の育児休業取得率」「地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数」「計画相談支援利用者数(延人数)」については目標値を達成している。</p>
	<p>(今後の取組方針) 人権・平和の尊重及び男女共同参画の推進については、現行の事業を引き続き実施するとともに、人権や男女共同参画に係る具体的な取組の可視化や、啓発事業の参加者増加に向けた検討を行う。また、外国人人材の配置や日本語指導ボランティアの養成等により相互理解に向けた取組を行うなど、多文化共生の促進に向け取り組む。</p> <p>市役所の男性職員の育児休業制度は一定浸透しているものと思われるが、引き続き周知啓発を図るとともに、今後も性別に関わらず適正な人員配置を行う中で、管理・監督職への積極的な女性登用を進める。また、八幡市男女共同参画プラン 一歩計画Ⅲに基づき、ワーク・ライフ・バランスの推進について、関係団体と連携しながら企業等への広報や情報提供を進めていく。</p> <p>誰もが安心して暮らせる共生社会の推進に向けては、障がい児・者をはじめ、様々な状況に置かれた方に対する取組を継続的に実施するとともに、絆ネットワークと統合した新たな「談話プロジェクト」を第3次地域福祉推進計画の重点取組に位置付け、アフターコロナを見据えた交流や対話の場づくりなど、住民主体の活動を活性化させる手法を検討する。また、引き続き状況に応じた就労支援を実施しながら、就労支援の他に様々な課題を有している方へ向け、他施策等の活用や関係機関と連携し、自立支援を進めていく。</p> <p>さらには、近年問題提起されているヤングケアラーについては、まずは関係機関と課題認識の共有を図るとともに、既存サービスへの接続を図っていく。</p>
第2節	<p>(めざす姿の実現に向けて実施した取組、指標の達成状況) コミュニティ活動による地域づくりの推進については、自治連合会と連携した加入促進資料の作成・配布等により、若年層や市内転入者の自治会新規加入を促したほか、様々なコミュニティによる活動が活発に行われるよう、広報板設置等をはじめとした支援を行うとともに、絆ネットワークや学校支援地域本部、自主防災組織等との連携促進を図った。</p> <p>新たな担い手による地域づくりについては、市民の学習機会の拡充やリカレント教育の促進を図るため、様々な講師を招き、生涯学習の充実に取り組んだほか、NPOの設立支援等の地域の担い手づくりに取り組んだ。</p> <p>指標の達成状況では、概ね前年度より前進もしくは同値となっているが、核家族化の進展等による地域の繋がり希薄化や加入者の高齢化により「自治組織団体への加入率」が後退している。また、「生涯学習人材バンク登録者数」は伸びているが、「生涯学習人材バンク利用件数」は0件が続いており、周知拡大に努めるとともに、ニーズの掘り起こしやマッチングが課題となっている。</p>
	<p>(今後の取組方針) コミュニティ活動による地域づくりの推進に向け、自治会への加入促進や地域防災活動への各種支援、出前講座の開催による地域の防災意識向上等に引き続き取り組む。</p> <p>新たな担い手による地域づくりに向けては、多様化する学習ニーズに対応するべく、生涯学習人材バンク登録者と学習意欲のあるサークル等とのマッチングを図り、生涯学習機会の拡充に努める。また、大学や企業など民間事業者等と包括連携協定を締結し、それに基づく連携を推進することにより、地域課題の解決に向け取り組んでいく。</p>

第1章 総括

基本目標	ともに支え合う「共生のまち やわた」
------	--------------------

総合計画検討懇談会の意見

地域を支える団体として自治組織や市民協働団体の重要性が増している。このうち自治組織の加入率が低下しているため、自治組織への加入率の向上について工夫していただきたい。双方に言えることは、地域の担い手となるリーダーの育成と魅力ある活動内容が重要であると思う。他地域の成功事例を具体的に示すなどして、より効果的な取組について検討されたい。

労働力不足もあり、外国籍の方がこれから急速に増えることを考えると、それらの方々が孤立することがないように地域との交流が重要となってくる。他の国々の多様な文化や歴史を知ることは地域の住民にとっても教養を深める機会にもなる。既に実施されている交流の場づくりに引き続き取り組むとともに、外国人支援団体等との連携・協力に取り組まされたい。

市の男性職員の育児休業取得率が高まっている。その背景をPRして、一般企業の啓発に役立てられたい。

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

①人権・平和の尊重

1 人権尊重に向けた相談体制の充実		市民生活部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆人権交流センター運営 ◆人権擁護委員による人権相談の実施	人権擁護委員や関係機関と連携し、人権相談の充実を図るとともに、人権擁護活動を進める。			
	R5	R6	R7	
	◆人権交流センター運営	⇒	⇒	
◆人権擁護委員による人権相談の実施	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
人権交流センター管理運営(各種相談)	八幡人権・交流センター及び有都交流センターにおいて、人権をはじめとする各種相談に応じる。	0	0	0
	R4実績: 八幡人権・交流センター各種相談 延べ 189人 有都交流センター各種相談 延べ 18人			
人権相談(人権擁護委員)	差別、いやがらせなどの人権に関わる悩みごと等について人権擁護委員による相談を実施。	0	0	0
	R4実績: 相談 2件			
城南人権擁護委員協議会負担金	人権擁護のための啓発活動等に取り組む城南人権擁護委員協議会に対し、事業費の一部を負担。	166	166	165
	R4実績: 構成員 12市町村 委員数 69名			

第1章 とともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

①人権・平和の尊重

2 人権に関する教育・啓発活動の充実		市民生活部、こども未来部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆人権教育推進協議会との連携強化による教育・啓発 ◆団体等への活動支援	人権を大切にし、尊重しあう習慣が根付いた人権文化の確立に向け取組を進めるとともに、人権教育推進協議会等との連携により、多様な人権問題に関する教育・啓発を推進する。			
	R5	R6	R7	
	◆人権教育推進協議会との連携強化による教育・啓発	⇒	⇒	
	◆団体等への活動支援	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
第2次八幡市人権のまちづくり推進計画推進	人権教育・啓発施策を総合的・計画的に進めるため策定した「人権のまちづくり推進計画」に基づき、各種事業を実施。 R4実績： 計画推進	0	0	0
八幡市人権・交流センター管理運営(各種啓発・教育事業等)	八幡市人権・交流センターを拠点として、各種講座や教室の開設、地域交流事業の実施、啓発誌の発行等を行う。 R4実績： 会議室利用 212件(4,054人) 講座・教室 8講座 延べ 1,590人 デイサービス事業 12回実施 524人	47,301	45,979	46,600
有都交流センター管理運営(各種啓発・教育事業等)	有都交流センターを拠点として、各種講座や教室の開設、交流センターまつり等を行う。 R4実績： 会議室等利用 44件(351名) 講座・教室 6講座 延べ 960名 有都交流フェスタ 中止	21,789	21,284	21,650
人権啓発事業(人権文化セミナー)	あらゆる人権を尊重する意識の高揚を図るため、市民を対象とした講演会等を開催。 R4実績： 開催 4回 参加者延べ358名	882	840	1,430
人権啓発事業(部落解放・人権政策推進八幡市実行委員会助成)	人権問題解決に向け、国に対して総合的な政策の実施を求め活動する部落解放・人権政策推進八幡市実行委員会に対し、活動費の一部を助成。 R4実績： 構成員 47団体	450	380	450
人権啓発事業(山城人権ネットワーク推進協議会負担金)	山城地域における人権尊重理念の普及と様々な人権問題の解決を図るため、山城人権ネットワーク推進協議会に対し、広報啓発事業や就業促進事業等の事業費の一部を負担。 R4実績： 構成員15市町村及び71団体	468	468	933
人権啓発事業(人権啓発事業助成)	八幡市内で組織されている自治組織等の各種団体に対し、人権問題の啓発活動費の一部を助成。 R4実績： 実績なし	300	0	300
人権啓発事業(人権の花運動)	花の栽培及び鑑賞を通じて人権思想に対する理解を深め、豊かな人権感覚を身につけることを目的に、市内小学校児童に球根を配布。 R4実績： くすのき小 100個、さくら小 80個	149	149	104
人権教育推進(人権教育推進協議会活動助成)	市民主体で人権育成に取り組む人権教育推進協議会に対し、活動費の一部を助成。 R4実績： 構成員 235人	720	652	720

第1章 とともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

①人権・平和の尊重

具体的事業名	概要・実績		R4		R5
			予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
人権教育推進 (人権教育学習講座)	人権教育推進協議会との共催により、人権教育学習講座等を開催。		151	140	151
	R4実績:	2回開催、参加者延べ70人			
人権教育推進 (人権啓発ポスター募集・展示)	市内小・中学校から人権をテーマにしたポスターを募集し、展示・表彰を実施。		139	102	138
	R4実績:	ポスター出展 802点			
人権教育総合推進地域事業 【文部科学省指定】	多様性を認め合い、共に高め合う子どもを育てる学校・家庭・地域づくりを目指して、日本語指導が必要な外国人児童生徒に対してできる支援を考えることで、外国人の人権について調査研究を行う。		1,030	681	930
	R4実績:	12/1研究大会開催 参加者77人 八幡市人権学習実践事例集150部作成			

第1章 とともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

①人権・平和の尊重

3 平和構築への関心の喚起		市民生活部、健康福祉部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆非核平和都市推進協議会への活動助成を通じ、連携した取組を実施 ◆戦没者遺族援護事業実施 ◆戦没者遺族追悼式開催	八幡市非核平和都市推進協議会と連携し、平和を構築していく意識の高揚を図るとともに、平和に関する学習機会や情報の提供を実施する。また、戦没者遺族への援護事業や戦没者追悼式を継続して開催する。			
	R5	R6	R7	
	◆非核平和都市推進協議会への活動助成を通じ、連携した取組を実施	⇒	⇒	
	◆戦没者遺族援護事業実施	⇒	⇒	
	◆戦没者遺族追悼式開催	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
八幡市非核平和都市推進協議会助成	非核平和都市宣言の推進に向け、市内団体・個人で組織される「八幡市非核平和都市推進協議会」に対し、活動費の一部を助成。	896	729	896
	R4実績: 構成員 13団体 20人			
平和の折り鶴運動【非核平和都市推進協議会連携事業】	市内公共施設に回収かごを設置して折り鶴を募集し、一定期間公共施設で展示した後、広島・長崎へ送付。	0	0	0
	R4実績: 市内20か所に回収かご設置 約54,000羽回収			
平和大使派遣事業【非核平和都市推進協議会連携事業】	広島平和記念式典に市内各中学校から代表者各2人を派遣し、派遣後に報告会を開催。	61	44	61
	R4実績: 派遣11人(中学生8人・協議会委員2人・職員1人) 報告会開催(R4.9.17)			
平和のつどい開催【非核平和都市推進協議会連携事業】	平和構築の意識喚起を図るための啓発・学習事業として開催。(平和大使報告会と同時開催)	0	0	0
	R4実績: 令和4年9月17日開催 参加者68名			
戦没者遺族等援護事業	戦没者遺族等への援護事業を実施。また八幡市遺族会に対し、活動費の一部を助成。	330	330	330
	R4実績: 遺族会4団体で戦没者遺族等への情報提供及び相談受付			
戦没者追悼事業	戦没者の慰霊のため、追悼式を開催。	900	678	910
	R4実績: 開催1回(R4.10.25) 参加者 24人			

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

①人権・平和の尊重

4 外国人との共生社会の構築		政策企画部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
<ul style="list-style-type: none"> ◆日本語教室の開催支援 ◆多文化共生に向けた啓発 ◆外国語自動翻訳機設置 ◆多言語生活相談 	外国人の生活・就労・就学に向けた日本語習得支援を継続するとともに、日本語を話すことができない外国人への支援に向け、外国人人材の活用による窓口等での通訳や市役所各窓口でのやさしい日本語、外国語自動翻訳機の活用等を進める。また、多文化共生への正しい理解と認識の浸透を図るため、くらしのそうだん事例集を活用するなど効果的な啓発を実施するとともに、互いの文化等に触れることができる交流イベントの開催等により、交流機会の創出に努める。			
	R5	R6	R7	
	◆日本語教室の開催支援	⇒	⇒	
	◆外国人人材の活用	⇒	⇒	
◆多文化共生に向けた啓発	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
日本語教室の開催支援(公民館)	日本語教室を開催する団体等に対し、男山公民館、志水公民館における貸部屋使用料を免除。 R4実績： 男山179回、志水42回	0	0	0
外国語自動翻訳機設置	日本語を話すことができない外国人居住者等への対応を円滑に行うため、音声認識の外国語自動翻訳機を設置。 R4実績： 庁内窓口 4台常設 庁外施設等 2台常設	0	0	0
多文化共生に向けた啓発	多文化共生への理解・認識の浸透を図るため、「くらしのそうだん事例集」などを活用し、情報提供の充実を図る。 R4実績： 出前講座1回 啓発活動(広報やわたへのコラム掲載)	0	0	0
日本語指導ボランティア養成	外国人居住者の日本語習得の促進に向け、日本語指導ボランティアの育成、スキルアップを図る。 R4実績： 開催3回 受講者延べ65名	150	143	150
【新規】 外国人人材の活用	多文化共生の促進に向け、交流イベントの企画や窓口での通訳等が可能な外国人人材を配置する。 R4実績： —	—	—	1,180
学力向上推進事業(日本語支援員・母語通訳者派遣)【再掲】	日本語指導を必要とする児童生徒に対する日本語指導のための支援員の派遣や、保護者対応のための母語通訳者を派遣する。 R4実績： 日本語支援員・母語通訳者派遣 延92回	600	562	840

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

②男女共同参画の推進

1 男女の人権の保護		市民生活部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆女性問題アドバイザーによる随時相談 ◆カウンセラーによる定期相談実施 ◆女性団体との連携による啓発講座等実施	女性問題アドバイザーやカウンセラーによる女性相談を継続的に実施するとともに、女性団体との連携による各種講座の開催や啓発活動を進める。	R5	R6	R7
	◆女性問題アドバイザーによる随時相談	⇒	⇒	⇒
	◆カウンセラーによる定期相談実施	⇒	⇒	⇒
	◆女性団体との連携による啓発講座等実施	⇒	⇒	⇒
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
女性相談 (女性問題アドバイザー相談)	八幡人権・交流センターにおいて、女性問題アドバイザー女性相談を随時実施。 R4実績: 一般相談 409件	0	0	0
女性相談(カウンセラー相談)	八幡人権・交流センターにおいて、カウンセラーによる女性相談を月2回実施。 R4実績: 専門相談 9件	600	599	600
八幡市女性団体連絡協議会活動助成	女性団体の行う実践活動を支援し、男女共同参画社会の実現を目指す八幡市女性団体連絡協議会に対し、活動費の一部を助成。 R4実績: 構成員 7団体 500名	135	135	135
女性に対する暴力をなくす運動啓発事業	女性団体との連携・協力のもと、女性に対する暴力問題に関する啓発講座を開催するとともに、啓発事業を実施。 R4実績: 講座開催 13人参加(R4.11.25) 街頭啓発実施(R4.11.11) パープルライトアップ	50	50	50
DV被害者支援カード発行	DV被害者支援カードを作成し、公共機関等に設置することにより、相談窓口の周知を図り、被害者の相談を促す。 R4実績: 作成 1,000部	21	22	25
女性問題アドバイザーだより発行	女性を応援する情報紙として、女性問題アドバイザーだよりを発行。 R4実績: 3回発行 各500部	0	0	0

第1章 とともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

②男女共同参画の推進

2 男女共同参画の推進		政策企画部、市民生活部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆男女共同参画プラン推進(計画改訂) ◆やわた男女共同参画フェスティバル開催 ◆男女共同参画リーダーの養成 ◆「男女共同参画事業女性の船」への参加	「八幡市男女共同参画プランるーぷ計画Ⅲ」に基づき、女性団体との連携による啓発活動を引き続き実施するなど、男女共同参画社会の一層の推進に向け取り組む。また、京都府と連携を図るため、府主催事業への市の女性職員の参加を促進する。			
	R5	R6	R7	
	◆男女共同参画プランるーぷ計画Ⅲの推進	⇒	⇒	
	◆やわた男女共同参画フェスティバル開催	⇒	⇒	
	◆男女共同参画リーダーの養成	⇒	⇒	
◆「男女共同参画事業女性の船」への参加	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
男女共同参画プランるーぷ計画Ⅲ推進	男女共同参画社会の実現に向けた施策を体系的に示す計画に基づき、各種事業を推進。 R4実績: 計画推進	0	0	0
やわた男女共同参画るーぷフェスティバル	八幡市女性団体連絡協議会と連携し、男女共同参画に係る啓発等を行うフェスティバルを開催。 R4実績: 参加者 61名(R5.2.4)	165	165	200
男女共同参画リーダー養成講座	男女共同参画推進に向け、市民啓発等を行うリーダーの養成をめざし、講座を開催。 R4実績: 参加者 17名(R4.7.4)	50	50	50
男女共同参画社会啓発講座	男女共同参画社会の実現に向けた市民意識啓発を図るため、講座を開催。 R4実績: 参加者 18名(R4.10.20)	50	50	50
女性ルームの運営	男女共同参画を目指す拠点として、八幡人権・交流センター内に「女性ルーム」を設置。 R4実績: 利用 433名	0	0	0
男女共同参画社会をめざす啓発冊子等	男女共同参画社会の実現に向けた市民意識啓発を図るため、冊子等を配布。 R4実績: 男女共同参画リーフレット400冊購入	47	47	47
男女共同参画週間啓発パネル展示	男女共同参画社会の実現に向けた市民意識啓発を図るため、男女共同参画週間に啓発パネル展示を実施。 R4実績: 7日間展示(八幡人権・交流センター内)	0	0	0
男女共同参画事業「京都府女性の船」	京都府主催の「京都府 女性の船」に市女性職員が参加し、男女共同参画の推進と職場における女性リーダーの育成を図る。 R4実績: 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	45	0	45

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

②男女共同参画の推進

3 ワーク・ライフ・バランスの確保		政策企画部、市民生活部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆市内事業所等への周知啓発 ◆市民・企業向け講座等実施 ◆市職員への周知啓発	「男女共同参画プランるーぷ計画Ⅲ」に基づき、男女がともに仕事と家事・育児・介護等の家庭生活のバランスを図れるよう、広報や情報提供、市内事業所等への啓発を進める。また、市職員についても「子育て応援ハンドブック」の活用等により、休暇・休業制度等の周知・啓発を進める。			
	R5	R6	R7	
	◆市内事業所等への周知啓発	⇒	⇒	
	◆市職員への周知啓発	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
男女共同参画プランるーぷ計画Ⅲ推進【再掲】	計画に基づき、ワーク・ライフ・バランスに係る市内事業所等への周知・啓発を図る。	0	0	0
	R4実績: 計画推進			
ワーク・ライフ・バランス啓発	ワーク・ライフ・バランスの推進のため情報提供を行う。	0	0	0
	R4実績: 周知啓発			
八幡市特定事業主行動計画(後期)推進	前期計画に引き続き、市職員のワーク・ライフ・バランスの確保及び女性職員の活躍に向け策定した「特定事業主行動計画」に基づき、取組を推進。(後期計画は、令和7年3月31日まで。)	0	0	0
	R4実績: 計画推進・周知啓発			
仕事・子育てに関する職員向け両立パンフレットによる休暇・休業制度等の周知・啓発	市職員が仕事と子育てを両立できるよう、「子育て応援ハンドブック」を活用し、男性・女性職員の休暇・休業制度等の周知・啓発を図る。	0	0	0
	R4実績: 周知啓発			

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

③障がいのあるなしにかかわらず地域で安心して暮らせる社会の推進

1 相談・保健・医療体制の充実		健康福祉部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
<p>◆地域生活支援拠点事業 ・相談支援事業拡充 ・障がい者生活支援事業充実</p> <p>◆保健・医療・福祉の連携、精神障がい者支援 ・早期退院・地域移行支援 ・学校・職域・地域における相談・カウンセリング機会充実 ・本人、家族のニーズに応じた相談体制の構築 ・障がい特性に応じた相談、情報提供体制の整備</p>	障がい児・者とその家族が地域で安心して生活できるよう、地域生活支援拠点を中心とした相談支援の充実を図る。また、八幡市障がい者計画や第7期障がい福祉計画及び第3期障がい児福祉計画を策定・推進するとともに、精神科病院に長期入院中の精神障がい者などの地域移行を進めるため、保健・医療と福祉の連携に取り組む。			
	R5	R6	R7	
	◆地域生活支援拠点事業 (相談支援事業充実) (障がい者生活支援事業充実)	⇒	⇒	
	◆保健・医療・福祉の連携 (精神障がい者支援) (相談対応・情報提供)	⇒	⇒	
	◆八幡市障がい者計画 推進・第7期障がい福祉 計画及び第3期障がい児 福祉計画策定	◆八幡市障がい者計画 推進・第7期障がい福祉 計画及び第3期障がい児 福祉計画推進	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
八幡市障がい者計画推進・第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画推進	障がい者施策及び障がい福祉サービスの推進に向け策定した計画に基づき、各種施策を実施。 R4実績: 計画に基づき施策推進	0	0	0
【新規】 八幡市障がい者計画推進・第7期障がい福祉計画及び第3期障がい児福祉計画策定	障がい者やその家族が地域で安心して生活できるよう、施策の基本的な事項や具体的な取組計画を策定。 R4実績: —	—	—	7,200
地域生活支援拠点事業	社会福祉法人への委託により、障がい児・者の相談支援や居室確保、障がい者生活支援事業等を地域生活支援拠点市内3か所で運営。 R4実績: 相談支援 延7,050件 居室確保延日数 1,047日	20,360	20,484	22,250
障害者福祉サービス等利用者負担金助成	障害者福祉サービス等利用者負担額の一部を助成。 R4実績: 3,432人(精神通院以外)	9,300	8,118	9,300
特別障害者手当等給付	20歳以上の在宅重度障がい者及び20歳未満の在宅重度障がい児等に対し、福祉手当を支給。 R4実績: 支給2,693件	61,600	61,658	63,500
自立支援 (障害者福祉サービス)	障がい者が利用した介護や訓練、相談支援等サービス費用の一部を給付。 R4実績: サービス利用者10,624人	1,422,340	1,397,745	1,456,340
自立支援 (自立支援医療)	障がい児・者が受けた更生医療や育成医療、療養医療にかかる医療費の一部を給付。 R4実績: 給付3,534件	153,950	138,113	169,070
自立支援 (補装具)	障がい児・者が利用した補装具の支給・修理費用の一部を助成。 R4実績: 助成 143件	16,000	16,087	16,960

第1章 とともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

③障がいのあるなしにかかわらず地域で安心して暮らせる社会の推進

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
自立支援 (自立支援医療特別対策事業)	障がい者が受けた在宅酸素療法等の治療費の一部を助成。 R4実績: 実績なし	240	0	240
地域生活支援事業 (相談支援)	在宅福祉サービスの利用補助等を実施するとともに、障がい児(者)相談支援事業において生活支援・相談活動を実施。 R4実績: ういる 延27件	150	150	150
地域生活支援事業 (障害者介護給付費等支給認定審査)	障害者介護給付等支給認定審査会において、障害支援区分認定に係る調査を実施。 R4実績: 12回開催、審査員6名	2,770	2,405	2,770
地域生活支援事業 (重症心身障がい者生活訓練)	重症心身障がい者を対象に、PT(理学療法士)及び看護師による機能訓練等日常生活に必要な訓練指導を委託により実施。 R4実績: 訓練等実施255回	1,200	1,200	1,200
地域生活支援事業 (精神障がい者集団指導)	回復途上の精神障がい者を対象に、規則的な生活習慣の振り返りや対人関係づくり等社会参加の促進を図る取組を実施。 R4実績: 24回/年実施 延 115名参加	3,797	2,383	3,618
地域生活支援事業 (精神福祉普及)	精神障がいへの理解を目標に、専門家や当事者等による講演や市事業の紹介を行う「精神保健福祉を考えるつどい」を開催。 R4実績: 令和5年3月17日開催 32人参加	58	32	58
地域生活支援事業 (精神障がい者ボランティア団体支援)	在宅で精神に障がいを持つ人に向け、軽スポーツや会話等を通じて社会参加のきっかけを得る「いこいの場」運営及び傾聴電話を委託により実施。 R4実績: いこいの場47回 延132名 ふれんどでんわ22回 入電7件	610	610	610
地域生活支援事業 (重度身体障がい者訪問入浴サービス)	介護保険非該当の重度身体障がい者(児)が訪問による居宅での入浴サービスを利用した場合、申請に基づき自己負担を超える利用料を支給。 R4実績: 支給 6人、延べ 405回	6,240	5,327	5,983
障がい者相談活動	障がい者の抱えている様々な問題や家庭における生活・養育等に関する相談活動を実施。 R4実績: 相談員 7名(身体5名 知的2名)	214	214	214
歯科衛生士訪問指導	障がい児(者)家庭に歯科衛生士を派遣し、歯科・口腔内衛生に関する相談・指導、治療等を実施。 R4実績: 実績なし	8	0	8
心身障がい者扶養共済掛金助成	心身障がい者の将来に対する不安の軽減等を図るため、京都府心身障害者扶養共済制度に加入した保護者に対し、掛金の一部を助成。 R4実績: 助成 18件	500	405	500
障がい児者補装具自己負担金助成	補装具給付等事業を利用する障がい児・者に対し、自己負担額の一部を助成。 R4実績: 助成 54件	1,176	974	1,176
心身障がい者自助具等助成	心身障がい者に対し、自助具・介護用具・訓練用具等の購入費の一部を助成。 R4実績: 助成 5件	50	22	38

第1章 とともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

③障がいのあるなしにかかわらず地域で安心して暮らせる社会の推進

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
身体障害者手帳等交付申請 用診断書料助成	身体障害者手帳交付申請時に必要な診断書料について、申請に基づき助成。	1,050	996	1,050
	R4実績: 助成 精神134件 身体337件			
障がい者配食サービス事業	調理が困難な障害者手帳所持者の一部を対象に、市内の介護老人保健施設等で調理した昼食を届け、安否確認等を実施。	2	17	68
	R4実績: 利用実人数 1人			

第1章 とともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

③障がいのあるなしにかかわらず地域で安心して暮らせる社会の推進

2 自立・参加支援体制の充実		健康福祉部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆社会参加への支援 ・障がい者スポーツ拡充に向けた人材育成 ◆関係機関との連携	障がい児者の社会参加に向け、創造活動や文化・スポーツ活動の推進を図るとともに、関係機関と連携し、障がいに応じた就労の場の検討や就労機会拡充に向けたネットワークの構築に取り組む。			
	R5	R6	R7	
	◆社会参加への支援 (社会参加に向けたプログラムの拡充)	⇒	⇒	
◆関係機関との連携 (就労機会拡充に向けた関係者間ネットワーク構築)	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
地域生活支援事業 (自発的活動支援)	障がいのある方やその家族、地域住民が自発的に行う活動に対し、財政支援等を実施。 R4実績: 実施なし	100	0	100
地域生活支援事業 (障害者週間啓発事業助成)	実行委員会に対し、12月に定める「障害者週間」において行う啓発事業費の一部を助成。 R4実績: 活動助成	95	95	95
地域生活支援事業 (社会参加支援)	点字・声の広報発行事業、障がい者スポーツ大会開催等により、障がい者の社会参加を支援。 R4実績: スポーツ大会開催中止 卓球バレー1回開催 点字・声の広報作成	1,722	940	1,594
地域生活支援事業 (手話奉仕員養成研修)	基本的な手話の習得と聴覚言語障がい者との交流を図るため、手話通訳者の養成講座を開催。 R4実績: 前期 16回開催 延 230人参加 後期 19回開催 延 206人参加	2,330	2,155	2,230
ハートフル・フラワー事業	福祉会館及び母子健康センターにて、施設美化及びプランターによる花の育成管理を実施。 R4実績: 育成管理プランター 30個	500	500	500
手をつなぐ親の会活動助成	障がい児(者)の保護者の親睦等を図るため、キャンプや学習会等のイベントを行う「八幡市手をつなぐ親の会」に対し、活動費の一部を助成。 R4実績: 活動助成	411	411	411
障がい者行事参加支援事業	京都府の実施する障がい者を対象とした行事への参加について、財政的支援を実施。 R4実績: 参加者 13名 京都府主催ふれあい広場参加	161	0	159
身体障害者団体連合会活動助成	身体障がい者の社会参加支援等の事業を行う八幡市身体障害者団体連合会に対し、活動費の一部を助成。 R4実績: 活動助成	720	720	720
山城ろうあ者新年大会助成	実行委員会に対し、功労者表彰、手話劇コンクール開催等の事業費の一部を助成。 R4実績: 実施なし	0	0	250
自立支援 (障害者福祉サービス・就労移行支援給付)	一般就労を希望する65歳未満の障がいのある人が就労移行支援サービスを利用した場合、1割自己負担を超える利用料を給付。 R4実績: 支給延人数 227人	40,400	37,191	44,400

第1章 とともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

③障がいのあるなしにかかわらず地域で安心して暮らせる社会の推進

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
自立支援 (障がい者福祉サービス・就労 継続支援A型給付)	企業等への就労が困難で、継続的就労の可能な 65歳未満の障がい者が就労継続支援サービスを利用 した場合、1割自己負担を超える利用料を給付。	105,600	100,535	120,000
	R4実績: 支給延人数499人			
自立支援 (障がい者福祉サービス・就労 継続支援B型給付)	就職困難な障がい者または就労移行支援利用者 のうち一般企業へ就労できなかった人などが就労 継続支援サービスを利用した場合、1割自己負担を 超える利用料を給付。	201,200	196,698	200,700
	R4実績: 支給延人数1,641人			
自立支援 (障がい者福祉サービス・就労 定着支援給付)	一般就労に移行した人に、就労に伴う生活面の課 題に対応するための支援である就労定着支援を利用 した場合、1割自己負担を超える利用料を給付。	2,800	2,425	2,800
	R4実績: 支給延人数92人			
施設入所者就職支度金給付	就労移行(継続)支援を受けている人または市内施 設へ入所している人を対象に給付。	36	0	36
	R4実績: 実績なし			
障がい者施設通所交通費助 成	公共交通機関で障がい者施設に通所している方を 対象に、交通費の一部を助成。	5,300	5,607	5,697
	R4実績: 助成 111人 日数 17,579日			

第1章 とともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

③障がいのあるなしにかかわらず地域で安心して暮らせる社会の推進

3 障がいのある人が安心して暮らせるまちづくり		健康福祉部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆成年後見制度の利用支援 ◆障害者差別解消法の市民向け研修を実施	障がい者が地域で安心して暮らせるよう、権利擁護事業や成年後見制度の利用促進及び関係団体との連携を図るとともに、市民の障がい者への理解促進を図るため、障害者差別解消法や障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法に基づいて正しい知識の普及・啓発を進める。			
	R5	R6	R7	
	◆成年後見制度の利用支援	⇒	⇒	
	◆障害者差別解消法の市民向け研修を実施	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
地域生活支援事業 (成年後見制度利用支援)	知的障がい者及び精神障がい者の後見申立等に係る費用を助成。 R4実績: 報酬費助成 3件、市長申立 1件	1,770	885	2,210
地域生活支援事業 (意思疎通支援)	手話通訳者・要約筆記者の派遣及び聴覚障がい者用ファクシミリ運用により、障がい者の意思疎通を支援。 R4実績: 派遣 手話通訳 152回 要約筆記108回	1,860	1,077	1,800
地域生活支援事業 (移動支援)	身体・知的・視覚・精神障がい者の移動介護サービス利用料の一部を助成するほか、リフトカー「やすらぎ号」運行を実施。 R4実績: 移動介護99件 リフトカー16件	37,990	33,990	39,280
地域生活支援事業 (地域活動支援センター)	市内在住の障がい者を対象とした地域活動支援センターの運営等を委託により実施。 R4実績: 登録利用者数 24人	10,900	10,900	11,097
地域生活支援事業 (日常生活用具給付)	障がい児者の日常生活を容易にするため、在宅の重度障がい者に日常生活用具給付等を実施。 R4実績: 給付1,994件	23,440	22,290	24,060
地域生活支援事業 (障害者虐待防止対策支援)	障がい者の虐待に関する通報等及び相談の受付等を行う障がい者虐待防止センターを設置・運営。 R4実績: 電話受付 11件	397	306	397
地域生活支援事業 (重度身体障がい者訪問入浴サービス) 【再掲】	介護保険非該当の重度身体障がい者(児)が訪問による居宅での入浴サービスを利用した場合、申請に基づき自己負担を超える利用料を支給。 R4実績: 支給 6人、延べ 405回	6,240	5,327	5,983
地域生活支援事業 (日中一時支援)	家族の就労及び一時的な休息確保を支援するため、宿泊を伴わない障がい児者の一時的預かり及び日中活動の場の提供を行う。 R4実績: 利用者 975人	32,390	31,818	32,000
自動火災警報器設置等事業	在宅の重度心身障がい者世帯に対し貸付を行なっている自動火災報知器の保守・点検を実施。 R4実績: 実施 2世帯	22	22	22
障害者差別解消法研修	障害者差別解消法の啓発のため、市民向け研修を実施。 R4実績: 1回開催 参加者39名	40	32	38
地域共生社会実現サポート事業 (障害者対策費)	地域共生社会の実現に向け、社会福祉法人が実施する社会貢献活動や処遇改善等に助成する。 R4実績: 助成 2法人	610	515	610

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

③障がいのあるなしにかかわらず地域で安心して暮らせる社会の推進

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
手話言語条例啓発事業	手話をはじめとする聴覚障がい者のコミュニケーション手段の普及及び理解の促進を図る。	188	66	38
	R4実績: ハンドブックおよび手話動画作成			
【R4終了】 絆ネットワーク構築支援事業 【再掲】	地域で活動する団体や関係機関が連携し、課題解決できる仕組みづくりを支援。R5年度より「わたしたちの談活」プロジェクトと統合し充実を図る。	3,650	3,650	-
	R4実績: コーディネーター配置 1名			
【充実】 「談活」プロジェクト 【再掲】	地域単位で構築した絆ネットワークを基盤に、地域福祉における連携と担い手づくりを進めるための座談会を、社会福祉協議会と連携し実施。	49	30	3,815
	R4実績: 座談会開催 9回			
ふれあい福祉センター運営	専任相談員1名を配置し、地域における要援護高齢者等の各種相談等を福祉会館内にて運営。	161	161	187
	R4実績: 利用者数 延 101人			

第1章 とともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

④地域の絆と支え合いによる共生社会の推進

1 地域福祉推進体制の充実		健康福祉部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆絆ネットワーク構築支援 ・男山地域 ◆「わたしたちの談活」プロジェクト推進(本格実施) ◆社会福祉協議会社会福祉事業助成 ◆第2次地域福祉推進計画推進	地域における相互扶助の関係や仕組みづくりに向け、社会福祉協議会との協働により第3次地域福祉推進計画に基づく「談活」プロジェクト等の取組を推進する。また、ヤングケアラーの社会的認知度の向上を目的とした研修を開催し、適切な支援につなげる。			
	R5	R6	R7	
	◆「談活」プロジェクト推進	⇒	⇒	
	◆社会福祉協議会社会福祉事業助成	⇒	⇒	
◆ヤングケアラー支援事業	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
【R4終了】 第2次地域福祉推進計画推進	誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、計画に基づく取組を進めるとともに、地域福祉推進協議会を設置し進捗管理を行う。 R4実績： 第2次地域福祉計画推進	125	55	-
第3次地域福祉推進計画推進	地域共生社会の実現を目指し、計画に基づく取組を進めるとともに、地域福祉推進協議会を設置し進捗管理を行う。 R4実績： 策定委員会 4回開催	9,284	8,957	122
【R4終了】 絆ネットワーク構築支援事業	地域で活動する団体や関係機関が連携し、課題解決できる仕組みづくりを支援。R5年度より「わたしたちの談活」プロジェクトと統合・充実を図る。 R4実績： コーディネーター配置 1名	3,650	3,650	-
【充実】 「談活」プロジェクト	地域単位で構築した絆ネットワークを基盤に、地域福祉における連携と担い手づくりを進めるための座談会を、社会福祉協議会と連携し実施。 R4実績： 座談会開催 9回	49	30	3,815
社会福祉協議会社会福祉事業助成	社会福祉協議会に対し、各種福祉事業費の一部を助成。 R4実績： 活動助成	74,246	71,936	75,691
福祉委員活動助成	福祉委員会に対し、(社会福祉協議会事業助成を通じて)活動費の一部を助成。 R4実績： 活動助成	3,744	3,286	3,803
民生児童委員協議会活動助成	民生児童委員協議会に対し活動費を助成。 R4実績： 活動助成	15,805	15,544	17,005
民生委員推薦会運営	推薦会を開催し、民生児童委員にふさわしい人を厚生労働大臣に推薦。 R4実績： 開催 3回	323	245	172
福祉有償運送審査	要介護者等の移動サービスを提供する福祉有償運送につき、審査を実施。 R4実績： 開催 0回	50	0	50
ヤングケアラー支援事業	法令上の定義がない「ヤングケアラー」の社会的認知度向上及び気づきの体制を構築するため、関係機関における研修等を実施。 R4実績： 開催3回	500	144	342

第1章 とともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

④地域の絆と支え合いによる共生社会の推進

2 生活に困っている方への多様な支援の充実		健康福祉部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆生活保護制度の適正運用 ◆生活困窮者自立支援推進 ・自立相談支援、就労準備支援等 ・新型コロナウイルス感染症の影響長期化や物価高騰に対する支援等	生活保護制度における査察指導員、ケースワーカー、生活困窮者自立支援制度における主任相談支援員の配置のほか、面接相談員、就労支援員、適正化推進員の各専門職の配置により、今後も充実した相談体制と緊密な連携体制を図る。			
	R5	R6	R7	
	◆生活保護制度の適正運用	⇒	⇒	
	◆生活困窮者自立支援推進 (自立相談支援、就労準備支援等)	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
生活保護制度運用	生活保護法に基づき、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長することを目的に必要な扶助等を行うなどの支援を行う。 R4実績： 保護率 20.80%	2,423,700	2,390,000	2,431,300
生活保護適正化対策	生活保護受給の適正化を図るため、面接相談や調査体制の整備強化、職員研修、レセプト点検、扶養義務調査、収入調査の徹底、健康管理等の取組を実施。 R4実績： 相談件数 327件(延べ476件)	15,633	15,083	15,820
生活困窮者自立支援 (自立相談支援)	経済問題や家庭問題など、様々な課題を抱えた生活困窮者に対し、訪問支援や個別支援計画の策定など、自立に向けた包括的な支援を実施。 R4実績： 相談件数 407件(延べ662件)	32,550	28,156	27,825
【R4終了】 生活困窮者自立支援 (新型コロナウイルス生活困窮者自立支援金)	特例貸付を終了した世帯等であり、収入要件、資産要件、求職活動等要件などを満たす者に対する給付。 R4実績： 受給者数 83名	30,580	22,540	-
生活困窮者自立支援 (就労準備支援)	直ちに一般就労への移行が困難な生活困窮者に対し、社会福祉法人等への委託により、一般就労に必要な知識及び能力の向上に向けた生活訓練・社会訓練を実施。 R4実績： 利用者 43名	1,635	1,635	1,635
生活困窮者自立支援 (一時生活支援)	住宅がなく所得等が一定水準以下の生活困窮者に対し、有期で宿泊場や衣食の提供等を実施。 R4実績： 利用者 8名	875	738	875
生活困窮者自立支援 (家計改善支援)	家計に関する相談、家計管理に関する指導、貸付のあっせん等を委託により実施。 R4実績： 利用者 33名	3,951	3,951	4,060
生活困窮者自立支援 (住居確保給付金)	住居喪失した又はそのおそれのある生活困窮者に対し、家賃相当分の給付金を支給するとともに就労支援を実施。 R4実績： 利用者 45名	12,000	7,904	10,000

第1章 とともに支え合う「共生のまち やわた」

第1節 共に生きる社会

④地域の絆と支え合いによる共生社会の推進

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
【R4終了】 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方が速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう住民税非課税世帯等に対する給付を実施。	232,600	229,684	-
	R4実績: 支給世帯数 2,162世帯			
【R4終了】 緊急支援給付金	物価・賃金・生活総合対策として、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、住民税非課税世帯等に対して1世帯当たり5万円の給付を実施。	470,000	455,713	-
	R4実績: 支給世帯数 8,789世帯			
【R4終了】 家計支援給付金	物価・賃金・生活総合対策として、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、緊急支援給付金の支給対象とならない世帯に対して1世帯当たり7千円の給付を実施。	190,000	183,776	-
	R4実績: 支給世帯数 22,801世帯			
くらしの資金貸付金	傷病、不測の事故等の理由により一時的に資金を貸付け、経済的自立等を図る。	1,500	887	1,300
	R4実績: 貸付件数 10件			
生活保護申請者つなぎ立替金貸付	生活保護申請者で保護決定までの期間の生活資金がない方に対し、生活費の貸付を実施。	700	380	700
	R4実績: 貸付件数 16件			

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」

第2節 協働による地域づくり

①コミュニティ活動による地域づくりの推進

1 地域コミュニティ活動の充実		政策企画部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆自治組織団体との連携による市政推進 ◆地域コミュニティ活動助成 ◆自治組織団体加入促進	自治連合会と連携し、自治組織団体への加入促進やコミュニティ活動の充実に関する地域の取組への支援を行うことで、活発な地域づくりの推進を図る。			
	R5	R6	R7	
	◆自治組織団体との連携による市政推進	⇒	⇒	
	◆地域コミュニティ活動助成	⇒	⇒	
◆自治組織団体加入促進	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
自治連合会活動事業助成	行政との連携、市民の交流活動の調整・活性化に係る自治連合会の活動への助成。 R4実績: 加入自治組織団体 48団体	1,178	1,178	2,000
市民自治推進交付金	各自治組織団体と市政推進に関する協定を締結し、締結した団体に対し交付金の交付を実施。 R4実績: 交付 48団体	14,990	14,937	15,090
自治振興助成	自治組織団体による地域づくり活動や交流活動等を促進するため、活動費の一部を助成。 R4実績: 助成 9地区 48団体	7,300	4,652	7,800
自治会活動保険加入料助成	自治連合会が加入する自治会活動保険加入料の一部を助成。 R4実績: 助成 48団体	1,170	1,144	1,153
コミュニティ助成事業	財自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、地域での備品整備等への助成を実施。 R4実績: 助成6団体 テーブル等備品の整備	14,100	14,100	0
自治組織団体加入促進資料作成・配布	自治連合会と連携し、自治組織団体加入促進資料を作成及び配布。 R4実績: 自治会加入促進リーフレット配布 自治組織 加入率67.6%	22	21	30
自治組織団体未組織地域の組織化促進	未組織地域の組織化に向け、地域住民との協議や他の組織化地域への要請。 R4実績: 自治会ハンドブック作成、配布	13	27	13

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」

第2節 協働による地域づくり

①コミュニティ活動による地域づくりの推進

2 地域コミュニティ活動の基盤整備		政策企画部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆コミュニティ施設の整備・改修等に対する支援 ◆自治会広報板の設置・修繕等に対する支援 ◆自治会活動室管理運営	地域コミュニティ活動が活発に行われるよう、多くの世代の多様な人々が利用する集会所等や広報板の設置、整備等に係る支援を行う。			
	R5	R6	R7	
	◆コミュニティ施設の整備・改修等に対する支援	⇒	⇒	
	◆自治会広報板の設置・修繕等に対する支援	⇒	⇒	
◆自治会活動室管理運営	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
コミュニティ施設設備整備事業助成	自治組織団体に対し、集会所等の整備・改修等に要する経費の一部を助成。	4,081	5,487	1,191
	R4実績: 助成 4件			
自治会広報板設置等助成	自治組織団体が管理する広報板の設置・整備・修繕等に要する経費の一部を助成。	316	192	324
	R4実績: 助成 11基			
自治会活動室管理運営	自治会活動室を管理し、自治組織団体へ貸出。	0	0	0
	R4実績: 貸出22件			

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」

第2節 協働による地域づくり

①コミュニティ活動による地域づくりの推進

3 多様なコミュニティ組織による地域づくり		政策企画部、健康福祉部、こども未来部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆自治組織団体間の連携強化 ◆学校支援関係団体間の連携強化 ◆絆ネットワーク構築支援を通じた地域福祉団体等の連携強化	様々なコミュニティ組織により行われている地域づくり活動がさらに発展していくよう、それぞれの団体の連携強化に向け、自治連合会や「談活」プロジェクト、学校支援地域本部など多様な連携組織の一層の連携促進を図る。			
	R5	R6	R7	
	◆自治組織団体間の連携強化	⇒	⇒	
	◆学校支援関係団体間の連携強化	⇒	⇒	
◆「談活」プロジェクトを通じた地域福祉団体等の連携強化	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
自治連合会活動事業助成【再掲】	自治連合会への事業助成を通じて、各自治組織団体間の連携強化を図る。 R4実績： 加入自治組織団体 48団体	1,178	1,178	2,000
【R4終了】 絆ネットワーク構築支援事業【再掲】	地域で活動する団体や関係機関が連携し、課題解決できる仕組みづくりを支援。R5年度より「わたしたちの談活」プロジェクトと統合・充実を図る。 R4実績： コーディネーター配置 1名	3,650	3,650	-
【充実】 「談活」プロジェクト【再掲】	地域単位で構築した絆ネットワークを基盤に、地域福祉における連携と担い手づくりを進めるための座談会を、社会福祉協議会と連携し実施。 R4実績： 座談会開催 9回	49	30	3,815
地域学校協働活動推進事業【再掲】	学校と地域との連携を図る地域コーディネーターの配置及び活動経費の一部助成を通じて、学校支援に係る各団体等の連携強化を図る。 R4実績： コーディネーター 4人、学校支援地域本部活動助成 4団体	4,060	2,541	4,060
地域連携教育活動推進事業【再掲】	小・中学校区域連携団体への活動費助成等を通じて、各団体間の連携強化・活動促進を図る。 R4実績： 助成 12団体	3,827	3,827	4,150

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」

第2節 協働による地域づくり

①コミュニティ活動による地域づくりの推進

4 地域防災体制の充実		総務部、消防本部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆地域の防災訓練参加による啓発等支援実施 ◆出前講座を通じた地域の防災意識向上 ◆自主防災推進協議会を通じた地域防災活動への支援	地域で実施される防災訓練に参加して防災パネル等の展示による啓発を行うとともに、出前講座で防災に対する意識の向上を図る。また、自主防災推進協議会を通じて地域防災活動への各種支援も継続する。			
	R5	R6	R7	
	◆地域の防災訓練参加による啓発等支援実施	⇒	⇒	
	◆出前講座を通じた地域の防災意識向上	⇒	⇒	
◆自主防災推進協議会を通じた地域防災活動への支援	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
自主防災組織活動推進	自主防災推進協議会に対し、活動費の一部を助成し、自主防災組織の連携強化及び活動支援を図るとともに、未組織地域への啓発活動等による設立支援を実施。また、防災訓練等に際し訓練支援を実施。 R4実績: 活動助成 43隊	1,050	930	1,100
防災意識向上促進(防災備蓄品活用)	賞味期限1年を切った備蓄食料及び水を地域の防災訓練等に啓発グッズとして提供。 R4実績: 食料:5,074食、水:2,039本	0	0	0

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」

第2節 協働による地域づくり

②新たな担い手による地域づくり

1 地域づくりの担い手（NPO・ボランティア等）の育成・拡充		政策企画部、健康福祉部		
これまでの取組（総括）		主な3年間の取組（総括）		
<p>◆市民協働活動センターの活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の場の提供 ・人材育成支援 <p>◆府市協調による地域づくり団体への支援</p> <p>◆摂南大学との包括連携協定締結</p>	各種団体の現状を把握し、NPOやボランティアなどの担い手組織の育成支援を進める。また、京都府地域交響プロジェクト支援事業を利用し、市内で活動を行う地域づくり団体に対する助成を行う。			
	R5	R6	R7	
	◆市民協働活動センターの活用促進 (活動の場の提供) (人材育成支援)	⇒	⇒	
	◆府市協調による地域づくり団体への支援	⇒	⇒	
◆連携協定締結・推進協定事業実施	◆連携協定拡大検討	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
市民協働活動センター管理運営	NPO等、非営利での市民活動団体の共有スペース及び情報発信拠点として運営を行う。	2,400	2,400	2,520
	R4実績: 登録団体 15団体 利用人数 延1,236人			
市民協働活動事業助成	京都府地域交響プロジェクトを利用する団体に対し、事業費の自己負担分の一部を助成。	900	967	1,000
	R4実績: 助成 8団体			
NPO設立支援	市民活力の醸成と市民自身によるまちづくりを目指し、NPO立上げ、法人化への支援を実施。	0	0	0
	R4実績: 市内登録団体 27団体			
市民協働活動指針の策定・推進	市民との協働によるまちづくりの基本的な指針を策定するとともに、協働のネットワークづくりを実施。	0	0	0
	R4実績: —			
男山やってみよう会議活動支援【再掲】	地域住民が主体性を持って取り組む各種活動への支援を行う。	0	0	0
	R4実績: やってみよう会議開催 毎月開催			
民間事業者等との連携推進	地域課題の解決に向け、民間事業者等との連携を推進。	0	0	0
	R4実績: 協定締結 1件			
社会福祉協議会社会福祉事業助成【再掲】	社会福祉協議会に対し、各種福祉事業費の一部を助成。	74,246	71,936	75,691
	R4実績: 活動助成			

第1章 とともに支え合う「共生のまち やわた」

第2節 協働による地域づくり

②新たな担い手による地域づくり

2 生涯学習の推進		政策企画部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆生涯学習センター・公民館講座内容の充実 ◆生涯学習人材バンクの活用促進 ◆図書館図書の実践	多様化する学習要求に対応した趣味の講座や地域資源を活かした講座等を実施するなど、人生100年時代を見据え、様々な行政分野も取り入れた生涯学習の充実に努める。また、ホームページ等を活用し、学習意欲のあるサークル等とのマッチングを進めていくなど、生涯学習人材バンクの利用促進に努める。また、図書館における図書・情報提供の充実に努める。			
		R5	R6	R7
	◆生涯学習センター・公民館講座内容の充実	⇒	⇒	⇒
	◆生涯学習フェスティバル(創立25周年記念)開催			
	◆生涯学習人材バンクの活用促進	⇒	⇒	⇒
◆図書館図書の充実	⇒	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
生涯学習センター管理運営	生涯学習の中核施設となる生涯学習センターを運営。 R4実績: 来館 延32,165人	42,460	37,915	71,320
生涯学習推進(講座開設)	生涯学習の機会拡充に向け、多世代・多様な人を対象とした各種講座等を開催。 R4実績: 開設16講座 延4,000人参加	7,420	6,899	8,920
【充実】生涯学習推進(生涯学習開講式・フェスティバル開催)	生涯学習のきっかけづくり等に向け、生涯学習開講式及び「生涯学習フェスティバル」を開催。 R4実績: 生涯学習開講式・フェスティバルの開催 延910人参加			
生涯学習推進(学習情報の提供・学習相談)	生涯学習センターにおいて、各種講座等の紹介など学習情報の提供を行うとともに、学習相談に応じる。 R4実績: 実績なし			
生涯学習推進(生涯学習人材バンクの活用)	生涯学習等を通じて得た知識・技能を有するボランティアを登録し、市民等の要請に応じて紹介。 R4実績: 登録105人 紹介 0人			
生涯学習推進(生涯学習センターだより発行)	生涯学習に係る情報発信を図るため、「生涯学習センターだより」を発行。 R4実績: 発行 年6回			
公民館等管理運営	市民の学習機会の向上や地域活動の場の確保等を図るため、市内6か所の公民館等を運営。 R4実績: 来館 延110,705人	78,807	62,872	65,690
公民館講座運営	公民館等における各種講座等の開設及び公民館サークルの活性化に向けた催しを開催。 R4実績: 開設132講座 延1,478人参加 サークルフェスティバル 中止	1,300	889	1,300

第1章 ともに支え合う「共生のまち やわた」

第2節 協働による地域づくり

②新たな担い手による地域づくり

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
市民図書館運営	市民の生涯学習及び生活機能の向上を図るため、八幡市民図書館及び男山市民図書館を運営し、図書の実績をを図る。	140,283	135,764	139,720
	R4実績: 貸出冊数 486,094冊 蔵書数 242,292冊 購入数 13,461冊 自動車文庫の運行 104回			

第2章

子どもが輝く
「未来のまち やわた」

第2章 総括

基本目標	子どもが輝く「未来のまち やわた」
------	-------------------

<施策体系>

第1節 子育て支援

めざす姿	妊娠・出産から子育てまで、地域で一貫したサポートが受けられることで、安心して前向きに子育てができる人が増えています。
------	--

① 妊娠・出産・育児サポート

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
ファミリーサポートセンター登録会員数	人	345	417	410	460	△
3歳児健康診査受診率	%	91.5	79.7	76.6	93.0	△
こんにちは赤ちゃん訪問事業の訪問率	%	91.0	72.2	76.2	95.0	○

② 就学前教育・保育の充実

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
保育園の待機児童数(※1)	人	0	0	0	0	◎
認定こども園の数	園	3	5	5	9	○

※1 各年4月1日現在。

第2節 子どもの生きる力の育成

めざす姿	次代を担う子どもたちの「生きる力」が備わっています。
------	----------------------------

① 学校教育

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況	
全国学力・学習状況調査結果(※2) (小学校6年生)	国語A	-	94.9	97.4	97.6	105	○
	国語B	-	90.4				
	算数A	-	96.7	94.0	96.5	105	○
	算数B	-	93.7				
全国学力・学習状況調査結果(※2) (中学校3年生)	国語A	-	96.9	94.4	91.3	105	△
	国語B	-	95.6				
	数学A	-	99.1	90.9	83.7	105	△
	数学B	-	95.6				
市内不登校児童生徒出現率	小学生	%	0.8	1.1	1.6	0.7	△
	中学生	%	5.0	6.5	7.1	4.9	△

※2 調査結果の全国平均を100とした場合の八幡市の状況。計画当初値は平成29年度に実施された調査の結果。令和元年度からいずれの教科もA・Bの区分が廃止され、一体的な調査となっている。

② 児童・青少年の健全育成

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
新・放課後子ども総合プラン実施箇所数	箇所	0	0	0	4	○
やわた放課後学習クラブ参加率	高学年	-	13.6	10.2	14.0	△
	中学年	-	9.8	9.1	14.0	△

達成の状況の	未達成	目標値を達成(◎)		1 件	7.1%
		「前年度実績」より前進または同値(○)		5 件	35.7%
		「前年度実績」より後退(△)		8 件	57.2%

第2章 総括

基本目標	子どもが輝く「未来のまち やわた」
------	-------------------

総括(指標の達成状況・今後の方向性)

第1節	<p>(めざす姿の実現に向けて実施した取組、指標の達成状況) 子育てサポートについては、第2期子ども・子育て支援事業計画を推進し、安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠時の面談及び産前・産後ヘルパー派遣、産後ケア事業、こんにちは赤ちゃん訪問等を通じて、妊娠期から子育て期の妊産婦とその家族に寄り添った支援を継続的に行った。また、市内3か所の子育て支援センターにおける各種事業、ファミリーサポートセンター事業等を通じた妊娠・出産・育児サポートを進めるとともに、八幡市の子育て環境を広く知ってもらうための周知・啓発に取り組んだ。さらには、国の異次元の少子化対策と連携し、「伴走型相談支援」と「出産・子育て応援給付金」を一体的に取り組む「出産・子育て応援事業」に取り組んだ。</p> <p>就学前教育・保育の充実については、京都府の「子育てにやさしいまちづくりモデル事業交付金」を活用し、橋本幼稚園の芝生化に取り組むとともに、「八幡市就学前施設再編の基本方針」に基づいた公立就学前施設の再編を検討し、職員や保護者と再編についての意見交換等を実施した。</p> <p>指標の達成状況では、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、「ファミリーサポートセンター登録会員数」「3歳児健康診査受診率」「こんにちは赤ちゃん訪問事業の訪問率」は目標値を下回っている。このことから、こんにちは赤ちゃん訪問事業では、訪問できなかった家庭に対し、電話や乳幼児健診、育児相談等での面接にて子育てに関する情報提供・育児相談の支援等を行うなどフォローアップを実施した。また、公立の就学前施設の弾力的な運用や私立就学前施設への積極的な支援などにより、「保育園の待機児童数」ゼロを継続達成している。</p> <p>(今後の取組方針) 子育てサポートについては、引き続き、第2期子ども・子育て支援事業計画を推進するとともに、令和7年度からの5年間を計画期間とする第3期計画を策定し、これまでの取り組みを踏まえながら、ニーズに対応した子育て支援事業の提供体制の充実を図る。育児不安の増大、虐待等を防ぐため、支援が途切れることのないよう新型コロナウイルス感染症等の状況を踏まえたくえで必要な施策を講じる。また、ひとり親家庭や疾病など様々な事情を抱える家庭、ヤングケアラーへの支援を進めるとともに、第三子以降の保育料無償化に係る所得制限を市独自で撤廃するほか、産前産後の国民健康保険料免除を国に先行して実施するなど、子育て世帯への支援の強化を図る。</p> <p>就学前教育・保育の充実については、引き続き「八幡市就学前施設再編の基本方針」に基づいた公立就学前施設の再編の検討を行うとともに、安心、安全な教育・保育環境づくりに向けた整備を進める。</p>
第2節	<p>(めざす姿の実現に向けて実施した取組、指標の達成状況) めざす姿の実現に向け、学校教育では、校長会や各学校にて授業改善等の検討を図るとともに、全小・中学校への学習支援員の配置やスタディサポート事業(鳩嶺教室)の実施等、配慮が必要な児童生徒等への支援を進めるなど、市内全ての子どもの学力向上に取り組んだ。また、不登校児童生徒については、京都府の「不登校児童生徒支援拠点整備事業」で配置されたスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の居場所サポーターを活用し、学校や家庭への積極的な支援や関係機関との連携に取り組んだ。</p> <p>児童・青少年の健全育成については、市内全小学校5・6年生を対象としたやわた放課後学習クラブの実施により学習の場の提供及び支援を行い、自学自習力と学習意欲の向上及び放課後の居場所づくりを図った。また、小学校3年生及び4年生を対象とした特別講座を一部実施し、放課後の学習の場及び居場所の提供を図った。</p> <p>指標の達成状況では、「全国学力・学習状況調査結果」が小学生では前年度より前進したものの、中学生では前年度より後退しており、全国平均との差が拡大した。「市内不登校児童生徒出現率」では、小中学生とも出現率が前年度より上がっており、高止まり傾向が続いている。「やわた放課後学習クラブ参加率」は、前年度からの継続参加者数の落ち込み、特に6年生の参加が減ったこと、毎年度学習に意欲を見せる児童が変わること等が要因となり、前年度実績より後退した。</p> <p>(今後の取組方針) 学校教育については、引き続き市内全ての子どもの学力の向上に取り組むとともに、小学校における水泳指導の民間スポーツクラブへの委託を進めることにより、指導内容の充実と教員の働き方改革も併せて進める。また、夢の教室等、様々な取組を展開することで、子どもの「生きる力」の育成に取り組む。さらに、安心安全な学校給食を維持するため、令和5年度は、物価高騰の影響を受けている学校給食費の一部を臨時的に支援する。加えて、部活動の段階的な地域移行に向けた検討を進めるほか、特別支援教育ソフトを新たに導入することで、特別支援教育を必要とする児童生徒の個々の特性に応じた指導を進める。</p> <p>不登校児童生徒については、多様かつ複合的な背景があることを念頭に、個に応じた見立てをしっかりと行い、心理的、教育的、福祉的支援を行う。また不登校の未然防止のために「魅力ある学校づくり」や「集団作り」に努めるとともに、教育支援センターの支援体制強化やICTの活用による教育支援教室の活動の推進を図る。</p> <p>児童・青少年の健全育成については、やわた放課後学習クラブ事業の対象年齢及び実施内容の拡大を段階的に図りながら、放課後児童健全育成施設と放課後学習クラブとの連携による「新・放課後子ども総合プラン」を推進する。また、コロナ禍で実施できていなかった保護者説明会の再開やLINEでの広報等により、やわた放課後学習クラブの参加率向上を図るほか、地域のボランティアによる放課後の学習支援や支援コーディネータによる家庭への働きかけにより、学力向上及び家庭における教育への意識向上を図る。</p>

第2章 総括

基本目標	子どもが輝く「未来のまち やわた」
------	-------------------

総合計画検討懇談会の意見

産前・産後ケア事業など様々なサポート体制が構築されていることは評価できる。しかしながら、産後は特に心身ともに疲弊することから、サポートの拡大とともに、買い物代行など市民に十分浸透していない事業もあるので、支援内容の十分な広報をお願いしたい。

少子化による就学前施設の再編は理解できるが、通園距離が長くなるなど負担が生じる場合もあることに留意されたい。

全国学力・学習状況調査によると、小学生の学力は上昇しているが中学生では低下している。当初の就学時の影響が大きいとされているが、それらのことも含めて必要な対策を講じられたい。

不登校児童生徒出現率の増加が全国的な傾向であることは承知しているが、要因について分析の上、必要な対策を講じられたい。

「子どもわくわくスポーツ教室」は、子どもの運動能力を高めるもので高く評価できるが、学んだことを身近なところで練習できるような運動環境の整備も期待する。

コロナ禍で滞っていた夏祭りや餅つき大会等の伝統行事や各種行事を復活・充実させることが、子どもの生きる力の育成やコミュニティの再生に必要と考える。

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第1節 子育て支援

①妊娠・出産・育児サポート

1 妊娠・出産・子育て環境の整備と充実		健康福祉部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
<ul style="list-style-type: none"> ◆子ども・子育て支援事業計画推進 ◆妊娠・出産期のサポート ◆産後ケア事業開始 ◆ファミリーサポートセンターの円滑な運営による地域子育て支援の推進 ◆市内3か所の子育て支援センターでの事業推進 ◆子はたからプロジェクト ◆さくら近隣公園リニューアル 	子ども・子育て支援センターやファミリーサポートセンターの取組を進めるとともに、不妊治療への支援や産前・産後のケア、各種子育て支援事業の充実など、妊娠・出産から子育てまで一貫したサポートを受けられる環境整備や支援事業の周知に努める。			
		R5	R6	R7
	◆子ども・子育て支援事業計画推進 第3期計画策定	⇒	⇒	⇒
	◆第三子以降の3歳未満児に係る保育料の無償化(市独自で所得制限を撤廃)	⇒	⇒	⇒
	◆妊娠・出産期のサポート支援事業の周知	⇒	⇒	⇒
	◆ファミリーサポートセンターの円滑な運営による地域子育て支援の推進	⇒	⇒	⇒
	◆市内3か所の子育て支援センターでの事業推進	⇒	⇒	⇒
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
子ども・子育て支援総合推進事業(子ども・子育て支援事業計画推進)	「第2期八幡市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援事業の総合的な推進を図る。 R4実績: 会議 2回開催	280	189	320
【新規】子ども・子育て支援総合推進事業(子ども・子育て支援事業計画策定)	子育て支援事業の総合的な推進を図るため、令和7年度から11年度までを計画期間とする第3期子ども・子育て支援事業計画を策定する。 R4実績: -	-	-	3,500
【新規】第三子以降の3歳未満児に係る保育料の無償化(市独自で所得制限を撤廃)	第三子以降の3歳未満児に係る保育料の無償化について、市独自で所得制限を撤廃し、多子世帯の経済的負担を軽減する。 R4実績: -	-	-	13,500 (歳入減含む)
不妊治療給付	保険適用の不妊治療(人工受精・不育治療)に係る負担額の一部を助成。 R4実績: 助成人数51人	3,200	2,256	3,300
産前・産後ヘルパー派遣事業	家事や育児を行うことが困難な家庭にヘルパーを派遣し、生活面の支援等を行う。 R4実績: 延145回 延150時間	370	613	756
産後ケア事業(訪問型)	産後1歳未満の産婦を助産師が訪問し、授乳指導やメンタルケア等専門的な支援を行う。 R4実績: 延11件	400	152	410
産後ケア事業(宿泊型)	出生から生後4ヵ月までの産婦とその乳児が医療機関に宿泊し、母体・乳児のケア、育児支援を受けた費用の一部を助成。 R4実績: 3件	590	84	503

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第1節 子育て支援

①妊娠・出産・育児サポート

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
子はたからプロジェクト	子どもとの関わり方を学び、子育てに楽しさを感じる機会を提供するため、絵本を配布するとともに絵本を媒体にしたワークショップを開催する。	670	495	510
	R4実績: ワークショップ2回開催、参加者22組			
地域少子化対策強化事業	子どもの成長・発達等の記録や支援内容に関する情報を園等で作成し、子育て支援に活用。	2,830	2,825	2,482
	R4実績: 市内10箇所配置			
出産・子育て応援事業	『伴走型相談支援』と『出産・子育て応援給付金(やわたっこ応援給付金)』を一体的に実施。	55,000	39,998	52,900
	R4実績: 妊娠届出数 410人 給付金支給 延783人			
子育て支援事業費助成	男山地域の地域子育て支援施設「おひさまテラス」に対し、子育て支援事業費の一部を助成。	1,546	1,546	1,547
	R4実績: 利用児童数 延889人			
児童手当支給事業	子育て世帯の生活安定等を図るため、中学校終了までの児童の扶養者等に対し定額手当を支給。	953,950	953,105	936,790
	R4実績: 支給対象児童実人数 7,349人(令和5年2月末現在)			
ファミリーサポートセンター事業	育児の援助を行いたい方(有償ボランティア)と援助を受けたい方との相互援助活動に関する連絡、調整を行う。(指月児童センター内設置)	4,110	3,974	4,130
	R4実績: 登録会員数 410人			
子育て支援センター運営	市内3か所の子育て支援センターにおいて、育児の不安解消を目的に、相談や指導、育児支援を実施する他、子育て中の親子の交流等を促進。	76,289	73,888	69,940
	R4実績: 利用延人数 24,911人 (あいあい 9,795人 そよかぜ3,211人 すくすくの杜11,905人) さくら近隣公園子育てイベント 参加者573人			
【R4終了】 新生児臨時支援事業	コロナ禍における子育て支援策として、令和3年4月2日から令和4年4月1日までに出生し、本市で初めて住民登録をした新生児のいる世帯に対し、新生児1人につき3万円を支給。	300	32	-
	R4実績: 1人			

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第1節 子育て支援

①妊娠・出産・育児サポート

2 子ども・妊産婦の保健体制の充実		健康福祉部、こども未来部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆新生児訪問による支援 ◆乳幼児健康診査の実施及び受診勧奨 ◆乳幼児健診等と併せた各種相談・教室等の実施	子育ての不安等の解消に向け、妊産婦、乳幼児への家庭訪問や乳幼児健康診査など、母子保健事業の充実を図るとともに、乳幼児健診の受診率向上に取り組む。また、産前産後期間の国民健康保険料を免除するなど、子育て世帯への支援を強化する。			
	R5	R6	R7	
	◆新生児訪問による支援	⇒	⇒	
	◆乳幼児健康診査の実施及び受診勧奨	⇒	⇒	
◆乳幼児健診等と併せた各種相談・教室等の実施	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
産前・産後ヘルパー派遣事業【再掲】	家事や育児を行うことが困難な家庭にヘルパーを派遣し、生活面の支援等を行う。 R4実績: 延145回 延150時間	370	613	756
産後ケア事業(訪問型)【再掲】	産後1歳未満の産婦を助産師が訪問し、授乳指導やメンタルケア等専門的な支援を行う。 R4実績: 延11件	400	152	410
産後ケア事業(宿泊型)【再掲】	家庭での育児がスムーズに始められるよう、産婦と乳児(生後4ヵ月を目安)が医療機関に宿泊し、母体・乳児のケアや育児支援を受けた費用の一部を助成。 R4実績: 3件	590	84	503
乳幼児発達クリニック	小児神経科医による問診や診察、指導保健師による問診、計測、育児相談を実施。 R4実績: 実施 6回 受診者 延16人	223	192	223
こんにちは赤ちゃん訪問	生後4ヵ月までの乳児がいる家庭を訪問し、身体計測、育児相談を実施。 R4実績: 訪問実施率 76.2%			
4ヵ月児健康診査	4ヵ月児とその保護者を対象に、子どもの内科健診、発達観察、育児相談、離乳食指導を実施。 R4実績: 実施 16回 受診率 95.3%			
10ヵ月児育児健康相談	10ヵ月児とその保護者を対象に、発達観察、育児相談、離乳食指導、ふれあい遊び指導を実施 R4実績: 実施 12回 受診率90.0%			
1歳8ヵ月児健康診査	1歳8ヵ月児とその保護者を対象に、子どもの内科健診と歯科検診、発達観察、育児相談等を実施。 R4実績: 実施 15回 受診率 93.1%	14,031	14,045	12,421
3歳児健康診査	3歳6ヵ月児とその保護者を対象に、子どもの内科健診と視力検査(屈折検査)、歯科検診、発達観察、育児相談等を実施。 R4実績: 実施 24回 受診率 76.6%			
マタニティスクール開催	妊婦を対象に、マタニティスクールを開催。なお、同時開催していた離乳食教室は令和4年度をもって終了。 R4実績: マタニティスクール 延6回 73人参加 離乳食教室 4回 参加者 延19人(R4終了)			

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第1節 子育て支援

①妊娠・出産・育児サポート

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
妊婦保健指導事業 (健康診査)	妊婦健康診査を実施するとともに、ハイリスクな妊婦への指導等を行う。	31,080	29,838	33,489
	R4実績: 599人に実施			
妊婦保健指導事業 (歯科検診)	妊娠中の口腔を良好に保つことで早産や低体重児出産の予防を図る観点から、妊娠中の口腔内の診察等費用の一部を助成。	1,270	351	800
	R4実績: 77人に実施			
産婦保健指導事業 (健康診査)	産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図る観点から、出産後間もない時期の産婦に対し、健康診査を行う。	3,300	2,357	3,300
	R4実績: 352人に実施			
病児保育事業	病児保育を実施する医療機関に対し事業費の一部を助成するとともに、病児保育を利用する低所得世帯等に対し利用料を助成。	6,890	6,329	7,890
	R4実績: 延134人利用、延3件助成			
新生児聴覚検査費用助成	きこえの障がいを早期に発見し支援することで、子どもの言語の発達や母子関係の構築等を促すことを目的に、新生児聴覚検査費用の一部を助成。	1,410	1,097	1,487
	R4実績: 301人に実施			
【新規】 産前産後の国民健康保険料免除	産前産後期間の国民健康保険料を免除することにより、子育て世帯の保険料負担を軽減する。	-	-	1,000
	R4実績: -			

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第1節 子育て支援

①妊娠・出産・育児サポート

3 相談・支援体制の充実		健康福祉部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆相談体制の充実及び児童虐待防止の推進 ・虐待対応の基本等の周知 ◆児童発達支援事業推進 ・児童発達支援センター整備 ・事業の民営化実施	家庭児童相談室において引き続き相談支援や児童虐待の防止啓発に努めるとともに、要保護児童対策地域協議会のネットワークを活用し、子どもやその家庭に関する情報・考え方の共有と適切な連携の下での対応を行う。また、乳幼児及び児童の発達支援強化に向け、民間事業所による児童発達支援センター運営に対する支援等に取り組む等、相談・支援体制の充実を図る。			
	R5	R6	R7	
	◆相談体制の充実及び児童虐待防止の推進 (各機関における役割認識と連携強化及び児童相談所との機能強化)	⇒	⇒	
	◆児童発達支援事業推進 (民間法人による運営)	⇒	⇒	
	◆ヤングケアラー支援事業	⇒	⇒	
◆就学相談発達検査	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
家庭児童相談室運営	家庭相談員による相談支援を随時行うほか、要保護児童の訪問支援や一時的に養育困難になった子どもの保護、児童虐待に係る啓発、等を行う。	13,463	12,167	12,720
	R4実績: 相談件数 953件 児童虐待防止啓発講演会55人参加 要保護児童訪問支援 76回			
ヤングケアラー支援事業【再掲】	法令上の定義がない「ヤングケアラー」の社会的認知度向上及び気づきの体制を構築するため、関係機関における研修等を実施。	500	144	342
	R4実績: 開催3回			
助産施設入所費助成	経済的理由等により出産が困難な妊婦の助産施設入所に係る費用の一部を助成。	5,510	3,181	6,500
	R4実績: 助産費助成4人			
乳幼児発達クリニック【再掲】	小児神経科医による問診や診察、指導保健師による問診、計測、育児相談を実施。	223	192	223
	R4実績: 実施 6回 受診者延16人			
発達障害児等早期療育支援事業	社会福祉法人への委託により、発達障がい児を対象としたトレーニング等を実施。	1,530	1,530	1,530
	R4実績: ソーシャルスキルトレーニング15回延97人 親子教室14回延81人 ペアレントトレーニング12回延37名			
児童発達支援センター施設運営助成	運営開始後に施設事業が軌道に乗り、支援の推進が図れるよう運営費用を助成。	4,000	4,000	2,700
	R4実績: 運営助成			
京都府立八幡支援学校放課後等健全育成事業助成	京都府立八幡支援学校において、放課後及び長期休暇期間に障がいのある子どもの活動の場を提供する社会福祉法人に対し助成。	3,600	3,600	3,600
	R4実績: 利用 122人			

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第1節 子育て支援

①妊娠・出産・育児サポート

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
障害児施設措置	障がい児の通所サービス利用等に係る費用や通所医療費等の一部を給付。	357,620	347,133	367,310
	R4実績: 給付 5,441件			
小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業	難病患者で身体障害者手帳を持たない児童を対象に、日常生活用具を給付。	230	218	230
	R4実績: 給付 1件			
軽・中等度難聴児支援事業	身体障害者手帳を持たない18歳未満の難聴児に対し、補聴器の購入・修理費の一部を助成。	250	0	170
	R4実績: 実施なし			
就学相談発達検査	保護者が子どもの発達や特性に応じて就学先を選択できるよう民間事業者による就学相談発達検査を実施。	200	50	200
	R4実績: 検査 10件			

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第1節 子育て支援

①妊娠・出産・育児サポート

4 ひとり親家庭支援の充実		健康福祉部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆ひとり親の就業支援 ◆母子福祉団体への活動支援 ◆ひとり親家庭への医療費助成	様々な課題を抱えるひとり親家庭の自立と生活の安定を図るため、就業に有利な資格取得の支援や医療費助成など、経済的支援に引き続き取り組むとともに、母子福祉活動を行う団体の活動支援を行う。			
	R5	R6	R7	
	◆ひとり親の就業支援	⇒	⇒	
	◆母子福祉団体への活動支援	⇒	⇒	
◆ひとり親家庭への医療費助成	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
母子家庭等対策総合支援	ひとり親家庭の自立支援を目的に、雇用促進を図るための支援事業を実施。	6,840	6,261	7,520
	R4実績: 高等職業訓練 6件 自立支援 1件			
母子生活支援施設入所支援	保護が必要な母子家庭を母子生活支援施設へ入所させるとともに、生活指導・助言を行い、入所世帯の自立支援を図る。	24,000	24,000	23,000
	R4実績: 施設入所 6件			
母子福祉事業	母子福祉の推進を図る「一路会」及び「綴喜連合母子会」に対し、活動費を助成。	470	461	470
	R4実績: 活動助成			
ひとり親家庭医療給付【再掲】	高校卒業相当時点までのひとり親家庭の児童及びその親に対して医療費一部負担金を給付(所得制限あり)。	68,287	64,665	68,164
	R4実績: 受診件数 延21,797件			
児童扶養手当支給	父母の離婚等により、父または母と生計を同じくしていない児童を養育している人を対象に、手当を支給。	365,000	360,367	350,000
	R4実績: 支給延人数 13,427人			

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第1節 子育て支援

②就学前教育・保育の充実

1 就学前教育・保育の充実		こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆民間保育園の認定こども園化促進 ◆教育・保育内容の充実化推進 ◆職員等研修実施 ◆小学校への円滑な移行促進(体験入学等) ◆幼児教育・保育の無償化の円滑な導入及び副食費減免事業費補助金の創設 ◆国・府補助事業に基づく新型コロナウイルス感染症対策の実施 ◆わかたけ保育園・橋本幼稚園園庭芝生化	職員の知識と技能の向上を図るとともに、公立就学前施設の再編を通じた園児の適正規模と職員の確保、認定こども園化による機能面の強化や教育・保育内容の充実を図る。加えて、円滑な就学を図るため、幼小の連携に取り組む。			
	R5	R6	R7	
	◆公立就学前施設運営 (南ヶ丘・みその保育園プール改修等)	⇒	⇒	
	◆民間保育園・認定こども園運営及び振興	⇒	⇒	
	◆職員等研修実施	⇒	⇒	
	◆小学校への円滑な移行を促進(体験入学等)	⇒	⇒	
	◆みどりの園庭づくり推進 (みその保育園敷地内芝生化)	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
【充実】 公立認定こども園運営	就学前児童への一体的な教育・保育の提供を図るため、公立認定こども園を運営(有都こども園)。 R4実績: 1園運営 児童数 延 1,090人	107,638	104,273	100,920
【充実】 民間認定こども園運営	就学前児童への一体的な教育・保育の提供を図るため、民間認定こども園化を促進するとともに、児童入園に係る費用の一部を助成。 R4実績: 10園運営 児童数 延 8,260人	658,090	641,482	642,120
民間認定こども園振興	民間認定こども園の振興を図るため、運営費や人件費、教育・保育内容充実に係る各種事業費の一部を助成。 R4実績: 19事業実施 助成 6園	131,660	129,001	106,700
【充実】 公立保育園運営	公立保育園において、保育内容の充実を図るとともに、若手保育士への巡回相談支援や園児の安全確保に向けた緊急連絡網メールの配信を実施。 R4実績: 4園運営 児童数 延 4,865人	741,113	725,876	753,070
【充実】 民間保育園運営	就学前施設の充実を図るため、民間保育園の運営を社会福祉法人等への委託により実施。また、つぼみ保育園(京都市)へ広域入所を委託。 R4実績: 6園運営 児童数 延 7,024人	686,400	678,161	699,500
民間保育園振興	民間保育園の振興を図るため、運営費や人件費、保育内容充実に係る各種事業費の一部を助成。 R4実績: 19事業実施 助成5園 委託1園	164,700	163,235	116,640
施設等利用給付(保育認定)	幼児教育・保育の無償化に伴い、一定の要件のもと、預かり保育事業等の利用料を助成する。 R4実績: 給付 延 717人	7,765	6,241	7,432

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第1節 子育て支援

②就学前教育・保育の充実

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
公立幼稚園管理運営	公立幼稚園において、就学前の子どもの教育内容充実を図るとともに、預かり保育等を実施。	176,344	170,911	179,610
	R4実績: 4園運営 園児数 延 1,446人			
公立幼稚園教職員等研修	指導力向上や学級経営等に係る幼稚園教職員等への研修を実施。	490	144	450
	R4実績: 研修等実施 7回 97人			
私立幼稚園助成	私立幼稚園を対象に、健康診断等に係る費用の一部を助成。	1,050	617	880
	R4実績: 助成 3園			
私立幼稚園運営	子ども・子育て支援新制度へ移行した市外の広域入所受入を行う幼稚園に対し、市内就学前児童の通園に係る施設型給付費を給付。	2,940	2,897	2,360
	R4実績: 1園運営 児童数 延 54人			
施設等利用給付 (教育認定)	幼児教育・保育の無償化に伴い、一定の要件のもと、保育料等の利用料を助成する。	45,125	43,282	37,808
	R4実績: 給付 延 1,727人			
公立就学前施設の再編 【再掲】	公立の就学前施設を再編し、運営の効率化と教育・保育内容の充実を図る。併せて必要な施設整備等を行う。	0	0	0
	R4実績: 職員説明会、保護者説明会の開催			
幼小連携教育推進プロジェクト	円滑な小学校教育への移行を図るため、小学校入学後のスタートカリキュラムや入学前のアプローチカリキュラムの作成に向けた研究・検討を行う。	0	0	0
	R4実績: プロジェクト推進			
体験入学事業	円滑な小学校教育への移行を図るため、小学校と幼稚園・保育園が協働し、就学前幼児を対象とした「小学校のまなび」に関する体験授業等を行う。	100	58	103
	R4実績: 495人中、市立小学校入学者482人			
みどりの園庭づくり事業 【再掲】	子どもの体力向上や遊びの多様化を図るとともに、ウォークアブルシティへの先駆けとなるよう、公立就学前施設園庭の芝生化を図る。	1,000	962	1,000
	R4実績: 橋本幼稚園園庭芝生化			
【新規】 京の木香る園づくり事業	子どもたちが木の香りや温もりを肌で感じるができるよう、公立就学前施設において、府内産木材を使用した備品を整備する。	—	—	8,400
	R4実績: —			

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第1節 子育て支援

②就学前教育・保育の充実

2 公立就学前施設の再編		こども未来部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆公立保育園・幼稚園の認定こども園化の検討 ◆公立保育園・幼稚園の統廃合推進 ◆保護者等説明 ◆八幡第二幼稚園休園 ◆みやこ保育園廃園(R3.4.1) ◆「八幡市立就学前施設再編の基本方針」策定 	少子化が進行する中において、施設数の適正化及び1施設あたりの園児数の維持を図るとともに、職員体制の充実による園運営の安定化を図るため、「八幡市立就学前施設再編の基本方針(令和3年10月策定)」に基づき、公立就学前施設の再編を推進する。			
	R5	R6	R7	
	◆基本方針に基づく認定こども園化・施設統廃合の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡幼稚園廃園 (みその保育園に統合し認定こども園化) ・八幡第四幼稚園廃園 (八幡第三幼稚園に統合) 	⇒	
◆認定こども園化推進委員会の開催	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
公立就学前施設の再編	公立の就学前施設を再編し、運営の効率化と教育・保育内容の充実を図る。併せて必要な施設整備等を行う。	0	0	0
	R4実績: 職員説明会、保護者説明会の開催			

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第2節 子どもの生きる力の育成

①学校教育

1 学校教育の充実		政策企画部、建設産業部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆学習環境充実に向けた人的支援 ・学習支援員配置 ・スクールソーシャルワーカー配置 ◆各種体験活動等推進 ◆八幡浜市との交流実施 ◆学校保健特別対策事業	市の教育文化振興等に関する総合的な施策の目標等を定めた八幡市教育大綱の改定に取り組む。また、学力の向上及び子どもの生きる力の育成を図るため、学習環境の充実に向けた人的支援(学習支援員の配置等)や各種体験活動の実施、スポーツ活動・部活動への支援に継続的に取り組むとともに、安心安全な学校給食を実施する。さらに、教職員等への研修の充実に取り組む。			
	R5	R6	R7	
	◆教育大綱推進 (大綱改定)	⇒ (大綱推進)	⇒	
	◆学習環境充実に向けた人的支援 (学習支援員配置) (スクールソーシャルワーカー配置)	⇒	⇒	
	◆各種体験活動等推進	⇒	⇒	
	◆八幡浜市との交流実施	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
八幡市教育大綱推進	市の教育文化振興等に関する総合的な施策の目標等を定めた方針に基づき、各種施策を推進するとともに、令和6年度からの新たな方針を定めるべく、教育大綱を改定する。 R4実績: 大綱推進	242,400	235,308	222,700
八幡市総合教育会議	市長と教育委員会が教育大綱や重点的に講ずべき施策等について、意思疎通を図り、教育の課題やあるべき姿を共有し、教育行政の推進を図る。 R4実績: 開催 2回	0	0	0
教育委員会及び事務局運営	教育委員会の運営を行うとともに、教育委員会広報紙等の発行による活動報告及び事務事業評価を実施。 R4実績: 学校等訪問 9日	242,400	235,308	222,700
小学校運営	市立小学校の運営を行う。 R4実績: 運営 8校145学級 3,224人(R4.5.1現在)	427,830	423,449	444,870
中学校運営	市立中学校の運営を行う。 R4実績: 運営 4校62学級 1,644人(R4.5.1現在)	142,243	141,357	142,360
【充実】 学校給食運営	全小中学校において市直営による完全給食を実施。また、食材を通して地域への理解を深めるため、地域の食材を使った献立を実施。 R4実績: 給食実施、物価高騰に係る給食費補助小学校1食24円、中学校1食28円	50,476	47,479	63,680
学校図書運営	児童生徒の国語力向上に向け、小中学校図書館に図書館司書を配置し読書活動の推進を図るとともに、図書資料の充実を図る。 R4実績: 司書配置 小学校8人 中学校2人 購入 小3,617冊 中2,735冊	39,058	39,118	39,701

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第2節 子どもの生きる力の育成

①学校教育

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
学力向上推進事業 (学習支援員配置)	学力向上推進に向けた学習環境充実の取組として、全小中学校に学習支援員を配置し、指導体制の充実を図る。	27,122	23,143	30,568
	R4実績: 配置 50人			
学力向上推進事業 (スクールソーシャルワーカー配置)	学習環境充実の取組として、困難な家庭環境にある生徒の生活習慣改善と学習習慣定着に向け、全中学校へスクールソーシャルワーカーを配置。	3,788	3,917	3,858
	R4実績: 配置 4人(うち市単独 2人)			
学力向上推進事業 (英語検定受験支援)	学力向上推進に向けた学習環境充実の取組として、中学校生徒の英語検定受験に係る受験料を負担。	3,215	3,829	3,775
	R4実績: 受験生徒数 1,061人			
外国人指導助手派遣	小・中学校における英語能力の向上及び国際理解教育の推進に向け、外国人指導助手を派遣。	11,890	11,334	12,580
	R4実績: 派遣 小学校2人 中学校4人			
eスクール構想 (教育モデル推進事業)	小中学校での教育モデル推進に向け、基礎学力の把握を行う学力到達度テスト(CRT)の実施や学校評価システムの活用による授業改善等を行う。	5,400	4,902	5,180
	R4実績: CRT購入 小学校 3,144人分 中学校 1,648人分			
学校改革推進事業	学校改革プランに基づき、コーディネーターの配置による小中一貫教育の推進を図るとともに、「子ども会議」を開催し、市長への提言を実施。	3,570	3,148	3,500
	R4実績: 子ども会議開催 9回			
八幡市・八幡浜市中学生交流事業【再掲】	郷土に対する誇りと魅力を再認識し、豊かな人間性や社会性を育むことを目的として、二宮忠八翁の縁でつながる愛媛県八幡浜市と本市の中学生による体験活動を通じた交流を行う。	300	449	1,140
	R4実績: 八幡市で交流実施(令和4年8月17日～19日)			
文化体験活動推進	小中学校の希望校を対象に、地域の伝統や文化を大切にする心や豊かな人間性をはぐくみ、未来の創り手となるよう育成を行う。仕事体験活動は令和4年度に廃止。	80	26	80
	R4実績: 中学校1校で実施			
夢の教室実施事業	全小学校5年生を対象に、現役・OBのスポーツ選手が自らの実体験を基に「夢先生」として行う講義・実技指導を実施。(日本サッカー協会へ委託)	560	528	2,800
	R4実績: 小学校3校でオンラインによる講義を実施			
小中学校安全対策	児童生徒及び教職員の防犯意識向上に向け、小学校1年生・4年生を対象とした危機管理プログラム研修及び各小中学校での防犯訓練を実施。	1,016	852	1,016
	R4実績: 職員研修実施、対象児童 994人			
社会人等による学習支援	小中学校において、文化・スポーツに精通した社会人等による学習支援・部活動指導等を実施。	2,137	1,285	2,240
	R4実績: 派遣 小学校延べ258回 中学校延べ459回			

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第2節 子どもの生きる力の育成

①学校教育

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
農業体験	小学校児童を対象に、八幡農業ボランティアの会の協力を得て農業体験学習を実施する。 R4実績: くすのき、さくら、南山小学校で実施	480	357	530
小学校体育連盟事業助成	児童の陸上運動を通じた親睦と交流を図るため、小学校体育連盟に対し、府立山城総合運動公園で開催される記録会及び駅伝競走大会への参加費を助成。 R4実績: 陸上交歓記録会は雨天中止 その他2大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止	310	176	2,670
【新規】 水泳指導民間委託	小学校における水泳指導を民間スポーツクラブに委託することにより指導内容の充実を図る。 R4実績: -	-	-	7,040
中学校部活動支援	中学校での部活動の振興を図るため、施設使用料や上位大会参加費の助成及び備品整備を行う。 R4実績: 上位大会参加者助成 37件	4,447	3,701	4,250
【新規】 地域部活動検討	地域部活動検討委員会を設置し、中学校における部活動の地域移行に向けた検討を行う。 R4実績: -	-	-	1,290
中学校体育連盟事業助成	中学校の交流とスポーツ振興・競技力向上を促進するため、中学校体育連盟に対し、八幡市中学校体育大会(春季・夏季・秋季)及び綴喜地方大会の施設使用料を助成。 R4実績: 対象 1,131人	620	620	620
中学校吹奏楽研究会助成	中学校・高等学校の吹奏楽研究会に対し、演奏会等の開催経費を助成。 R4実績: 対象 340人	1,100	1,100	1,100
楽しい学校づくり支援事業 (小学校)	「楽しい学校」づくりに向け、各小学校において、独自企画や国府等の事業活用によるスポーツ・文化芸術活動等の取組を支援。 R4実績: 全小学校実施(新型コロナウイルス感染症により、一部の取組が未実施)	1,710	1,382	1,860
hyper-QU	学級生活における課題解決を図るため、各小・中学校において「よりよい学校生活と友達づくりのアンケート」を実施し、児童・生徒の状況把握及び適正な指導・支援を実施。 R4実績: 全小中学校で実施	1,341	1,345	1,366
教職員等研修	学力向上、学級運営、地域連携・ふるさと意識の推進を図るため、小中学校教職員及び養護教諭、給食調理員を対象とした研修等を実施。 R4実績: 研修 11回	810	508	860
UDフォント使用	生徒誰もが文字を読みやすくなるよう、文字の形が分かりやすく誤読が少ないフォントを使用する。 R4実績: UDフォント導入	321	321	321
【R4終了】 学校保健特別対策事業	修学旅行バス増便に対する経費など、学校における感染症対策の取組を支援する。 R4実績: 補助金交付	16,650	16,650	-

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第2節 子どもの生きる力の育成

①学校教育

2 学校教育環境の整備		建設産業部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
<p>◆学校施設等長寿命化計画策定・推進</p> <p>・中学校長寿命化改良設計業務 (男山第二中学校)</p> <p>・屋内運動場空調設備等整備 (くすのき小・さくら小)</p> <p>・屋内運動場空調設備等整備設計業務 (中央小・美濃山小)</p> <p>・トイレ大規模改造工事 (南山小)</p> <p>・トイレ大規模改造工事設計業務 (さくら小)</p> <p>・小学校給食室改修設計業務 (八幡小学校)</p> <p>・美濃山小学校特別教室空調設備設計業務 (美濃山小学校)</p> <p>◆小学校施設設備等整備</p> <p>・橋本小学校芝生化工事</p> <p>◆中学校施設設備等整備</p> <p>・東中廊下改修</p> <p>◆子ども達の学習環境整備</p> <p>・小中学校手洗い場等非接触型水洗化</p>	適切な教育環境の整備に向け、各小学校・中学校の施設管理・補修を行うほか、老朽化対策を実施する。加えて、子どもの熱中症対策や避難所環境整備に向けた小学校屋内運動場の空調設備整備に取り組む。			
	R5	R6	R7	
	◆学校施設等長寿命化計画推進	実施計画の見直し	実施計画の推進	
	・中学校長寿命化改良 (男山第二中学校)	(男山第二中学校)		
	・小学校屋内運動場空調設備等整備 (中央・美濃山・八幡・有都小学校)	(八幡・有都小学校)		
	・小学校トイレ大規模改造 (さくら小学校)	(中央小学校)	(中央・橋本小学校)	
	・小学校給食室改修 (八幡小学校)	(さくら小学校)	(さくら・橋本小学校)	
	◆小学校施設設備等整備	⇒	⇒	
	◆中学校施設設備等整備	⇒	⇒	
◆子ども達の学習環境整備	⇒	⇒		
◆みどりの校庭づくり事業	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
学校施設等長寿命化計画策定・推進	八幡市公共施策等総合管理計画の基本方針に基づき、学校施設等の長寿命化計画を推進。	0	0	0
	R4実績: 計画推進			
小学校整備	市立小学校について、必要に応じ施設改修等の整備を行う。	5,211	5,168	0
	R4実績: 手洗い場等非接触型水洗化			
中学校整備	市立中学校について、必要に応じ施設改修等の整備を行う。	8,346	8,270	13,800
	R4実績: 廊下改修(東中)、手洗い場等非接触型水洗化			
小学校屋内運動場空調設備等整備	生徒の熱中症対策及び避難所としての環境整備に向け、小学校屋内運動場等の空調設備の整備を実施。	260,700 (繰越:129,400)	130,220	84,700
	R4実績: くすのき・さくら小学校整備			
小学校トイレ整備	老朽化が著しく、洋式化率の低い小学校について、乾式化、洋式化等の改修を実施。	8,200	8,118	162,400
	R4実績: 大規模改造工事(南山小)、大規模改造工事設計(さくら小)			

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第2節 子どもの生きる力の育成

①学校教育

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
【充実】 小学校給食室改修	乾式化が未実施の給食施設について、改修を実施。	7,500	7,480	171,510
	R4実績: 給食室改修工事設計(八幡小)			
中学校長寿命化改良	長寿命化計画に沿って、原状回復だけでなく、機能・性能の向上も目的として目標耐用年数80年の中間年が経過した際に実施。	221,100 (繰越:213,600)	7,457	0
	R4実績: 体育館長寿命化改良工事設計(男山第二中)			
GIGAスクール構想	新たな学びのためのICT教育環境の充実のため、児童生徒1人1台の端末配備と全小中学校の高速ネットワーク整備等を行う。	51,700	50,152	44,800
	R4実績: ICT支援員配置、システム保守委託休業時貸出用ルータ通信費			
児童用机天板交換	小学校の学習環境の整備を図るため、児童用机天板の府内産木材化を実施。	4,893	4,118	4,950
	R4実績: 市内小学校4年生552台導入			
みどりの校庭づくり事業 【再掲】	子どもの体力向上や遊びの多様化を図るとともに、ウォークアブルシティへの先駆けとなるよう、校庭の芝生化を図る。	8,500	8,183	961
	R4実績: 橋本小学校校庭芝生化			

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第2節 子どもの生きる力の育成

①学校教育

3 配慮が必要な子どもへの支援体制の整備		健康福祉部、こども未来部			
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)			
◆スタディサポート教室(鳩嶺教室)実施 ◆教育支援センター運営 ◆八幡市いじめ防止対策委員会開催 ◆民間による児童発達支援事業実施 ◆就学援助 ◆特別支援教育就学奨励	スタディサポート教室(鳩嶺教室)、教育支援教室(さつき)を継続実施する。また、療育支援の中心となる児童発達支援センターによる総合的な支援体制を整備し、継続して生徒や就学前の幼児をもつ保護者の電話等による教育相談を実施する。さらに、日本語指導を必要とする児童生徒に対して支援員等の派遣によるサポートを行う。加えて、特別支援教育支援員の配置を継続実施し、新たに特別支援教育ソフトを導入することで、きめ細かな教育・指導に取り組む。				
		R5	R6	R7	
	◆スタディサポート教室(鳩嶺教室)実施	見直しに基づく施策の実施	⇒	⇒	
	◆教育支援センター運営	⇒	⇒	⇒	
	◆八幡市いじめ防止対策委員会開催	⇒	⇒	⇒	
	◆民間による児童発達支援事業実施	⇒	⇒	⇒	
	◆就学援助	⇒	⇒	⇒	
	◆特別支援教育就学奨励	⇒	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5	
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
スタディサポート教室(鳩嶺教室)	経済的に困難な家庭の小学4年生以上の児童及び中学生を対象に、民間教育機関による学習機会を提供。 R4実績: 受講者 小学生54人、中学生145人	53,580	50,170	61,320	
教育支援センター運営	不登校解消に向けた学校との連携や不登校児童生徒の学校復帰のための「さつき教室」を運営。 R4実績: さつき教室通級児童・生徒の学校復帰率 74%	30,726	29,166	50,350	
教育支援委員会運営	心身に障がいのある児童・生徒、就学前の教育相談及び特別支援教育に対する啓発活動を実施。 R4実績: 相談 89件	560	107	570	
八幡市いじめ防止対策委員会	「八幡市いじめ防止基本方針」に基づく対策の推進に向け、小中学校における問題行動の未然防止・早期発見及び対処等に必要な調査・審議を行う「八幡市いじめ防止対策委員会」を設置・開催。 R4実績: 委員会 1回開催	360	28	360	
【充実】特別支援教育支援員事業	障がいのある児童生徒を対象に、学校生活上の介助や学習支援を行う「特別支援教育支援員」を配置及び特別支援教育ソフトウェアの導入により特別支援教育の充実を図る。 R4実績: 配置19人	11,780	11,938	15,320	
発達障害児等早期療育支援事業【再掲】	社会福祉法人への委託により、発達障がい児を対象としたトレーニング等を実施。 R4実績: ソーシャルスキルトレーニング15回延97人 親子教室14回延81人 ペアレントトレーニング12回延37名	1,530	1,530	1,530	

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第2節 子どもの生きる力の育成

①学校教育

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
児童発達支援センター施設運営助成【再掲】	運営開始後に施設事業が軌道に乗り、支援の推進が図れるよう運営費用を助成。	4,000	4,000	2,700
	R4実績: 運営助成			
学力向上推進事業(日本語支援員・母語通訳者派遣)【再掲】	日本語指導を必要とする児童生徒に対する日本語指導のための支援員の派遣や、保護者対応のための母語通訳者を派遣する。	600	562	840
	R4実績: 日本語支援員・母語通訳者派遣 延92回			
就学援助	経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費や給食費、新入学学用品費などの援助を行う。	115,274	109,500	113,424
	R4実績: 支給人数 要保護: 児童11人、生徒19人 準要保護: 児童954人、生徒609人			
特別支援教育就学奨励	特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、学用品費や給食費、新入学学用品費などの援助を行う。	2,682	2,522	2,996
	R4実績: 支給人数 児童54人、生徒17人			

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第2節 子どもの生きる力の育成

②児童・青少年の健全育成

1 放課後における児童の健全育成		こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆新・放課後子ども総合プラン推進 ◆放課後児童健全育成事業実施 ◆やわた放課後学習クラブ運営	すべての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、国の新・放課後子ども総合プランを踏まえ、放課後児童健全育成事業と「放課後学習クラブ(京のまなび教室)」の連携を促進するなど、総合的な放課後対策の計画的な整備等を推進し、取組の充実を図る。また、地域のボランティアによる放課後の学習支援や支援コーディネータによる家庭への働きかけにより、学力向上と家庭における教育への意識向上を図る。			
		R5	R6	R7
	◆新・放課後子ども総合プラン推進	⇒	⇒	⇒
	◆放課後児童健全育成事業実施	⇒	⇒	⇒
	◆やわた放課後学習クラブ運営	⇒	⇒	⇒
◆地域による寺子屋事業実施	⇒	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
新・放課後子ども総合プラン推進	「放課後児童健全育成事業」と「やわた放課後学習クラブ」の連携を図り、一体的な居場所・学習の場の提供に向け取り組む。	0	0	0
	R4実績: 放課後児童クラブを含む3年生及び4年生対象の特別講座を一部実施			
放課後児童健全育成事業	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全育成を図るため、小学校内や児童センターなど市内9施設において居場所の提供や学習支援等を実施。	190,272 (繰越:5,500)	182,485	205,330
	R4実績: 9施設 利用者 延146,253人			
児童センター等運営	児童の健康増進や豊かな情操を育むため、市内6か所の児童センター等において放課後の遊びの場や機会を提供。	56,370	52,741	57,620
	R4実績: 利用者数 延23,967人			
やわた放課後学習クラブ運営	自学自習力と学習意欲の向上を図るため、小学校5・6年生を対象に、市内全小学校において週2回学習の場を提供及び支援を実施。	9,880	9,037	8,400
	R4実績: 水曜日参加人数:延2,844人 土曜日参加人数:延2,499人			
【新規】 地域による寺子屋事業(家庭学習応援)	地域のボランティアによる放課後の学習支援や支援コーディネータによる家庭への働きかけにより、学力向上と家庭における教育への意識向上を図る。	-	-	1,700
	R4実績: -			
南ヶ丘教育集会所管理運営・ 学習活動推進	南ヶ丘教育集会所の学習支援活動。	32,189	31,837	27,080
	R4実績: 児童生徒の学習支援			

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第2節 子どもの生きる力の育成

②児童・青少年の健全育成

2 青少年の健全育成		政策企画部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆青少年健全育成団体の活動支援・人材育成 ・青少年育成補導委員会 ・PTA連絡協議会 ・学校支援地域本部への活動助成 ◆青少年活動の促進 ・子ども会活動助成等		青少年育成補導委員会やPTA、学校支援地域本部等との連携や活動支援を通じ、青少年健全育成を支える取組を進め、それを担う人材の育成を図る。		
		R5	R6	R7
		◆青少年健全育成団体の活動支援・人材育成 (青少年育成補導委員会、PTA連絡協議会、学校支援地域本部への活動助成)	⇒	⇒
		◆青少年活動の促進 (子ども会活動助成等)	⇒	⇒
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
青少年育成補導委員会活動助成	青少年の非行防止や健全育成に取り組む青少年育成補導委員会に対し、活動費の一部を助成。	1,035	1,035	1,035
	R4実績: キャンプ、研修会は新型コロナにより中止 スポーツ大会3回開催、参加者延290人			
地域学校協働活動推進事業	全中学校区に設置された各学校支援地域本部に対し、学校と地域との連携を図る地域コーディネーターを配置し、活動経費の一部を助成。	4,060	2,541	4,060
	R4実績: コーディネーター 4人、学校支援地域本部活動助成 4団体			
地域連携教育活動推進事業	小・中学校区地域連携団体に対し、連携事業・学校支援事業・児童生徒のふるさと体験学習・特別体験学習の推進に向けた活動費の一部を助成。	3,827	3,827	4,150
	R4実績: 助成 12団体			
PTA連絡協議会活動助成	公立幼稚園、小中学校、支援学校等に組織されるPTA間の相互連携や活動促進に向け、PTA連絡協議会の活動費の一部を助成。	153	0	153
	R4実績: PTA 18組織			
子ども会活動助成	子ども会に対し、活動費の一部を助成する。(一人当たり400円)	988	872	926
	R4実績: 18会 2,180人			
二十歳のつどい開催	新二十歳による実行委員会を組織し、二十歳のつどいの式典を開催する。	1,920	1,676	1,630
	R4実績: 参加者 455人			
少年少女合唱団事業	小学校1年生から中学校3年生までの児童生徒で編成する少年少女合唱団に対し、練習等活動費の一部を助成。	1,162	1,004	1,170
	R4実績: 団員 8人			
青少年活動事業 (ふれあい交流事業開催)	障がい児と幅広い世代の地域住民やボランティアとの交流を目的に、文化・スポーツを通じた交流事業を実施する。	370	80	280
	R4実績: 参加者 10人			

第2章 子どもが輝く「未来のまち やわた」

第2節 子どもの生きる力の育成

②児童・青少年の健全育成

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
青少年の主張大会開催	青少年の主張を発表する大会の開催を通じて、同世代の意識啓発と多くの方々の青少年に対する理解と関心を深める。	310	269	320
	R4実績: 参加者 250人、発表者 14人			
子どもわくわくスポーツ教室	サッカーやバスケット等のスポーツを通して、自主性・協調性を備えた心豊かな子どもたちを育むことを目的に開催する。	1,011	1,036	761
	R4実績: 実施回数 86回、参加者 延1,480人			
子どもわくわく文化教室	伝統文化である華道・茶道等を通して、自主性・協調性を備えた心豊かな子どもたちを育むことを目的に開催する。	310	310	450
	R4実績: 年10回開催、参加者 169人			

第3章

誰もが「健康」で「幸せ」な
「健幸のまち やわた」

第3章 総括

基本目標	誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」
------	--------------------------

< 施策体系 >

第1節 健康で幸せのまちづくり

めざす姿	市民の誰もが健康に関心を持ち、地域のつながりと自然に健康づくりが進むまちの中で、いきいきと幸せを感じながら、健康寿命が延びています。
------	--

① 健康づくり習慣の定着促進

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
健康づくりインセンティブ事業実施による医療費抑制効果額	千円	-	76,431	(※1)	1,660,000	-
健康づくりイベント参加者数	人	2,400	400	490	1,000	○
健康づくりインセンティブ事業参加者数	人	548	3,087	3,930	5,000	○
定期的に運動をしている市民の割合	%	58.9	58.7	(※2)	75.0	-
がん検診受診率(※3)	%	15.8	8.3	13.5	17.0	○

※1…次回は令和5年度末に取得予定。

※2…次回はやわたスマートウェルネスシティ計画改定時(R9)に取得予定。

※3…市が実施する検診の受診者数を対象とし、社会保険加入者の職域受診は含まない。

② 地域のつながりを活かした健幸づくり

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
産官学と地域連携によるコミュニティ運動教室参加者数	人	65	137	136	800	△
通所型サービスB事業所設置数	事業所	2	2	2	8	○

③ 健幸につながるまちの基盤づくり

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
ウォーキングマップの認知率	%	25.7	27.0	(※4)	50.0	-
交通事故発生件数(歩行者関係事故)(※5)	件	21	18	14	15	◎
市民スポーツ公園利用者数	人	152,868	96,707	128,271	168,000	○
運動公園利用者数	人	18,692	15,434	19,921	19,400	◎

※4…次回はやわたスマートウェルネスシティ計画改定時(R9)に取得予定。

※5…各年12月末現在。(計画当初値は平成28年12月末現在)

第2節 医療・介護の連携

めざす姿	医療・介護の連携が進み、市民が住み慣れた地域で「幸せ」に暮らし続けられる体制が整っています。
------	--

① 医療基盤の充実

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
国民健康保険被保険者1人あたり医療費費用額	円	-	366,000	372,144	366,000の8%増以内に抑制(※6)	◎
後期高齢者医療保険被保険者1人あたり医療費費用額	円	-	936,600	938,964	936,600の5%増以内に抑制(※7)	◎
国民健康保険料収納率(現年度分)	%	92.6	94.7	94.3	95.0	△

※6…366,000円は後期基本計画策定時の最新数値。

※7…936,600円は後期基本計画策定時の最新数値。

② 地域包括ケアシステムの推進

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
認知症サポーター養成講座受講者数	人	1,408	2,419	2,488	4,500	○
八幡市あんしんネットワーク事前登録者数	人	3	83	80	180	△
ハイリスクアプローチの実施件数	件	-	326	366	400	○
ポピュレーションアプローチの関与件数	件	-	614	518	800	△

達成の状況	目標値を達成(◎)		4 件	26.7%
	未達成	「前年度実績」より前進または同値(○)	7 件	46.6%
		「前年度実績」より後退(△)	4 件	26.7%

※今年度に現状値を把握することができない指標については、母数から除外。

第3章 総括

基本目標	誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」
------	--------------------------

総括(指標の達成状況・今後の方向性)

第1節	<p>(めざす姿の実現に向けて実施した取組、指標の達成状況) 自らの健康に目を向けるきっかけづくりのために、ウォーキングを中心とした運動習慣の定着を図るやわた未来いきいき健幸プロジェクトを中心とし、健幸アンバサダー養成事業、健幸マルシェやウォーキングイベントなどに取り組んだ。特に、やわた未来いきいき健幸プロジェクトには4,000名近くが参加し、参加者における社会保障費の抑制効果が確認できている。しかしながら、イベント参加者数や定期的な運動習慣に関する指標は新型コロナウイルス感染症の影響もあり思うように伸びておらず、社会的な制限が緩和される中で、ウィズコロナ、アフターコロナにおける取り組み方について改めて検討する必要がある。</p> <p>また、閉じこもり予防教室や介護予防にかかわる住民サポーターの養成等、地域での介護予防の推進に取り組んだ。「通所型サービスB事業所設置数」については新型コロナウイルス感染症の影響もあり横ばいとなっているが、民間事業者による新規事業実施への支援を継続して実施する。</p> <p>さらには、歩いて出かけたくくなるようなウォーキングイベント実施によるきっかけづくりや安心して歩行できる環境の整備のほか、就学前施設や小学校校庭の芝生化実施により、子どもの体力向上や遊びの多様化を図る等、「まちの健幸づくり」にも取り組んだ。</p> <p>(今後の取組方針) やわた未来いきいき健幸プロジェクトをはじめ、歩くことを中心とした働きかけを継続的に実施するとともに、アフターコロナを意識して、健幸マルシェやウォーキングイベント等の開催や食・栄養の分野における健幸づくり施策の実施について、今まで以上に注力する。また、健康無関心層に対しては、今一度ロコミの有効性に着目し、健幸アンバサダーの養成に加えて新たに児童を対象としたキッズ健幸アンバサダーの取組を始めるほか、人間ドック・脳ドック助成の対象年齢を拡充することで受診を促進し、若年層の健康意識向上を図る。</p> <p>加えて、介護認定において軽度の認定者が多い本市の傾向を踏まえ、通所型サービスBの新規事業実施に向けた検討を行うほか、地域が主体となった介護予防と自立した日常生活の支援を目的とした介護予防・生活支援サービスの充実に取り組む。</p> <p>さらに、魅力ある目的地づくりや歩行環境の更なる充実、イベント実施による賑わい創出、就学前施設の芝生化など、健幸に暮らすことができる「まち」づくりについても、有効な手立てを検討し取組を進める。</p>
-----	---

第2節	<p>(めざす姿の実現に向けて実施した取組、指標の達成状況) 地域医療基盤の充実に向け、休日応急診療所の運営や山城北医療圏内の医療連携、小児救急医療体制の整備促進に取り組んだほか、感染症対策の推進として、新型コロナウイルスワクチンを含む各予防接種事業に取り組んだ。 また、京都府と連携している各医療助成制度を適正に運営し、子育て世代やひとり親家庭、障がい者、高齢者等が安心して医療を受けられるよう取り組んだほか、高齢者のフレイル予防を図るため、保健事業と介護予防事業の一体的実施による効果的・効率的な支援を行った。</p> <p>地域包括ケアシステムの推進については、各圏域に設置された地域包括支援センター(ほっとあんしんネット)を中心に、「住まい」、「医療」、「介護」、「予防」、「生活支援」が一体的に提供されるケアシステムの推進に取り組んだほか、認知症サポーター養成講座の開催により地域の方の認知症への理解を深めていただくなど、認知症施策の充実にも取り組んだ。</p> <p>指標の達成状況では、国民健康保険・後期高齢者医療保険とも被保険者1人あたり医療費費用額は目標を達成しているほか、「認知症サポーター養成講座受講者数」「ハイリスクアプローチの実施件数」については前年度実績より増加している。一方で「国民健康保険料収納率(現年度分)」「八幡市あんしんネットワーク事前登録者数」は前年度実績より微減、「ポピュレーションアプローチの関与件数」は前年度実績より後退となっている。</p> <p>(今後の取組方針) 地域医療基盤の充実に向けては、他団体等との連携により、地域医療・救急医療体制をこれまでどおり確保するとともに、年々需要が減少している休日における1次医療を実施する休日応急診療所の運営方法について、最善の形を検討する。また、引き続き、京都府に対して小児救急医療体制の実施拡大大要望等を行う。 国民健康保険制度及び後期高齢者医療制度については、今後も健全運営に取り組むとともに、新たに入院により収入が減少した国民健康保険被保険者に対する入院傷病手当金の支給に取り組む。また、引き続き高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業に取り組む、健康寿命の延伸を図る。さらに、子育て支援医療助成制度の対象年齢を拡充することにより、子育て世帯の医療費負担軽減を図る。</p> <p>地域包括ケアシステムの推進については、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立して生活できるよう、引き続き各関係機関との連携を図っていく。</p>
-----	---

第3章 総括

基本目標	誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」
------	--------------------------

総合計画検討懇談会の意見

健康の為にウォーキングをする人が増えている。ウォーキングマップの認知度の向上とともに、作成したものをどう活用・展開していくのかを検討し、取り組まれない。合わせて、出歩けない人など、多様な方に対する支援についても留意されたい。

健康だけでなく、地域づくりや青少年の育成ともかかわるが、単体で成功しているイベント間の連携やイベントを通じて育成されたサポーター等の人材の活用を検討されたい。

地域で自主的に実施される健康づくりの取組に対する支援メニューについて、一層の活用が図られるようPRに努められたい。

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第1節 健康で幸せのまちづくり

①健康づくり習慣の定着促進

1 健康意識の向上促進		政策企画部、健康福祉部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
<p>◆やわたスマートウェルネスシティ計画推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健幸まちづくり条例制定 <p>◆健康づくりインセンティブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やわた未来いきいき健幸プロジェクト実施 <p>◆健康づくりイベント等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健幸マルシェ開催 ・健幸フェスタ開催 <p>◆やわたヘルスプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健幸アンバサダー養成 	健康無関心層を含めた市民の健康意識を高め、運動への機運の向上と健康情報を入手しやすい仕組みを構築するため、インセンティブ事業の拡充や健康づくり啓発イベントの開催、健幸アンバサダー・キッズ健幸アンバサダーの養成等を行う。また、民間事業者等との連携を拡大し、健康づくりが推進される環境を整える。さらに、国民健康保険被保険者の人間ドック・脳ドックの費用助成対象年齢を拡大し、被保険者の受診を促進することで健康意識の向上を図る。			
	R5	R6	R7	
	◆やわたスマートウェルネスシティ計画改定・推進	⇒	⇒	
	◆健康づくりインセンティブ(やわた未来いきいき健幸プロジェクト効果検証)	効果検証に基づくプロジェクト検討・更新	プロジェクト推進	
	◆健康づくりイベント等(健幸マルシェ開催)	⇒	⇒	
	◆やわたヘルスプロモーション(健幸アンバサダー・キッズ健幸アンバサダー養成)	⇒	⇒	
	◆健康診断助成事業(人間ドック・脳ドック助成)	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
やわたスマートウェルネスシティ構想・計画改定・推進	市民が「健康」で「幸せ」を感じ生き活きと暮らすことができるまちをめざす構想及び計画に基づき、各種施策を推進。 R4実績: 計画推進	0	0	0
やわた未来いきいき健幸プロジェクト	ソーシャル・インパクト・ボンドの仕組みを活用した、歩数や検診受診等に応じて景品等に交換可能なポイントを付与する健幸づくりインセンティブ事業やスポーツクラブでの運動・栄養補給に関する指導を実施し、健康意識の向上を図る。 R4実績: プロジェクト参加者 3,930人 やわたミドルクラブ参加者 101人	49,500	46,265	55,400
【充実】 やわたヘルスプロモーション推進事業	地域コミュニティの中で「ロコミ」により健康無関心層にアプローチする「健幸アンバサダー」を養成及び、児童が高齢者等にスポーツ・健康づくりの重要性を伝える「キッズ健幸アンバサダー」を養成する。 R4実績: アンバサダー養成23名 累計536名	800	405	6,510
スマートウェルネスシティ推進(健幸マルシェ開催)	健幸クラウドの分析結果に基づく健康づくり啓発イベントを開催。 R4実績: 2回開催	100	36	50
スマートウェルネスシティ推進(ウォーキング推進事業)	ウォーキングイベントの開催等を通じ、疾病予防に効果があるウォーキング習慣のきっかけづくりを行う。 R4実績: イベント開催2回、マップの配布	79	0	83

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第1節 健康で幸せのまちづくり

①健康づくり習慣の定着促進

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
健康診査 (がん検診等)	各種がん検診等を実施するとともに、検(健)診一括申込制により受診率の向上を図る。 R4実績： がん検診受診者(胃がん1,103人、乳がん 1,355人、子宮がん1,225人、肺がん 2,096人、大腸がん3,385人、前立腺がん 2,005人) 骨粗しょう症健診受診者1,165人 肝炎ウイルス検診受診者392人	67,510	57,743	74,650
健康診査 (歯周疾患検診)	40、50、60、70歳の節目年齢の方を対象に、早期に歯周疾患の進行を抑制する目的で、歯周疾患検診の受診勧奨および検診を実施する。 R4実績： 受診者 164人	2,280	1,057	2,610
健康診査 (後期高齢者等健康診査)	後期高齢者医療制度加入者等を対象に、指定医療機関において受診した、健康診査における費用を助成。 R4実績： 後期高齢者等健康診査 4,020人 生活習慣病予防健康診査 26人	47,280	47,163	50,620
健康診査 (後期高齢者歯科健康診査)	オーラルフレイル(口腔機能の虚弱)の早期発見に向け、後期高齢者医療制度加入者を対象に、指定医療機関において受診した、歯科健康診査における費用を助成。 R4実績： 受診者 125人	830	793	1,070
【充実】 健康診断助成事業 (人間ドック・脳ドック助成)	30歳以上の国民健康保険加入者、後期高齢者医療制度加入者を対象に、指定医療機関において受診した、人間ドック・脳ドックにおける費用を助成(利用者負担額を除く) R4実績： 受診者983人(内併用267人)	36,340	27,503	46,340
特定健康診査事業 【再掲】	市民の健康意識の向上及び国民健康保険の適正運営に向け、40歳～74歳の被保険者を対象に健診を実施。 R4実績： 受診率 43.5%(見込)	(71,990)	(60,815)	(71,721)
特定保健指導事業 【再掲】	市民の健康意識の向上及び国民健康保険の適正運営に向け、特定健診結果から対象者に保健指導を実施。 R4実績： 指導率 38.4%(見込)	(4,610)	(3,810)	(4,722)
自殺対策計画推進	自殺対策基本法に基づき、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の構築に向け、計画に基づく施策を推進する。 R4実績： 計画推進	375	318	378
健康教育	「やわた健幸づくり推進連携協定」締結先のスポーツジムと連携し、健幸クラウドの分析結果に基づく小学校区単位での健康教室やセミナーを開催するほか、健康手帳の発行や「歯のひろば」を開催。 R4実績： 健康手帳発行7件、歯のひろば未開催、健康教室5回開催	780	731	1,500

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第1節 健康で幸せのまちづくり

①健康づくり習慣の定着促進

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
市民健康相談	15歳から39歳の方で、職場などで健康診断を受ける機会のない方を対象に、血液検査、血圧測定、尿検査及び保健師・医師による相談を実施。	890	524	950
	R4実績： 受診者93人			
高齢者健康相談事業	65歳以上の高齢者を対象に、南ヶ丘老人の家・八寿園・都老人の家・有都福祉交流センターで各種検査の実施と健康相談窓口を設置。	40	6	40
	R4実績： 市内2施設延14回実施 相談51人			
市民ふれあいウォーキング 【再掲】	運動の楽しさや運動が体に及ぼす好影響を体験してもらうことを目的に実施。	125	53	125
	R4実績： 実施回数2回、参加者25人			

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第1節 健康で幸せのまちづくり

①健康づくり習慣の定着促進

2 運動習慣の定着促進		政策企画部、健康福祉部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆ライフスタイルに応じた各種教室やイベントの開催 ◆グラウンド等、身近で運動できる場所の確保 ◆市民主体のスポーツ活動の促進 ◆スケートボードパーク整備	健康無関心層を含めた市民の運動習慣定着に向け、ライフスタイルに応じた各種教室やイベント等の実施、運動環境の提供、市民スポーツ委員の設置・派遣等、市民主体のスポーツ活動を促進する。			
	R5	R6	R7	
	◆ライフスタイルに応じた各種教室やイベントの開催	⇒	⇒	
	◆グラウンド等、身近で運動できる場所の確保	⇒	⇒	
◆市民主体のスポーツ活動の促進	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
健康コミュニティ推進事業(生活総合機能改善事業)【再掲】	公民館等に音楽機器を設置し、「うたと音楽」による活動や教室を通じた運動・口腔・認知機能の向上及び地域コミュニティへの参加促進等を図る。 R4実績： 設置 2箇所	1,000	998	1,091
ウォーキング推進事業【再掲】	ウォーキングイベントの開催等を通じ、疾病予防に効果があるウォーキング習慣のきっかけづくりを行う。 R4実績： イベント開催2回、マップの配布	79	0	83
やわた未来いきいき健幸プロジェクト【再掲】	ソーシャル・インパクト・ボンドの仕組みを活用した、歩数や検診受診等に応じて景品等に交換可能なポイントを付与する健幸づくりインセンティブ事業やスポーツクラブでの運動・栄養補給に関する指導を実施し、健康意識の向上を図る。 R4実績： プロジェクト参加者 3,930人 やわたミドルクラブ参加者 101人	49,500	46,265	55,400
健幸マルシェ開催【再掲】	健幸クラウドの分析結果に基づく健康づくり啓発イベントを開催。 R4実績： 2回開催	100	36	50
運動器の機能向上	身体機能の低下がみられる事業対象者等の生活機能を改善させるため、短期集中の運動教室を開催。 R4実績： 開催60回 参加者 延582人	1,160	1,135	1,160
閉じこもり予防事業	運動、レクリエーション事業、季節行事等の通所形態の教室、筋トレ実施方法を指導する教室、認知症予防の教室を開催。 R4実績： 開催 157回 参加者 延1,258人	5,760	4,835	6,000
閉じこもり予防支援事業	身体機能の低下がみられる事業対象者等の生活機能を改善させるため、短期集中の閉じこもり予防、口腔機能向上、栄養改善の教室を開催。 R4実績： 参加者延159人	1,600	1,600	1,600
スポーツ推進委員設置	市民のスポーツ振興に向けた実技指導や啓発活動等を行うスポーツ推進委員を設置。 R4実績： 委員 24人 出務回数 267回	1,930	1,752	1,609

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第1節 健康で幸せのまちづくり

①健康づくり習慣の定着促進

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
学校グラウンド・体育館等開放	旧学校施設(旧四小・五小・東小)を含む学校グラウンド・体育館等、スポーツ利用に係る一般開放を実施。	1,924	1,707	1,962
	R4実績: 利用件数(グラウンド2,540件、体育館8,636件、格技場1,509件)			
体育振興事業	市民がスポーツに接し交流する機会の拡充に向け、イベント開催やスポーツ団体への支援等に取り組む。	19,791	18,863	19,586
	R4実績: 体育振興事業 子どもわくわくスポーツ教室 実施回数86回 参加者1,480人 八幡市民マラソン大会 参加者1,223人 スポーツ協会活動助成 33加盟団体 スポーツ少年団活動補助金 21団体 740人 京都府民総合体育大会 総合16位 参加者198人 市民総合体育大会開催 19大会 参加者2,136人 市民ふれあいウォーキング 実施回数2回 参加者25人 ノルディックウォーキング教室 実施回数2回 参加者16人 やわたスポーツカーニバル 来場者1,152人			

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第1節 健康で幸せのまちづくり

①健康づくり習慣の定着促進

3 健康的な食・生活習慣の定着促進		健康福祉部、建設産業部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆食・生活習慣改善推進 ・食生活改善推進員養成 ◆地元産食材の利用促進	食・生活習慣改善に向け、料理教室など食に係る健康推進活動を行う「食生活改善推進員」活動の活性化や各種教室・指導を実施するとともに、地元産食材の利用促進による食への意識高揚を行う。			
	R5	R6	R7	
	◆食・生活習慣改善推進	⇒	⇒	
◆地元産食材の利用促進	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
食生活改善推進	地域で開催される料理教室等、食生活改善推進員による、食にかかる健康推進活動の推進。 R4実績： 教室等参加者 893人	830	397	790
地元産米給食利用促進補助金【再掲】	八幡市学校給食運営委員会が行う地元産米給食利用促進事業に対し助成。 R4実績： 利用 53,340kg	612	534	600
地元産味噌給食利用促進補助金【再掲】	八幡市学校給食運営委員会が行う地元産味噌給食利用促進事業に対し助成。 R4実績： 利用 味噌1,702kg、白味噌655.7kg	1,631	1,365	2,277
安全・安心でおいしいお米生産事業助成【再掲】	農業振興・地産地消を推進するため、生産管理されたJA出荷米「こだわり米」及び特別栽培米について、JA京都やましろ八幡市支店に対し助成。 R4実績： 助成 1等米4,687袋、2等米2,708袋	2,200	2,885	2,900
農産物品評会開催【再掲】	高品質で安全な農作物の普及啓発を図り、農業に対する理解を深めるため、農産物品評会を開催。 R4実績： 出品数 140点	185	155	210
高齢者栄養改善事業	低栄養状態の恐れがあると認められた人を対象として、低栄養状態の予防・改善に向けた調理実習や講義等を開催。 R4実績： 参加者 延49人	140	126	140
高齢者口腔機能向上支援事業	口腔機能低下のおそれがある高齢者に対し、口腔機能の向上の教育・指導等を実施。 R4実績： 参加者 延64人	600	557	600
配食サービス事業	ひとり暮らし等で調理が困難な高齢者に配食サービスを実施。 R4実績： 利用者 延407人、延5,286食	3,600	3,424	3,900

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第1節 健康で幸せのまちづくり

②地域のつながりを活かした健幸づくり

1 地域で支える介護予防の推進		健康福祉部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆産官学と地域連携によるコミュニティ運動教室 ・健康コミュニティ推進事業 ・元気アップ事業推進 ◆地域での介護予防推進 ・地域での教室等開催支援 ・介護予防に関わる住民サポーターの養成 ◆生活支援サービスの実施	地域で支える介護予防の推進に向け、住民自身が主体となるよう、産官学と地域連携によるコミュニティ運動教室の拡充に取り組むとともに、地域での各種講座や教室の開催、介護予防推進員の養成を進める。また、介護予防事業対象者の生活機能等の確認を行いながら、生活支援サービスに取り組む。			
	R5	R6	R7	
	◆産官学と地域連携によるコミュニティ運動教室(健康コミュニティ推進事業)(元気アップ事業の展開)	⇒	⇒	
	◆地域での介護予防推進(地域での教室等開催支援)(住民サポーター養成)	⇒	⇒	
◆生活支援サービスの実施	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
健康コミュニティ推進事業(生活総合機能改善事業)	公民館等に音楽機器を設置し、「うたと音楽」による活動や教室を通じた運動・口腔・認知機能の向上及び地域コミュニティへの参加促進等を図る。	1,000	998	1,090
	R4実績: 設置 2箇所			
スマートウェルネスシティ推進事業(元気アップ事業)	教室を展開していく元気アップサポーターの養成講座及び高齢者の体力測定・分析を実施。	961	939	1,650
	R4実績: 養成講座R4実施なし(隔年実施) 体力測定 98人			
高齢者健康長寿普及啓発事業	運動機能の維持・改善など介護予防に関する情報提供を行う出前講座と、住民自らが主体的に実施できる運動方法の指導を各地域で開催。	60	26	100
	R4実績: 出前講座 2団体24人 運動普及 0団体			
訪問型サービスB事業	登録事業者の協力員等による簡易的な訪問介護サービスを提供。	700	165	700
	R4実績: 利用者回数 計162回			
通所型サービスB事業	登録事業者による通いの場の確保や介護予防・閉じこもり予防を目的としたサービスを提供。	1,800	1,500	2,300
	R4実績: 利用者 延953人			
閉じこもり予防事業【再掲】	運動、レクリエーション事業、季節行事等の通所形態の教室、筋トレ実施方法を指導する教室、認知症予防の教室を開催。	5,760	4,835	6,000
	R4実績: 開催 157回 参加者 延1,258人			
閉じこもり予防支援事業【再掲】	身体機能の低下がみられる事業対象者等の生活機能を改善させるため、短期集中の閉じこもり予防、口腔機能向上、栄養改善の教室を開催。	1,600	1,600	1,600
	R4実績: 参加者延159人			
高齢者口腔機能向上支援事業【再掲】	口腔機能低下のおそれがある高齢者に対し、口腔機能の向上の教育・指導等を実施。	600	557	600
	R4実績: 参加者 延64人			

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第1節 健康で幸せのまちづくり

②地域のつながりを活かした健幸づくり

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
高齢者健康相談事業 【再掲】	65歳以上の高齢者を対象に、南ヶ丘老人の家・八寿園・都老人の家・有都福祉交流センターで各種検査の実施と健康相談窓口を設置。	40	6	40
	R4実績: 市内2施設延14回実施 相談51人			
介護支援サポーター事業	認定を受けていない65歳以上の高齢者の介護施設等でのボランティア活動に対してポイントの付与と換金を行う。	2,400	2,400	2,400
	R4実績: 対象者 22人			

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第1節 健康で幸せのまちづくり

②地域のつながりを活かした健幸づくり

2 産官学の連携と市民協働の仕組みづくり		健康福祉部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆産官学の連携推進 ・SWC推進協議会開催 ・産官学民が健幸づくりに主体的に取り組むようになる体制・仕組みの検討 ・産官学と住民の連携による新たなプログラム開発検討 ・やわた健幸づくり推進連携協定に基づく取組推進 ・新たな健幸づくり推進連携協定締結先の検討 ◆健幸クラウドシステム活用 ・分析結果の活用	産官学の連携と市民協働の仕組みづくりに向け、健幸クラウドでの分析結果を活用しながら、産官学と市民が連携した健康づくりの事業創出を進める。また、平成30年に締結した「やわた健幸づくり推進連携協定」に基づき、民間スポーツクラブと連携した取組を進めるとともに、新たな連携先についても検討を進め、産官学の連携体制を拡大する。			
	R5	R6	R7	
	◆産官学の連携推進 (産官学民が健幸づくりに主体的に取り組むようになる体制・仕組みの検討) (産官学と住民の連携による新たなプログラム開発検討) (やわた健幸づくり推進連携協定に基づく取組推進) (新たな健幸づくり推進連携協定締結先の検討)	⇒	⇒	
	◆健幸クラウドシステム活用 (分析結果の活用)	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
スマートウェルネスシティ推進事業(やわたスマートウェルネスシティ推進協議会)	「スマートウェルネスシティ」の実現に向けて課題の解決や、健康づくり施策の実施について議論。 R4実績: 協議会1回開催	324	27	0
スマートウェルネスシティ推進事業(健幸クラウドシステム運用)	国民健康保険等のデータを一元化し自治体が抱える健康課題を分析し、施策立案を実施。 R4実績: 令和3年度データ分析	6,380	6,380	6,380
スマートウェルネスシティ推進事業(元気アップ事業) 【再掲】	教室を展開していく元気アップサポーターの養成講座及び高齢者の体力測定・分析を実施。 R4実績: 養成講座R4実施なし(隔年開実施) 体力測定 98人	961	939	1,650
健幸マルシェ開催 【再掲】	健幸クラウドの分析結果に基づく健康づくり啓発イベントを開催。 R4実績: 2回開催	100	36	50
【充実】 やわたヘルスプロモーション推進事業【再掲】	地域コミュニティの中で「ロコミ」により健康無関心層にアプローチする「健幸アンバサダー」を養成及び、児童が高齢者等にスポーツ・健康づくりの重要性を伝える「キッズ健幸アンバサダー」を養成する。 R4実績: アンバサダー養成23名 累計536名	800	405	6,510

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第1節 健康で幸せのまちづくり

②地域のつながりを活かした健幸づくり

3 社会的活動への参加促進		健康福祉部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆高齢者の活動・交流の場の提供 ◆「わたしたちの談活」プロジェクト推進 ・福祉活動やボランティア活動への参加促進	社会的活動への参加促進を行うため、高齢者の活動・交流の場の提供とともに、住民、地域福祉活動者、福祉専門職等が集い地域課題や福祉課題について語り合う場である「談活」プロジェクトを推進する。			
	R5	R6	R7	
	◆高齢者の活動・交流の場の提供	⇒	⇒	
	◆「談活」プロジェクト推進 (福祉活動やボランティア活動への参加促進)	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
健康コミュニティ推進事業 (生活総合機能改善事業) 【再掲】	公民館等に音楽機器を設置し、「うたと音楽」による活動や教室を通じた運動・口腔・認知機能の向上及び地域コミュニティへの参加促進等を図る。 R4実績: 設置 2箇所	1,000	998	1,091
敬老のつどい・長寿祝い事業	「敬老のつどい」を開催しレクリエーション等を行う各地域の実行委員会に対し、開催経費の一部を助成。また、最高齢者や百歳以上となられた人等へ長寿を祝う記念品を贈呈。 R4実績: 16ヵ所開催	15,950	8,585	16,380
シルバー人材センター運営	高齢者に就業機会の提供等を行う市シルバー人材センターに対し、運営費等の一部を助成。 R4実績: 会員数 573人 受託件数 延 4,988件	10,700	10,700	12,400
老人クラブ活動助成事業	老人クラブ連合会活動事業と高齢者健康づくり推進事業への助成。 R4実績: 老人クラブ連合会会員3,787人 高齢者健康づくり推進事業(施設利用補助):延 275回	10,715	10,802	11,040
八寿園管理運営	60歳以上の高齢者の憩いと交流を目的とし、高齢者サークル活動や老人クラブ活動の拠点となる八寿園を運営。 R4実績: 利用者 延 11,936人	10,160	10,160	10,610
南ヶ丘老人の家運営	60歳以上の高齢者の憩いと交流を目的とし、高齢者福祉の増進に向けた事業の実施拠点となる南ヶ丘老人の家を運営。 R4実績: 利用者 延4,105人	9,970	10,069	10,010
都老人の家運営	60歳以上の高齢者の憩いと交流を目的とし、高齢者福祉の増進に向けた事業の実施拠点となる都老人の家を運営。 R4実績: 利用者 延 301人	1,250	1,148	1,290
【充実】 「談活」プロジェクト【再掲】	地域単位で構築した絆ネットワークを基盤に、地域福祉活動やボランティア活動への参加促進のための座談会を、八幡市社会福祉協議会と協働で提供。 R4実績: 座談会開催 9回	49	30	3,815

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第1節 健康で幸せのまちづくり

③健幸につながるまちの基盤づくり

1 歩きやすい、歩いて楽しい道づくり		政策企画部、健康福祉部、建設産業部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆ウォーキングコースの普及啓発 ◆歩行環境の整備 ・道路舗装及びバリアフリー化工事 ◆わかたけ保育園・橋本幼稚園園庭芝生化 ◆橋本小学校校庭芝生化		歩くきっかけとなるウォーキングイベントの実施やウォーキングコースの普及啓発、就学前施設及び小学校の芝生化による子供の体力向上等に努めるとともに、歩きやすい環境の整備として、歩道の整備やバリアフリー化に取り組む。		
		R5	R6	R7
		◆ウォーキングコースの普及啓発	⇒	⇒
		◆歩行環境の整備 (国道1号用地取得) (道路舗装及びバリアフリー化工事)	⇒ (国道1号用地取得及び歩道整備工事促進)	⇒ (国道1号用地取得及び歩道整備工事促進)
		◆みどりの園庭づくり推進 (みその保育園敷地内芝生化)	⇒	⇒
◆みどりの校庭づくり推進	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
ウォーキング推進事業【再掲】	ウォーキングイベントの開催等を通じ、疾病予防に効果があるウォーキング習慣のきっかけづくりを行う。 R4実績: イベント開催2回、マップの配布	79	0	83
市民ふれあいウォーキング【再掲】	運動の楽しさや運動が体に及ぼす好影響を体験してもらうことを目的に実施。 R4実績: 実施回数2回、参加者25人	125	53	125
市道維持補修(市道・下排水路等維持補修)【再掲】	安全で快適な道路環境の整備に向け、排水路の浚渫や道路舗装の維持補修等を実施。 R4実績: 道路・側溝等の維持管理	163,695	165,337	185,320
交通安全施設整備【再掲】	交通安全施設の新設及び維持補修を実施。特に、歩道の安全対策に向けたバリアフリー化や児童生徒の交通安全確保に向けた「ゾーン30(30km制限区域)」の設置を進める。 R4実績: バリアフリー化 1か所	20,400	17,928	26,600
国道1号歩道整備事業<国事業>【再掲】	国が進める国道1号の歩道整備事業の用地事務の一部を受託。 R4実績: 用地事務受託による用地取得	1,250	669	2,000
歩道整備事業<京都府事業>	歩きやすい道づくりのため、長尾八幡線、八幡木津線、八幡城陽線の歩道を整備。 R4実績: 関係機関協議	0	0	0
橋本駅周辺拠点整備事業【再掲】	歩行空間を確保するため、駅前広場整備に合わせ無電柱化を進める。 R4実績: 電線共同溝整備工事着手	167,829 (繰越:120,000)	75,889	238,900

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第1節 健康で幸せのまちづくり

③健幸につながるまちの基盤づくり

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
八幡市バリアフリー基本構想 推進【再掲】	市内の旅客施設を含む生活関連施設及びこれらの間の経路を構成する道路等の施設の現状の把握、重点整備地区の設定を行う。	0	0	0
	R4実績: 構想推進			
みどりの園庭づくり事業	子どもの体力向上や遊びの多様化を図るとともに、ウォーカブルシティへの先駆けとなるよう、公立就学前施設園庭の芝生化を図る。	1,000	962	1,000
	R4実績: 橋本幼稚園庭芝生化			
みどりの校庭づくり事業	子どもの体力向上や遊びの多様化を図るとともに、ウォーカブルシティへの先駆けとなるよう、校庭の芝生化を図る。	8,500	8,183	961
	R4実績: 橋本小学校校庭芝生化			

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第1節 健康で幸せのまちづくり

③健幸につながるまちの基盤づくり

2 出かけたくなる都市環境の整備		健康福祉部、建設産業部、こども未来部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆公共施設等のバリアフリー化等の推進 ◆交通ルール・マナーの啓発 ◆八幡市地域公共交通会議設置・開催	歩道や公園、公共施設等のバリアフリー化や適切な維持・管理とともに、交通安全啓発の実施や地域公共交通会議における議論によって、安心して歩行でき、出かけたくなる都市環境の整備を推進する。			
	R5	R6	R7	
	◆公共施設等のバリアフリー化等の推進	⇒	⇒	
	◆交通ルール・マナーの啓発	⇒	⇒	
◆八幡市地域公共交通会議の開催	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
八幡市公園施設長寿命化計画推進	市管理都市公園の効率的・効果的な維持管理に向け策定した計画に基づき、公園施設の計画的な維持補修等を実施。 R4実績： 計画推進	35,500	31,994	35,500
市民スポーツ施設・都市公園等管理	市民の健康づくりやふれあいの拠点となる市民スポーツ公園・都市公園等を指定管理及び自治会等への委託により管理運営するとともに、公園施設等の維持補修を行う。 R4実績： 管理・運営	215,841	212,077	212,330
放置自転車等対策(放置自転車等撤去移送) 【再掲】	自転車放置禁止区域内の放置自転車の撤去・保管および返却を実施するとともに、放置防止の啓発・指導を行う。 R4実績： 撤去回数62回、撤去台数26台	4,860	5,029	5,146
放置自転車等対策(駐輪場管理運営) 【再掲】	放置自転車等対策として石清水八幡宮自転車駐車場の管理運営を行う。 R4実績： 利用率 自転車19.1%、バイク21.8%	7,500	7,309	6,954
受動喫煙対策	健康増進法を踏まえ、市内事業所への啓発や公共施設等での受動喫煙防止に取り組む。 R4実績： ポスター掲示、チラシ配布、広報掲載	0	0	0
美しいまちづくり条例啓発用路面ステッカー取付委託事業 【再掲】	市内の歩道にポイ捨て禁止啓発のステッカーを設置。 R4実績： 路面ステッカー10枚貼替及び2枚新規貼付	320	207	301
交通安全施設整備 【再掲】	交通安全施設の新設及び維持管理補修を実施。特に、歩道の安全対策に向けたバリアフリー化や児童生徒の交通安全確保に向けた「ゾーン30(30km制限区域)」の設置を進める。 R4実績： バリアフリー化 1か所	20,400	17,928	26,600
交通安全指導員による通園通学安全指導 【再掲】	市内通学路各所において、交通安全指導員を配置し、見守りや交通指導を実施。 R4実績： 指導員配置 14人	4,531	4,058	4,553

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第1節 健康で幸せのまちづくり

③健幸につながるまちの基盤づくり

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
交通安全対策協議会活動助成【再掲】	交通安全対策の検討及び交通安全教育・啓発運動を行う交通安全対策協議会に対し、活動費の一部を助成。	990	990	990
	R4実績: 構成 27団体			
八幡市バリアフリー基本構想推進【再掲】	市内の旅客施設を含む生活関連施設及びこれらの間の経路を構成する道路等の施設の現状の把握、重点整備地区の設定を行う。	0	0	0
	R4実績: 構想推進			
地域公共交通計画推進【再掲】	持続可能な公共交通の実現に向け、今後の地域公共交通の方向性を明確にするため、地域公共交通計画を推進。	0	0	0
	R4実績: 地域公共交通計画推進			
地域公共交通会議【再掲】	地域の需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保及び利便の増進等に必要なる事項を協議。	432	323	572
	R4実績: 本会議 4回、作業部会 2回開催			

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第2節 医療・介護の連携

①医療基盤の充実

1 地域医療・救急医療体制の確保		健康福祉部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆他団体等との連携による広域的な医療体制の確保 ◆小児救急医療体制の確保	他団体等との連携により、地域医療・救急医療体制をこれまでと同様に確保するとともに、年々需要が減少している休日における1次医療を実施する休日応急診療所の運営方法について、最善の形を検討する。また、引き続き、京都府に対して小児救急医療体制の実施拡大要望等を行う。	R5	R6	R7
	◆他団体等との連携による広域的な医療体制の確保	⇒	⇒	⇒
	◆小児救急医療体制の確保	⇒	⇒	⇒
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
八幡市国民健康保険データヘルス計画推進	健康・医療情報を活用した効果的・効率的な保険事業の実施に向け策定した計画に基づき、各種施策を推進。 R4実績： 計画推進	0	0	0
地域医療活動助成	八幡市、京田辺市、宇治田原町、井手町の2市2町の医師会で構成する綴喜医師会に対し、地域医療活動費用の一部を助成。 R4実績： 活動助成	90	90	90
休日応急診療所	休日における1次医療体制の整備を図るため、内科・小児科の休日応急診療を実施。 R4実績： 受診者数 医科295人	26,800	21,000	27,500
病院群輪番制運営事業	山城北医療圏における2次救急医療体制の整備を図るため、輪番制病院運営に係る補助金を負担。 R4実績： 受入人数 119人	1,900	1,896	1,920
小児救急の拡充要望	現在、週1回市内の医療機関で実施されている小児救急医療体制の拡充を京都府へ要望。 R4実績： 京都府へ要望	0	0	0
献血対策事業	献血に関する知識等の普及啓発及び市内での献血バスによる献血促進。 R4実績： 市内9カ所において年24日実施 献血者 785人	250	250	250
骨髄ドナー助成	市内在住で骨髄等の提供を行った方に対し、その負担軽減として助成。 R4実績： 実績なし	140	0	140
母子健康センター管理運営	母子保健に係る様々な相談・検診等を行う母子健康センターを管理運営。 R4実績： 施設の管理運営	3,400	2,873	1,700

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第2節 医療・介護の連携

①医療基盤の充実

2 感染症対策の推進		健康福祉部			
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)			
◆定期予防接種事業 ◆任意予防接種事業 ・再度予防接種事業開始 ・大人の風しん予防接種	様々な感染症から市民の健康を保持するため、国が法律で定める予防接種を実施することに加え、大人の風しん流行拡大と先天性風しん症候群の発生を防止するため、予防接種費用を助成するなど任意接種に対する助成を継続して実施する。また、直近の3年間で大流行した新型コロナウイルス感染症においては、令和5年5月をもって感染症法上の位置付けが、季節性インフルエンザ等と同等の5類に引き下げられるが、国から示される期間において迅速かつ適切にワクチン接種ができるよう接種体制を確保するなど、必要な対策を実施する。加えて、子宮頸がん予防ワクチンの接種率向上に向けたキャッチアップ接種事業を実施する。				
	R5	R6	R7		
	◆定期予防接種事業	⇒	⇒		
	◆任意予防接種助成事業 (再度予防接種事業開始)	⇒	⇒		
◆子宮頸がんキャッチアップ接種事業	⇒	廃止			
具体的事業名	概要・実績		R4		R5
			予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
乳幼児予防接種事業 (定期)	国が法律で定めるB型肝炎等の乳幼児への予防接種を行うとともに、広報等により予防啓発等を実施。		173,702	104,396	161,272
	R4実績:	四種混合1,425人 二種混合381人 不活化ポリオ0人 麻しん風しん791人 日本脳炎2,047人 BCG347人 ヒブ1,423人 小児肺炎球菌1,418人 子宮頸がん436人 水痘643人 B型肝炎1,061人 ロタ746人			
子宮頸がんキャッチアップ接種事業	平成25年から差し控えていた積極的勧奨が再開されたことを受け、積極的勧奨の差し控えにより未接種者となった方への接種機会を確保するため、キャッチアップ接種を実施。		56,109	11,066	27,530
	R4実績:	684人に実施			
高齢者予防接種事業 (定期)	国が法律で定める肺炎球菌及びインフルエンザの高齢者への予防接種を行うとともに、広報等により予防啓発等を実施。		52,757	47,900	52,877
	R4実績:	高齢者インフルエンザ10,830人 高齢者肺炎球菌540人			
高齢者肺炎球菌予防接種助成事業(任意)	高齢者の健康保持増進を図るため、肺炎球菌予防接種を受ける高齢者に費用を助成するとともに、広報等により予防啓発等を実施。		200	136	200
	R4実績:	助成 34人			
大人の風しん予防接種助成事業(任意)	風しんの流行拡大と先天性風しん症候群の発生を防止するため、予防接種費用を助成するとともに、広報等により予防啓発等を実施。		510	136	395
	R4実績:	助成 22人			

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第2節 医療・介護の連携

①医療基盤の充実

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
大人の風しん予防接種助成事業(追加対策)	風しんの流行拡大と先天性風しん症候群の発生を防止するため、特定の年代の男性に対して、クーポン券を送付し、抗体値検査および抗体化検査の結果が低かった方への予防接種にかかる費用の助成を実施。	5,752	3,850	4,155
	R4実績: 抗体検査助成252人、接種助成71人			
再度予防接種助成事業(任意)	骨髄移植等医療行為により抗体喪失した子どもに対し、再度予防接種に係る費用を助成。	100	119	100
	R4実績: 助成 2人			
新型インフルエンザ等対策行動計画推進	新型インフルエンザの脅威から市民の健康を守り、健康被害や社会経済機能の低下を抑えるため策定した行動計画に基づき、各種施策を推進。	0	0	0
	R4実績: 計画推進			
入所施設等感染防止対策支援事業	高齢者施設等の新規入所者に対するPCR検査等費用を全額助成	330	81	150
	R4実績: 助成 2人			
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	新型コロナウイルスワクチンの実用化に際し、迅速かつ適切に市民への接種を開始できるよう、実施体制の整備を図る。	451,800	391,000	87,700
	R4実績: 新型コロナウイルスワクチン接種実施			
【R4終了】 自宅療養者等支援事業	新型コロナウイルス感染者で自宅療養する方へ食料品等を配送。	2,000	3,318	0
	R4実績: 配送643個			
【R4終了】 新型コロナウイルス避難施設運営	新型コロナウイルス感染者の家族等が自主的に避難する際の施設運営の支援を実施。	3,910	1,404	0
	R4実績: 避難施設開設 避難者12人			

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第2節 医療・介護の連携

①医療基盤の充実

3 医療費助成制度の適正運用		健康福祉部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆医療費の助成 ◆医療費の貸付	京都府と連携している各医療助成制度を適正に運用し、子育て支援医療給付の制度拡充など子育て世代や低所得者世帯の医療費の負担軽減に取り組む。また、市独自で実施する入院医療費の支払いが困難な方を対象とした医療費一部負担金貸付や入院傷病手当金の支給等に取り組む。	R5	R6	R7
		◆医療費の助成	⇒	⇒
		◆医療費の貸付	⇒	⇒
		◆入院傷病手当金の支給	⇒	⇒
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
重度心身障害老人健康管理事業助成	高齢者の医療の確保に関する法律等に基づく本人一部負担金を助成(所得制限あり)。	93,514	88,659	94,128
	R4実績: 受診件数 延28,022件			
老人医療給付	65歳以上70歳未満の方を対象に、医療費一部負担金を助成(所得制限あり)。	26,527	23,001	22,000
	R4実績: 受診件数 延10,606件			
重度心身障害者医療給付	身体障害者手帳1～3級、療育手帳A・Bの所持者を対象に医療費一部負担金給付(所得制限あり)。	154,962	135,233	150,000
	R4実績: 受診件数 延22,612件			
【充実】 子育て支援医療給付	高等学校を卒業する18歳までの子どもの医療費一部負担金を助成。	194,185	196,127	183,400
	R4実績: 受診件数 延96,657件			
ひとり親家庭医療給付	高校卒業相当時点までのひとり親家庭の児童及びその親に対して医療費一部負担金を給付(所得制限あり)。	68,287	64,665	68,164
	R4実績: 受診件数 延21,797件			
老人医療負担金貸付金	65歳～69歳の老人医療受給者、後期高齢者被保険者で要件に該当する方に入院医療費を貸付。	150	0	150
	R4実績: 実績なし			
高額医療費貸付事業	国民健康保険被保険者の高額療養費の対象となる医療費を貸付。	300	0	300
	R4実績: 実績なし			
未熟児養育医療給付	身体の発育が未熟なまま生まれ、入院が必要な新生児等の医療費を助成。	3,917	1,370	3,823
	R4実績: 受診件数 延16件			
【新規】 入院傷病手当金支給	国民健康保険被保険者の入院による収入減少に対する傷病手当金を支給。	-	-	17,500
	R4実績: -			

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第2節 医療・介護の連携

①医療基盤の充実

4 医療保険制度の健全運営		健康福祉部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆国民健康保険制度の運営 ・国民健康保険料滞納分の徴収業務移管(京都地方税機構) ・保険料収納率向上推進 ◆医療費通知・後発医薬品勧奨による意識啓発	医療保険制度の健全運営のため、京都地方税機構や京都府国民健康保険団体連合会等関係機関と連携し、市民へ後発医薬品への切替勧奨や医療費通知、効果的な保健指導を行うとともに、保険料収納率の向上に取り組む。			
	R5	R6	R7	
	◆国民健康保険制度の運営(保険料収納率向上推進)	⇒	⇒	
	◆医療費通知・後発医薬品勧奨による意識啓発	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
八幡市国民健康保険特定健康診査等実施計画推進	特定健康診査・特定保健指導の効率的・効果的の実施に向け策定した計画に基づく事業の推進。 R4実績: 計画推進	0	0	0
国民健康保険制度運営	保険者として、被保険者の管理・保険給付費の支給、適正運営に向けた取組を実施。 R4実績: 国保特会の黒字決算	7,729,153	7,593,559	7,496,500
国民健康保険給付	国民健康保険被保険者に対し、療養費等の保険給付を行う。 R4実績: 適正な保険給付実施	(5,591,705)	(5,480,194)	(5,393,956)
国民健康保険料収納率向上対策	平成30年度より京都地方税機構と連携し、国民健康保険料の収納率の向上に取り組む。 R4実績: 現年度 94.3% 過年度 32.5%	(22,800)	(21,512)	(23,000)
後発医薬品利用差額通知事業	医療費の自己負担を軽減するとともに、医療費の適正化に取り組む。 R4実績: 後発品使用割合(数量)76.3%	(1,072)	(1,006)	(1,061)
医療費通知	医療費及び国民健康保険事業に関する市民の意識啓発等を図るため、年6回、個人または世帯単位での医療費通知等を行う。 R4実績: 通知 36,534枚	(3,146)	(2,100)	(2,068)
特定健康診査事業	市民の健康意識の向上及び国民健康保険の適正運営に向け、40歳～74歳の被保険者を対象に健診を実施。 R4実績: 受診率 43.5%(見込)	(71,990)	(60,815)	(71,721)
特定保健指導事業	市民の健康意識の向上及び国民健康保険の適正運営に向け、特定健診結果から対象者に保健指導を実施。 R4実績: 指導率 38.4%(見込)	(4,610)	(3,810)	(4,722)
後期高齢者医療保険制度運営	後期高齢者医療制度に関する事務を共同処理する京都府後期高齢者医療広域連合と連携し、制度の適正運営に向け取り組む。 R4実績: 被保数 11,652人	2,161,687	1,982,802	2,218,520
後期高齢者医療保険料収納率向上対策	後期高齢者医療制度の適正運営に向け、保険料の収納率向上に取り組む。 R4実績: 現年度 99.7% 過年度 39.6%	(1,132,355)	(1,112,101)	(1,140,700)

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第2節 医療・介護の連携

①医療基盤の充実

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
京都府後期高齢者医療広域 連合負担金	後期高齢者医療制度に関する事務を共同処理する京都府後期高齢者医療広域連合に対し、市の負担割合に基づき運営費を負担。	20,110	20,104	20,590
	R4実績: 運営費負担			
高齢者の保健事業と介護予 防の一体的な実施	KDB(国保データベース)システムを活用し、高齢者のフレイル予防に向けた個別訪問・通いの場等における医療専門職の関与。	7,930	5,670	7,100
	R4実績: 訪問実人数 269人 通いの場等 23会場 延518人			

※()内の数値は内数。

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第2節 医療・介護の連携

②地域包括ケアシステムの推進

1 地域包括ケアシステムの構築		健康福祉部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 関係機関の連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携在宅療養支援 ・地域ケア会議開催 ◆ 地域包括支援センターを核とした高齢者の見守りネットワークを構築 ◆ 認知症対策の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・あんしんネットワーク推進 ・認知症初期集中支援事業 ・見守り支援対象把握 	地域包括支援センター(ほっとあんしんネット)を中心に、「住まい」、「医療」、「介護」、「予防」、「生活支援」が一体的に提供される地域包括ケアシステムの推進に取り組む。また、多職種の人員による地域ケア会議を開催し、給付費の適正化や利用者の自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現を目指す。			
	R5	R6	R7	
	◆ 関係機関の連携強化 (多職種連携在宅療養支援) (地域ケア会議開催)	⇒	⇒	
◆ 認知症対策の拡充 (あんしんネットワーク推進) (認知症初期集中支援事業) (見守り支援対象者把握)	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
地域包括支援センター運営事業	地域包括ケアの拠点として市内4か所に設置する地域包括支援センターの地域窓口を運営する。	63,890	63,250	63,890
	R4実績: 相談件数 延 2,500件			
地域ケア会議推進	多職種の人員による地域ケア会議を開催。	10,000	10,000	10,000
	R4実績: 会議開催 17回			
多職種連携在宅療養支援事業	多職種連携在宅療養支援事業協議会を設置し、在宅医療における医療職、介護職による高齢者在宅療養での連携に向けた各種取組を推進。	4,800	4,368	4,800
	R4実績: 在宅医療介護連携支援センター委託			
八幡市あんしんネットワーク事業	認知症高齢者等の情報を事前登録し、行方不明等の際に関係機関の協力を得られるネットワークを構築することで、早期の発見・保護につなげる。	1,200	291	700
	R4実績: 登録事業所116箇所			
認知症初期集中支援推進事業	地域包括支援センターに「認知症初期集中支援チーム」を配置し、認知症初期集中支援を実施するとともに、「認知症地域支援推進員」を配置し、若年性認知症や支援困難症例への対応、地域の認知症対応力向上等を図る。	250	95	250
	R4実績: 会議開催 9回			
オレンジカフェ事業	認知症の方とその介護者を支援するため、市内各所において認知症カフェを開催。	280	143	270
	R4実績: 開催 43回			
認知症サポーター養成事業	認知症サポーター養成講座を開催。	240	61	130
	R4実績: 養成講座開催4回 参加 延 69人			

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第2節 医療・介護の連携

②地域包括ケアシステムの推進

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
介護・認知症啓発事業	介護及び認知症に対する意識啓発を図るため、「介護の日講演会」や「さくらであい館展望塔オレンジライトアップ」を開催。	240	10	800
	R4実績: 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講演会中止(広報による啓発実施) さくらであい館展望塔オレンジライトアップ開催			
男山地域再生・地域包括ケア事業助成	地域包括ケア推進拠点用地賃借料の助成。	1,310	1,299	1,310
	R4実績: 助成 1箇所			
養護老人ホーム入所措置	入所が適当と判断された65歳以上の高齢者等を対象に、老人ホーム洛南寮等への入所手続き等必要な措置を行う。	3,260	1,920	1,850
	R4実績: 入所者 1人			
シルバーライフラインシステム整備	ひとり暮らしの65歳以上高齢者及び障害等級1・2級の人を対象に緊急通報システムの設置と月1回の電話による健康状態等の把握を行う。	6,300	6,034	6,790
	R4実績: 設置台数 362台			
成年後見制度利用支援	認知症等高齢者のうち、成年後見審判の申立が必要な人に対し、成年後見審判の代理申立や審判等に係る費用の一部を助成。	8,200	7,087	8,400
	R4実績: 申立 3件 費用助成 29件			
八幡市バリアフリー基本構想推進	市内の旅客施設を含む生活関連施設及びこれらの間の経路を構成する道路等の施設の現状の把握、重点整備地区の設定を行う。	0	0	0
	R4実績: 構想推進			
見守り支援対象者把握事業	65歳以上の高齢者(要介護者及び要支援者を除く)を対象にチェックリストを送付し生活機能の確認を行う。	2,240	1,933	2,230
	R4実績: 生活機能低下対象者 1,416人			

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第2節 医療・介護の連携

②地域包括ケアシステムの推進

2 介護保険サービスの充実		健康福祉部			
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)			
◆高齢者健康福祉計画・介護保険事業計画推進 ・第8期計画策定 ◆各種給付の適正支給 ◆各種介護保険サービスの提供 ◆サービス利用者、介護者等への支援 ◆介護職員研修助成		引き続き、各種介護保険の適正な給付を図るとともに、サービス利用者や介護者への支援、介護職員研修への助成を行うことで、サービスの充実に取り組む。			
		R5	R6	R7	
		◆高齢者健康福祉計画・介護保険事業計画推進(第8期計画推進、第9期計画策定)	高齢者健康福祉計画・介護保険事業計画推進(第9期計画推進)	⇒	
		◆各種介護保険サービスの提供	⇒	⇒	
		◆サービス利用者・介護者等への支援	⇒	⇒	
		◆介護職員研修助成	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5	
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
八幡市高齢者健康福祉計画・介護保険事業計画策定・推進	高齢者の保健福祉事業の供給体制及び介護保険給付・サービス量について定めた事業計画を策定し、計画に基づく各種施策を推進。	6,140	5,788	6,650	
	R4実績: 第8期計画推進、第9期計画策定着手				
介護保険制度運営	介護保険制度の保険者として、被保険者の管理や保険給付費の支給、運営を実施。(一般管理費)	10,500	9,893	6,500	
	R4実績: 被保険者 22,293人				
介護保険給付	介護保険被保険者に対し、各種サービス等(訪問・通所相当サービス含む)の保険給付を行う。	5,984,600	5,944,794	6,128,950	
	R4実績: 適正給付				
介護保険料収納率向上対策	介護保険制度の適正な運営に向け、保険料収納率の向上に取り組む。(賦課徴収費)	6,100	5,252	6,200	
	R4実績: 現年度 99.5% 過年度 10.6%				
介護認定審査	介護保険サービスの適正利用を図るため、介護認定調査員による訪問調査及び介護認定審査会による要介護・要支援認定等を行う。	38,800	36,743	43,200	
	R4実績: 委員会開催131回 認定 延4,089件				
地域包括支援センター運営事業【再掲】	地域包括ケアの拠点として市内4か所に設置する地域包括支援センターの地域窓口を運営するとともに、多職種の人員による地域ケア会議を開催。	63,890	63,250	63,890	
	R4実績: 相談件数 延 2,500件				
家族介護者交流事業	要介護者等を在宅で介護している方を対象に、介護知識・技術を習得するための教室及び交流事業を実施。	49	1	930	
	R4実績: 介護者教室開催1日				
高齢者介護用品助成事業	市民税非課税世帯に属する要介護3、4、5又はこれに相当する在宅高齢者等を介護している家族に介護用品(紙おむつ等)の経費の一部を助成。	3,980	3,977	4,200	
	R4実績: 利用者86人				

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第2節 医療・介護の連携

②地域包括ケアシステムの推進

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
家族介護者慰労金助成事業	要介護者が市民税非課税であり、過去1年間介護保険サービスを利用していない要介護4、5又はこれに相当する在宅高齢者等を介護している家族に介護慰労金を助成。 R4実績： 対象者4人	500	400	500
福祉用具・住宅改修支援事業	適正な福祉用具・住宅改修利用促進を目的に相談・情報提供等の支援を実施。 R4実績： 支援 延20件	160	160	160
介護給付費等適正化事業	適正な介護保険サービス利用を促進するため、介護保険利用者に対し給付費の通知を送付。 R4実績： 通知 3,576件	320	278	360
社会福祉法人等介護保険利用者負担軽減助成事業	低所得で生活困難な介護老人福祉施設サービス利用者の負担軽減を実施した社会福祉法人等に対する助成。 R4実績： 対象者0人	100	0	100
介護職員初任者研修受講料助成事業	介護職員初任者研修受講料の助成。 R4実績： 助成0人	90	30	90
地域共生社会実現サポート事業(老人福祉一般総務費)	地域共生社会の実現に向け、社会福祉法人が実施する社会貢献活動や処遇改善等に助成する。 R4実績： 支援 2件	300	370	435
短期入所事業	高齢者の介護者が一時的に介護が困難となった場合に、当該高齢者を短期間入所させる。 R4実績： 利用者2人	140	83	140
地域密着型サービス等施設整備等助成事業	京都府地域密着型サービス等施設整備等交付金要綱に基づき市内介護保険事業所等へ助成する。 R4実績： 助成8件	156,052 (繰越:80,447)	74,969	80,447
日常生活用具給付等事業	おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等に日常生活用具の給付等を実施。 R4実績： 電磁調理器5件 高齢者用電話1件 火災報知器0件 自動消火器1件	730	552	730
寝具乾燥等サービス事業	本人および家族等が寝具の乾燥消毒や丸洗いをすることが困難である、65歳以上の要介護・要支援認定を受けている方に寝具乾燥等サービスを実施。 R4実績： 乾燥 38人 丸洗い 35人	600	422	650
介護予防ケアマネジメント事業	介護予防・生活支援サービス事業の利用にあたり、地域包括支援センターにおいてケアプランを作成した場合、その利用料を給付。 R4実績： 延3,452人	18,100	16,165	20,000
高額介護予防サービス費相当給付	総合事業の現行相当訪問介護サービスおよび現行通所介護サービスの利用に係る自己負担額が一定額を超えた場合、基準により超えた分を支給。 R4実績： 延106件	200	395	350

第3章 誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

第2節 医療・介護の連携

②地域包括ケアシステムの推進

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
高額医療合算介護予防サービス費相当給付	医療保険と総合事業の現行相当訪問介護サービスおよび現行通所介護サービスの1年間の自己負担額の合計が一定額を超えた場合、基準により超えた分を支給。	200	143	250
	R4実績: 延11件			

第4章

自然と歴史と文化が輝く
「観幸のまち やわた」

第4章 総括

基本目標	自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」
------	--------------------------

<施策体系>

第1節 シビックプライドの醸成

めざす姿	市民が八幡市の自然や歴史、文化芸術に触れる機会を通じて、生活が豊かになるとともに、まちへの愛着と誇りが高まっています。
------	---

① 文化芸術活動の振興

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
文化センター利用者数	人	155,720	42,143	66,285	165,000	○

② お茶のある幸せの風景の創出

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
お茶学習参加者数	人	32	中止	中止	100	-
松花堂庭園茶室利用者数	人	2,753 (H26~28平均)	732	2,243	3,500	○

③ 豊かな自然・歴史との触れ合い

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
市内産農作物収穫体験参加者数	人	293	230	270	320	○
わがまち・八幡への愛着や誇りを感じる市民の割合	%	49.9	53.0	(※1)	60.0	-

※1…第6次八幡市総合計画策定時(令和9年)に、当該年度の現状値を取得予定。

第2節 幸せと出逢う観光まちづくり

めざす姿	多くの人が八幡市を訪れ、その豊かな自然と歴史・文化芸術に出逢い、幸せを感じられる環境が整っています。
------	--

① 「観幸のまち やわた」のブランド構築

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
商品開発数(累計)	商品	1	1	1	3	○
やわたブランド「ヤワタカラ」の認知度	%	-	0.0	10.0	20.0	○
プロモーション(商談会)参加件数	件	5	3	4	9	○
観光情報ハウスへの外国人来訪者数	人	754	28	323	1,200	○

② 自然と歴史と文化が織りなす「出逢いの物語」観光の推進

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
観光入込客数	人	2,065,319	1,681,271	1,888,678	2,610,000	○
観光消費額	千円	631,183	477,151	537,373	675,000	○
ボランティアガイド人数	人	59	74	73	74より高い (※2)	△

※2…74人は後期基本計画策定時の最新数値。

達成の 状況の 未達成	目標値を達成(◎)		0 件	0.0%
		「前年度実績」より前進または同値(○)	9 件	90.0%
		「前年度実績」より後退(△)	1 件	10.0%

※今年度に現状値を把握することができない指標については、母数から除外。

第4章 総括

基本目標	自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」
------	--------------------------

総括(指標の達成状況・今後の方向性)

第1節	<p>(めざす姿の実現に向けて実施した取組、指標の達成状況) 文化芸術活動の拠点である文化センターや松花堂庭園・美術館にて美術品や歴史資料の公開、市民文化祭等の様々なイベントを開催したほか、徒然草エッセイ大賞の継続実施に加え、新たに松花堂昭乗イラストコンテストを実施するなど、新型コロナウイルス感染症禍で各種イベントの中止・縮小が続く中、創意工夫により取組を実施し、文化芸術に触れる機会の一層の創出や市民の文化芸術活動を促進した。</p> <p>また、八幡産てん茶普及事業におけるお茶席体験や閑雲軒を活用した八幡の茶文化の発信、流れ橋周辺に広がる浜茶の景観をはじめとする自然環境の保全、農産物の収穫体験事業等の実施により、自然と文化に触れ合う機会の創出を図った。</p> <p>さらに、市内に点在する歴史景観の保全、名勝松花堂及び書院庭園や各種文化財の保存・活用に取り組むことで、本市の有する自然・歴史資源の魅力の維持・向上を図り、その魅力に触れる機会創出を図った。 以上のような取組を通じ、シビックプライドの醸成に取り組んだ。</p> <p>指標の達成状況では、新型コロナウイルスの影響がある中、開催中止となった「お茶学習の参加者数」を除き、いずれの指標も概ね前年度実績から前進している。</p>
	<p>(今後の取組方針) 文化センターで開館40周年記念事業の開催を予定しているほか、引き続き様々なイベントの開催や徒然草エッセイ大賞、松花堂昭乗イラストコンテストの継続実施など、文化芸術に触れる機会を創出することにより、市民の文化芸術活動を促進する。</p> <p>八幡産てん茶普及事業におけるお茶席体験や新・空中茶室プロジェクトの推進など、茶文化の発信につなげるとともに、流れ橋周辺に広がる浜茶の景観をはじめとする自然環境の保全や農産物の収穫体験事業等を継続的に実施する。</p> <p>また、歴史景観の保全については、歴史文化を活かした個性と魅力ある地域づくりを進めるため歴史街道計画に基づく事業実施について、景観等の検討を行うほか、名勝松花堂及び書院庭園の活用に向けた整備工事や文化財の保護・活用を目的とした史跡の買い上げに取り組む。</p> <p>これらの取組を通じ、市民の文化芸術活動の推進、茶文化に触れることによる「おもてなしの心」の醸成を図るとともに、自然・歴史景観の保全活用を進め、石清水八幡宮および門前町の魅力向上につなげる。</p>

第2節	<p>(めざす姿の実現に向けて実施した取組、指標の達成状況) 観光基本計画推進協議会をはじめ各種会議において、関係者の相互連携や意見集約に努めるとともに、「歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略」を策定する中で、観光資源の整理と具体的な活用案及びスケジュールを描いた。また、令和3年度に創設したやわたブランド「ヤワタカラ」の拡充や、観光PR動画の制作によるプロモーション素材の充実を図った。</p> <p>さらに、宇治市等と連携した舟運イベント及び鎌倉時代歴史文化再発見事業、東京都渋谷区・山城地域市町村やお茶の京都DMOと連携した取組を継続的に行い、観光資源等のプロモーションや魅力の向上を図ったほか、科手土井線整備事業において、門前町の北の玄関口として石造りの常夜灯等を設置するなど、おもてなし環境の整備に取り組んだ。</p> <p>指標の達成状況では、概ね前年度実績から前進しており、中でも新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことにより、「観光情報ハウスへの外国人来訪者数」「観光入込客数」「観光消費額」は回復傾向にある。</p>
	<p>(今後の取組方針) 石清水八幡宮を活かした交流拠点づくりや茶文化発信を強化し、文化観光を経済の好循環につなげるための取組を定める新たな観光基本計画の策定に取り組むとともに、2025年大阪・関西万博を好機と捉え、淀川舟運の更なる活性化に向けた取組や男山魅力探求発信事業を進める。</p> <p>また、「ヤワタカラ」の拡充に引き続き取り組むとともに、令和4年度に策定した「歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略」に基づき、観光庁の令和4年度「将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本の新たなレガシー形成事業」にて策定されたプラン内容も踏まえつつ、石清水八幡宮を中心とした交流拠点の充実に取り組む。</p> <p>石清水八幡宮を活かした交流拠点づくりについては、石清水八幡宮駅の交通処理機能の向上に向けた駅前広場の現況整理及び調査に取り組むとともに、古民家等の活用による門前町の魅力向上について検討する。</p>

第4章 総括

基本目標	自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」
------	--------------------------

総合計画検討懇談会の意見

目標とした指標は概ね達成しているが、残念ながらコロナ禍によってその成果を市民が実感できるまでに至っていない。今年度、取り組まれる観光基本計画改定に期待したい。

淀川の舟運は外国人への訴求力が高いコンテンツであり、河川の水深や二次交通の整備などの課題もあるが、ニーズをうまく取り込めるよう検討されたい。

石清水八幡宮駅前広場の再整備に向けた調査・検討の進捗に期待したい。

今年3月に京都に移転した文化庁でも「文化観光の融合」を掲げている。また、2025年には大阪・関西万博が開催されるなど、京都観光にとって追い風が吹いている今がチャンスであり、この機を逸することのないように取り組まれない。

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第1節 シビックプライドの醸成

①文化芸術活動の振興

1 市民が文化芸術に接し交流する機会の拡充		政策企画部、こども未来部			
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)			
◆徒然草エッセイ大賞実施 ◆文化施設の運営(文化センター、松花堂庭園・美術館) ◆やわた市民文化事業団主催事業への助成 ◆アーティスト・イン・レジデンス事業実施	徒然草エッセイ大賞及び松花堂昭乗イラストコンテストの実施により、市民及び来訪者が文化芸術に接し交流する機会の拡充を図る。また、文化センター及び松花堂庭園・美術館において、美術品や歴史資料等を活用するなど、文化芸術に係る各種事業を実施し、文化交流の促進を図る。				
	R5	R6	R7		
	◆徒然草エッセイ大賞実施	⇒	⇒		
	◆文化施設の運営 (文化センター運営) (松花堂庭園・美術館運営)	⇒	⇒		
	◆やわた市民文化事業団主催事業への助成	⇒	⇒		
◆松花堂昭乗イラストコンテスト実施	⇒	⇒			
具体的事業名	概要・実績		R4		R5
			予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
徒然草エッセイ大賞	徒然草の52段に因み、優れたエッセイを全国に募り、本市の文化芸術に接し交流する機会を創出。		11,200	11,200	12,000
	R4実績:	応募点数 計 2,698点 (一般の部1,526点、中学生の部665点、小学生の部507点)			
松花堂昭乗イラストコンテスト	小・中・高校生を対象としたイラストコンテストを実施し、本市の文化芸術に触れる機会を創出。		10,000	7,000	10,000
	R4実績:	応募点数 計 1,101点 (小学生の部509点、中学生の部338点、高校生の部254点)			
文化センター管理運営	文化芸術の公開、創造活動の奨励及び育成と市民交流の促進を図る。		317,950	177,848	135,480
	R4実績:	利用2,168件 66,285人			
【充実】 松花堂庭園管理運営	松花堂昭乗に関する文化財を中心とした美術品や歴史資料等の保存活用、文化の創造活動の奨励及び育成並びに文化交流の促進を図る。		135,310 (繰越:1,500)	124,219	341,500
	R4実績:	利用936件 23,619人			
やわた市民文化事業団主催事業助成	文化センター、松花堂庭園・美術館で実施されるやわた市民文化事業団主催・共催事業に助成。		3,000	3,000	3,000
	R4実績:	実施49事業 来場者21,785人			

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第1節 シビックプライドの醸成

①文化芸術活動の振興

2 市民による文化芸術活動の促進		政策企画部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆市民主体の文化芸術活動促進 ・八幡市民文化祭開催 ・音の祭典 in YAWATA等の開催 ◆国内の市民交流促進 ・八幡浜市との中学生交流	二宮忠八の生誕地である愛媛県八幡浜市の中学生との交流を継続実施することにより、本市の中学生らの郷土愛を深めるとともに、地域の祭礼や伝統行事を含め、市民が主体的に行う様々な文化芸術活動の振興を促進する。また、八幡市民文化祭及び音の祭典 in YAWATAの開催や文化協会の活動助成により、市民の文化活動への参加機会の確保と交流の促進を図る。さらに、本市との友好都市であり「エジソン」のつながりもあるアメリカ合衆国オハイオ州マイラン村との交流を進める。			
	R5	R6	R7	
	◆市民主体の文化芸術活動促進 (八幡市民文化祭開催) (音の祭典 in YAWATA等の開催)	⇒	⇒	
	◆国内の市民交流促進 八幡浜市との中学生交流	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
八幡市・八幡浜市中学生交流事業	郷土に対する誇りと魅力を再認識し、豊かな人間性や社会性を育むことを目的として、二宮忠八翁の縁でつながる愛媛県八幡浜市と本市の中学生による体験活動を通じた交流を行う。	300	449	1,140
	R4実績: 八幡市で交流実施(令和4年8月17日～19日)			
郷土史会活動助成	郷土の歴史を研究し、普及活動や史跡保護等を行う郷土史会に対し、活動事業費の一部を助成。	200	200	200
	R4実績: 会員数 60人			
ずいきみこし保存会活動助成	伝統文化の保存継承を図るため、京都府無形民俗文化財に登録されたずいきみこしの保存会に対し、活動事業費の一部を助成。	0	0	90
	R4実績: 新型コロナウイルス感染防止による行事中止に伴い、助成せず。			
文化振興事業	市民が文化芸術に接し交流する機会の拡充に向け、イベント開催や文化団体への支援等に取り組む。	12,911	12,911	11,220
	R4実績: 市民文化祭開催 来場者 911人 舞台発表 42団体 作品展示 343点 音の祭典 in YAWATA開催 参加11団体 650人 子どもわくわく教室 2教室 169人 佐藤康光杯争奪将棋大会開催 参加者 119人 文化協会活動助成 助成 29部門 部会 2,090人			
市民による友好都市交流促進	アメリカ合衆国マイラン村及び中国宝鶏市との市民主体の交流を促進する。	0	0	0
	R4実績: —			

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第1節 シビックプライドの醸成

①文化芸術活動の振興

3 文化財の保存及び活用		こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
<p>◆名勝松花堂及び書院庭園保存活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存活用計画策定 ・災害復旧工事基本設計 ・災害復旧工事設計監理 ・災害復旧工事 <p>◆各種文化財の保存・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財調査・発掘等 ・文化財所有者への支援 ・八角堂内見学及び期間限定公開 	<p>名勝松花堂及び書院庭園保存活用計画に基づき、災害復旧工事や同庭園の活用に向けた整備工事等を進めるとともに、史跡石清水八幡宮境内の八角堂について、適切な保存・活用に向けた取組を推進する。また、史跡綴喜古墳群(八幡西車塚古墳)の買上げを行う。その他、文化財や歴史資料の常設展示等を行うふるさと学習館への来館促進に努め、市民のふるさと意識高揚を図る。</p>			
	R5	R6	R7	
	<p>◆名勝松花堂及び書院庭園保存活用事業</p> <p>(保存活用計画推進) (災害復旧工事設計監理) (災害復旧等工事) (整備検討委員会開催) (整備工事実施設計) (整備工事)</p>	<p>◆名勝松花堂及び書院庭園保存活用事業</p> <p>(保存活用計画推進) (災害復旧工事設計監理) (災害復旧工事) (整備検討委員会開催) (整備工事実施設計) (整備工事)</p>	<p>◆名勝松花堂及び書院庭園保存活用事業</p> <p>(保存活用計画推進) (災害復旧工事設計監理) (災害復旧工事) (整備検討委員会開催) (整備工事)</p>	
	<p>◆各種文化財の保存・活用</p> <p>(八角堂内見学及び期間限定公開) (文化財調査・発掘等) (文化財所有者への支援) (史跡買上げ事業)</p>	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
文化財指定	市内の文化財を調査し、文化財保護審議会の答申に基づき検討し、市文化財の指定を行う。	73	0	76
	R4実績: 実績なし			
文化財保存地・史跡等記念物保全	文化財の保存地となる土地について、定期的に除草等の保全作業を行うとともに、史跡・名勝等の記念物の現状を維持し、適切な保全を行う。	2,994	2,895	2,963
	R4実績: 除草実施 3カ所、機械警備、点検、保全、光熱水費等、石碑移設1カ所			
美術工芸品調査	市内の社寺旧家等が保有する美術工芸品について調査する。	1,590	1,590	1,620
	R4実績: 市内旧家社寺等調査			
市内遺跡調査	開発に伴う緊急の試掘確認調査等を国庫補助により行う。	10,410	10,405	28,010
	R4実績: 橋本陣屋跡(第2-4次)、内里八丁遺跡(第21次)、西車塚古墳(第7次)現地調査、史跡石清水八幡宮境内石垣測量図化、備前遺跡(第4・4-2次)遺物写真撮影、備前遺跡報告書作成			
八角堂内見学及び期間限定公開	平成26年度から実施してきた保存整備工事が平成30年度に完了したことに伴い、建物内部の見学(事前申込)及び期間限定での公開を実施する。	0	0	0
	R4実績: 堂内見学:2回、延29人 期間限定公開:1回(年2日)、延250人			

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第1節 シビックプライドの醸成

①文化芸術活動の振興

具体的事業名	概要・実績	R4		R5	
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)	
緊急発掘調査事業 (開発事前調査)	宅地造成等土木工事に伴う埋蔵文化財の緊急発掘調査。(開発業者より委託を受け実施する)	620	615	7,230	
	R4実績: 内里八丁遺跡(第21-2次)現地調査、備前遺跡(第4-3次、4-4次)遺物写真撮影、備前遺跡報告書作成				
文化財保護事業 (市指定文化財保護事業費助成)	市指定文化財の保護を行った所有者に対し、自己負担となった経費の一部を助成。	4,600	4,000	4,000	
	R4実績: 助成 1件				
文化財保護事業 (国宝重要文化財等保存・活用事業費助成)	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金を受けて文化財等の保存修理を行った所有者に対し、自己負担となった経費の一部を助成。				1,776
	R4実績: 助成 3件				
文化財保護事業 (国宝重要文化財等防災施設整備費助成)	国宝重要文化財等防災施設整備費補助金を受けて文化財等の防災施設整備を行った所有者に対し、自己負担となった経費の一部を助成。				0
	R4実績: 実績なし				
文化財保護事業 (文化資源活用事業費助成)	文化資源活用事業費補助金を受けて、活用のための文化財の整備等を行った所有者に対し、自己負担となった経費の一部を助成。				0
	R4実績: 実績なし				
文化財保護事業 (国指定文化財維持管理費助成)	国指定文化財維持管理費補助金を受けて文化財の維持管理を行った所有者に対し、自己負担となった経費の一部を助成。				745
	R4実績: 助成 4件				
文化財保護事業 (府指定登録文化財等維持管理費助成)	府指定・登録文化財等維持管理費補助金を受けて文化財等の維持管理を行った所有者に対し、自己負担となった経費の一部を助成。	390			
	R4実績: 助成 4件				
文化財保護事業 (府指定登録文化財等助成)	府指定・登録文化財等補助金を受けて文化財等の保存を行った所有者に対し、自己負担となった経費の一部を助成。	1,378			
	R4実績: 助成 5件				
文化財保護事業 (府社寺等文化資料保全助成)	府社寺等文化資料保全補助金を受けて文化資料の保全を行った所有者に対し、自己負担となった経費の一部を助成。	0			
	R4実績: 実績なし				
文化財保護事業 (文化財を守り伝える京都府基金等事業費助成)	文化財を守り伝える京都府基金等事業費補助金を受けて文化財の保存修理等を行った所有者に対し、自己負担となった経費の一部を助成。	0			
	R4実績: 実績なし				
文化財保護事業 (文化レジリエンス事業費助成)	文化レジリエンス事業費補助金を受けて、文化財の適正な保存・継承に係る事業を行った所有者に対し、自己負担となった経費の一部を助成。	0			
	R4実績: 実績なし				

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第1節 シビックプライドの醸成

①文化芸術活動の振興

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
ふるさと学習館管理運営等	市民のふるさと意識や文化財保護意識の高揚を図るため、文化財や民具等の資料整備及び常設展示・公開等を行う。また、ふるさとの文化財をより身近に感じてもらうため、埋蔵文化財や民具を用いた体験学習を実施。	3,480	3,289	4,340
	R4実績:			
文化財講座等開催	文化財保護意識の高揚を図るため、市内文化財等の周知を目的とした出前講座等を開催。	0	0	0
	R4実績:			
【新規】 史跡買上げ事業	国史跡「綴喜古墳群」を構成する「八幡西車塚古墳」の保存活用のため、前方後円墳の前方部を買上げ、文化財の保護と活用につなげる。	—	—	61,110
	R4実績:			
【充実】 名勝松花堂及び書院庭園保存活用事業	令和元年度に策定した名勝松花堂及び書院庭園保存活用計画の推進を図るとともに、大阪府北部地震によるき損の復旧、同庭園の活用に向けた整備工事を行う。また、これらの工事に関連し、年に2回の整備検討委員会を開催する。	60,560	60,556	67,330
	R4実績:			

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第1節 シビックプライドの醸成

②お茶のある幸せの風景の創出

1 お茶に親しむ機会の創出		政策企画部、建設産業部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆お茶に親しむ機会の創出 ・茶会 ・茶香服大会 ・お茶学習の開催 ◆子どもわくわく文化教室 ◆「新・空中茶室 そら」を活用したイベント等の開催 ◆空中茶室の活用方法検討 ◆Chazz in YAWATA開催	お茶の京都の取組を引き継ぎ、松花堂の茶会や、かつて石清水八幡宮の山中にあった空中茶室「閑雲軒」を活用した取り組みなど、市内で開催される茶会や茶文化に関するイベントを通じた情報発信により、本物志向・知的好奇心のある観光客の誘致を図るとともに、市内小学校のお茶学習や関係団体と連携し、子どもたちがお茶に親しむ機会を創出する。イベント開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症等の感染状況に配慮した実施の検討が必要である。			
	R5	R6	R7	
	◆お茶に親しむ機会の創出 (茶会・お茶学習の開催)	⇒	⇒	
	◆子どもわくわく文化教室	⇒	⇒	
◆空中茶室「閑雲軒」体験VRコンテンツの活用と展開	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
お茶の京都普及啓発事業 (体験VRコンテンツ活用等)	空中茶室体験VRコンテンツの活用など、八幡の茶文化の発信とお茶に親しむ機会の創出を行う。	0	0	0
	R4実績: 観光協会HPへの掲載、観光イベントでの活用			
八幡産てん茶普及啓発事業	松花堂等で茶会、市内小学校でお茶学習を実施することにより、お茶に親しむ機会を創出する。	1,150	801	1,150
	R4実績: お茶席体験参加人数80人 新型コロナウイルス感染症の影響によりお茶学習中止			
お茶の京都DMO	「お茶の京都DMO」と連携し、観光地域づくりに取り組む。	6,570	6,566	6,570
	R4実績: マーケティング調査、地域づくり専門人材配置、情報発信・プロモーション			
子どもわくわく文化教室 【再掲】	伝統文化である華道・茶道等を通して、自主性・協調性を備えた心豊かな子どもたちを育むことを目的に開催する。	310	310	450
	R4実績: 年10回開催、参加者169人			

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第1節 シビックプライドの醸成

②お茶のある幸せの風景の創出

2 茶文化の発信		政策企画部、建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆「新・空中茶室 そら」を活用したイベント等の開催 ◆空中茶室の活用方法検討 ◆Chazz in YAWATA開催 ◆お茶に親しむ機会の創出 ・茶会 ・茶香服大会 ・お茶学習の開催 ◆松花堂庭園茶室利用促進 ◆モニターツアーでの空中茶室VR活用	八幡の茶文化のPRに努めるとともに、新たな観光地の創造に向け、「新・空中茶室」を整備するため基本構想を策定し、活用を検討する。また、松花堂庭園・美術館の設置・運営及び松花堂での茶会、市内小学校でのお茶学習を実施することにより、市民が茶文化に接する機会を促進する。			
	R5	R6	R7	
	◆空中茶室「閑雲軒」体験VRコンテンツの活用と展開	⇒	⇒	
	◆新・空中茶室プロジェクト推進 (基本構想策定)	⇒ (基本設計)	⇒ (実施設計)	
	◆お茶に親しむ機会の創出 (茶会・お茶学習の開催)	⇒	⇒	
	◆松花堂庭園茶室利用促進	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
お茶の京都普及啓発事業 (体験VRコンテンツ活用等) 【再掲】	空中茶室体験VRコンテンツの活用など、八幡の茶文化の発信とお茶に親しむ機会の創出を行う。	0	0	0
	R4実績: 観光協会HPへの掲載、観光イベントでの活用			
【新規】 新・空中茶室プロジェクト推進事業	石清水八幡宮や門前町の魅力向上のため、「新・空中茶室」の創造に向けた基本構想を策定する。	-	-	2,200
	R4実績: -			
八幡産てん茶普及啓発事業 【再掲】	松花堂等で茶会、市内小学校でお茶学習を実施することにより、お茶に親しむ機会を創出する。	1,150	801	1,150
	R4実績: お茶席体験参加人数80人 新型コロナウイルス感染症の影響により、お茶学習中止			
浜茶景観維持 (茶業振興対策事業)	日本遺産にも認定された「流れ橋周辺に広がる浜茶の景観」の維持に資する取組に対し助成。	194	162	207
	R4実績: 仮設トイレ 12基			
【充実】 松花堂庭園管理運営 【再掲】	松花堂昭乗に関係する文化財を中心とした美術品や歴史資料等の保存活用、文化の創造活動の奨励及び育成並びに文化交流の促進を図る。	135,310	124,219	341,500
	R4実績: 利用936件 23,619人	(繰越:1,500)		
やわた市民文化事業団主催 事業助成 【再掲】	文化センター、松花堂庭園・美術館で実施されるやわた市民文化事業団主催・共催事業に助成。	3,000	3,000	3,000
	R4実績: 実施49事業 来場者21,785人			

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第1節 シビックプライドの醸成

②お茶のある幸せの風景の創出

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
【R4終了】 京都やましろ地域と東京しぶ や連携交流事業	お茶の京都地域と東京都渋谷区が連携し、宇治茶等和文化の発信、特産品のPR・開発、歴史文化体験プログラムの創出、農村体験の事業化検討等に取り組む。	1,188	1,092	—
	R4実績： 委員会3回他、WG・担当国会議・R4 計画会議出席、お茶の京都大茶会、 子ども交流事業等			

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第1節 シビックプライドの醸成

③豊かな自然・歴史との触れ合い

1 自然と触れ合うきっかけづくり		建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆ボランティア等が実施する自然観察会・収穫体験等への支援 ◆自転車の修繕・安全対策等	市民生活に欠かせない「みどり」を大切にする豊かな心を育むべく、みどりのつどいを開催する。また、八幡農業ボランティアの会の主催による農産物収穫体験の実施や花のまちづくり推進事業等を実施する。さらには、自然や歴史・文化・観光関連施設等を安心して安全に周遊できるよう、自転車の修繕・安全対策を進め、自然と触れ合う機会の充実を図る。			
	R5	R6	R7	
	◆ボランティア等が実施する自然観察会・収穫体験等への支援	⇒	⇒	
	◆自転車の修繕・安全対策等	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
みどりのつどい (グリーンカーテン講習会)	みどりのつどいを開催し、多くの恵みを与えてくれていた緑のはたらきを見直し、緑を守り育てていくことの大切さを市民に啓発する。	100	80	100
	R4実績: 参加者 204人 ゴーヤの苗の配布を実施			
花のまちづくり推進事業	自治会等が実施する事業を対象にみどりの基金を活用して花の苗等を支給。	1,199	1,212	1,195
	R4実績: 参加 延46団体			
スマート・エコ祭開催	八幡市で環境活動に携わっている団体の活動パネル展示、「やわたのまちの小さな仲間たちフォトコンテスト」・「グリーンカーテン写真コンテスト」の優秀作品展示や気候変動等をテーマとしたVRシアター・エコドライブシミュレーター体験等を実施し、環境について考える場づくりとして、環境啓発を実施。	180	123	243
	R4実績: 参加者数 約250人			
就学前環境教育推進事業	環境市民ネットに委託し、市内幼稚園・保育園などに対して環境学習を実施する。	44	44	44
	R4実績: 地球レンジャーによる環境教育として大型紙芝居を作成・上演			
自然観察会開催	市民に対し、自然とふれあう機会を創出するため、市内の自然環境を活用した自然観察会を開催する。	30	32	30
	R4実績: 市内小学生及び保護者等 24人			
農産物収穫体験事業	八幡農業ボランティアの会の主催により、各種農産物の収穫体験を実施する。	130	130	180
	R4実績: 参加人数 270人			
市民農園管理運営	農業への理解促進及び都市と農村との交流促進を図るため、市民レクリエーション農園管理組合の管理する農園を市民等に賃貸する。	659	526	697
	R4実績: 86区画(全116区画)			

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第1節 シビックプライドの醸成

③豊かな自然・歴史との触れ合い

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
京都八幡木津自転車道線整備事業<京都府事業>	奈良県、和歌山県と連携し、観光地等の拠点を結ぶ広域自転車道整備として実施する施設修繕、安全施設整備及び利用啓発に向けた広報活動。	0	0	0
	R4実績: 舗装修繕			
市民向け環境学習啓発事業【再掲】	地球温暖化対策として、啓発ポスター・学習ハンドブック・再エネ工作教室・エコかるたを作成するなど情報提供や就学前児・小学校低学年向けの教材作成等を実施。(令和3年度まで環境省の補助金を活用し国民運動「COOL CHOICE」の普及啓発事業として実施)	5,000	486	199
	R4実績: 工作教室参加者延べ32人			

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第1節 シビックプライドの醸成

③豊かな自然・歴史との触れ合い

2 自然景観の保全		建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆森林・農業の多面的機能保全等 ・NPO活動支援 ・交付金による支援 ◆みどりの約束締結促進	市民1人当たりの都市公園等面積の拡大及び自然環境や親水性に配慮した河川の延長、動植物が生育・生息する水辺の創出を促進する。また、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に取り組んでいただいている活動組織に「多面的機能支払交付金」を通じた支援を実施するほか、「みどりの約束」の締結など、土地所有者との連携による緑地の保全を推進する。			
	R5	R6	R7	
	◆森林・農業の多面的機能保全等 森林の多面的機能促進(NPO活動支援) 農業の多面的機能発揮(交付金による支援)	⇒	⇒	
	◆みどりの約束締結促進	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
八幡市森林整備計画推進	京都府地域森林計画に適合した森林整備の方向性に関する計画(計画期間:平成30~令和9年度)に基づき、各種施策を推進。 R4実績: 関係機関と連携し計画を推進	0	0	0
農業の有する多面的機能促進事業【再掲】	資源の適切な保全や景観形成、農薬使用削減など農業の多面的な機能を促進する活動に対し助成。 R4実績: 助成 3団体	20,250	17,706	20,170
ふるさとの森保全事業	土地や樹木所有者等との間において、“みどり”の保全についての協定「みどりの約束」を締結し、残されたみどりを保護・育成する。 R4実績: 森:460,796.85㎡ 木:16本	5,000	4,688	5,000
茶業振興対策事業(浜茶景観維持)【再掲】	日本遺産にも認定された「流れ橋周辺に広がる浜茶の景観」の維持に資する取組に対し助成。 R4実績: 仮設トイレ 12基	194	162	207
森林・山村多面的機能発揮対策事業費助成	森林の多面的機能が十分に発揮されるよう、NPO法人による森林保全管理活動に対し支援を行う。 R4実績: 竹林整備 3.2ha	152	131	0
【R4終了】 男山緑地景観保全事業	男山緑地景観の保全に向けた土地の保全に取り組む。 R4実績: 用地取得 90,255㎡	180,000	180,000	-

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第1節 シビックプライドの醸成

③豊かな自然・歴史との触れ合い

3 歴史景観の保全		建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆屋外広告物管理 ◆景観法に関する調整 ◆歴史街道計画推進	近畿地方都市美協議会へ参加するとともに、必要に応じ、八幡市歴史街道計画整備検討委員会を開催し、市内に点在する歴史景観のさらなる保全を推進する。			
	R5	R6	R7	
	◆歴史街道計画推進 (関係機関と連携・調整)	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
屋外広告物管理	良好な景観の創出に向け、適正な屋外広告物の許可及び違法な屋外広告物の除却等を行う。	0	0	0
	R4実績: 新規 21件 更新 72件			
景観法に関する調整	京都府による景観計画との連携推進及び景観行政に関する調整を行う。	0	0	0
	R4実績: 関係機関との連携・調整			
歴史街道計画推進	歴史や文化資産を活かした個性と魅力ある地域づくりを進めることを目的として、歴史街道計画に基づく事業実施について八幡市歴史街道計画整備検討委員会を設置・開催して景観等の検討を行い、取組を推進する。	70	0	70
	R4実績: 計画推進			

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第2節 幸せと出逢う観光まちづくり

①「観幸のまち やわた」のブランド構築

1 ブランドの構築		政策企画部、建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆歴史文化ものがたりコンテンツ「八幡STORY」PR拡充・「八幡STORY&GUIDE」としてコンテンツ追加整備 ◆特産品のブランド化、商品開発・販路拡大への協力 ◆八幡産ブランド野菜PR事業助成 ◆徒然草エッセイ大賞実施	「八幡市観光基本計画」を踏まえ、新たなコンテンツを加えて整備した「八幡STORY&GUIDE」の周知を図り、新たに制作した観光PR動画で観光誘客に活用するとともに、やわたブランドの構築に向けた取り組みを進める。また、「文化芸術都市・八幡市」の推進及び発信を目的に徒然草エッセイ大賞を実施する。			
	R5	R6	R7	
	◆歴史文化ものがたりコンテンツ「八幡STORY&GUIDE」PR	⇒	⇒	
	◆特産品のブランド化、商品開発・販路拡大への協力	⇒	⇒	
◆徒然草エッセイ大賞実施	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
歴史文化ものがたりコンテンツ「八幡STORY&GUIDE」PR事業 【再掲】	八幡の歴史や文化を伝えるウェブコンテンツ「八幡STORY&GUIDE」の国内及びインバウンド向けPRを行うとともに、多様な場面での活用を促進する。 R4実績: パンフレットにてコンテンツへの誘導	0	0	0
やわたブランド創造事業	商工会等と連携した特産品認定の仕組みづくりや特産品の開発とPRを行う。 R4実績: 「ヤワタカラ」第2回、第3回認定14品目認定(認定総数31品目)	1,535	1,106	1,904
八幡産ブランド野菜PR事業助成	八幡市産の農産物であることを出荷袋に表記し、地産地消を推進する活動に対し助成。 R4実績: 実績なし	0	0	0
徒然草エッセイ大賞 【再掲】	徒然草エッセイ大賞の実施を通じ、石清水八幡宮を所縁とした本市の歴史文化のPRを行う。 R4実績: 応募点数 計 2,698点(一般の部1,526点、中学生の部665点、小学生の部507点)	11,200	11,200	12,000
松花堂昭乗イラストコンテスト 【再掲】	小・中・高校生を対象としたイラストコンテストを実施し、本市の文化芸術に触れる機会を創出。 R4実績: 応募点数 計 1,101点(小学生の部509点、中学生の部338点、高校生の部254点)	10,000	7,000	10,000
【R4終了】 京都やましろ地域と東京しぶや連携交流事業【再掲】	お茶の京都地域と東京都渋谷区が連携し、宇治茶等和文化の発信、特産品のPR・開発、歴史文化体験プログラムの創出、農村体験の事業化検討等に取り組む。 R4実績: 委員会3回他、WG・担当者会議・R4計画会議出席、お茶の京都大茶会、子ども交流事業等	1,188	1,092	—

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第2節 幸せと出逢う観光まちづくり

①「観幸のまち やわた」のブランド構築

2 プロモーションの推進		政策企画部、建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
<p>◆龍谷大学との連携によるインバウンド対応モニターツアー・SNS発信、指さし会話集(4言語)の作成、やさしい日本語講座及びガイドブック作成、動画制作</p> <p>◆インバウンド対応推進 ・「八幡STORY」PR拡充・「八幡STORY&GUIDE」としてコンテンツ追加整備 ・インバウンド対応情報発信 ・台湾・香港プロモーション</p> <p>◆オンラインも活用した商談会等への参加</p> <p>◆各種PR方法の拡充 ・Instagramによる各種企画の実施 ・京都府地域情報ファクトブック等への情報発信 ・SNSによる情報発信 ・新たな情報発信方法の研究・検討・活用</p> <p>◆観光PR動画制作</p> <p>◆大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機とした鎌倉時代歴史文化再発見事業</p>	<p>新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ観光消費を取り戻すべく、パンフレットの効果的な配布や、観光PR動画の活用、SNS等を活用したウェブ情報の充実等、国内・国外の旅行者に対してアフターコロナに向けたそれぞれ効果的な発信を行うとともに、商談会や情報交換会へ観光協会と連携しながら積極的に参加し、プロモーションを実施する。また、市ホームページをはじめ、LINEや市公式YouTubeチャンネルなどの各SNSを通じた情報発信を行い、関連機関とも連携して多方面から情報を発信するとともに、時代に即した情報発信方法の情報を収集し、有効性を研究しながら活用を推進する。</p> <p>さらに、大河ドラマを活用し、他地域との連携を通じた観光資源等のプロモーションを行い、魅力の向上を図る。</p>			
		R5	R6	R7
	◆インバウンド対応推進 (「八幡STORY&GUIDE」PR)	⇒	⇒	⇒
	◆観光プロモーション等への参加	⇒	⇒	⇒
	◆各種PR方法の拡充 (各SNSを通じた情報発信) (観光PR動画の作成・活用)	⇒	⇒	⇒
◆大河ドラマを活用したPR	⇒	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
歴史文化ものがたりコンテンツ「八幡STORY&GUIDE」PR事業	八幡の歴史や文化を伝えるウェブコンテンツ「八幡STORY&GUIDE」の国内及びインバウンド向けPRを行うとともに、多様な場面での活用を促進する。 R4実績: パンフレットにてコンテンツへの誘導	0	0	0
観光協会活動助成	八幡市の観光魅力発信及び各種観光事業を行う八幡市観光協会に対し事業費等を助成。 R4実績: 秋の文化財一斉公開・松花堂ウォーク開催	25,700	24,692	25,513
観光プロモーション等への参加	国内外からの誘客を行う旅行会社やランドオペレーターに対し、八幡市の観光情報をPRする。 R4実績: 観光協会 4回参加	29	0	36
観光PR動画事業	市内の観光名所等を紹介するPR動画を作成し、効果的な発信をするとともに、多様な場面での活用を促進する。 R4実績: 動画制作(10分・3分・30秒版、英語・繁体字・簡体字対応)	4,000	4,000	0
JAF観光協定	JAF(一般社団法人日本自動車連盟)と観光協定を締結し、JAFのHPや各種媒体での発信を行う。 R4実績: JAFへ情報提供、JAFMate1月号への掲載	4	4	4
広報やわた発行【再掲】	市政情報や各種イベント、まちの話題などを掲載した広報紙を毎月発行し、全戸に配布。 R4実績: 毎月32,200部発行	15,610	15,441	14,985

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第2節 幸せと出逢う観光まちづくり

①「観幸のまち やわた」のブランド構築

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
【充実】 ホームページ管理運営 【再掲】	市政情報などを随時発信。 R4実績: アクセス数 1,407,640件	1,913	1,913	6,313
Instagram市アカウント運営【再掲】	市の旬の話題などを写真で随時発信するとともに、各種企画を実施。 R4実績: フォロワー数 6,308件	15	15	30
LINE・Twitter市アカウント運営 【再掲】	市政情報やイベント情報などを随時配信。 R4実績: LINE友だち数 3,522件、Twitterフォロワー数 2,244件	15	9	15
市公式YouTubeチャンネル運営	各課が保有する既存動画の集約および配信。 R4実績: チャンネル登録者数 241人	0	0	0
【R4終了】 京都やましろ地域と東京しぶや連携交流事業【再掲】	お茶の京都地域と東京都渋谷区が連携し、宇治茶等和文化の発信、特産品のPR・開発、歴史文化体験プログラムの創出、農村体験の事業化検討等に取り組む。 R4実績: 委員会3回他、WG・担当者会議・R4計画会議出席、お茶の京都大茶会、子ども交流事業等	1,188	1,092	—
【新規】 男山魅力探求発信事業 【再掲】	大阪・関西万博を見据え、男山の自然体験や坊跡の歴史を題材としたモニターツアーを開催し、必要な散策路等の環境整備の調査を行う。 R4実績: —	—	—	2,900
【R4終了】 鎌倉時代歴史文化再発見事業	大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機とし、他地域との連携を通じた地域連携講座(フォーラム)や街歩きガイドツアー・スタンプラリーを実施。 R4実績: フォーラム開催、スタンプラリー実施	1,250	1,095	—
周遊ルートづくり(他地域連携)事業 【再掲】	他地域、民間事業者や大学と連携し、観光地域活性化のための立案や活動を行う。 R4実績: 宇治川Eボート川下り&体験イベント実施(10/29)、大河ドラマを契機としたスタンプラリー実施(5/13~9/30)	300	394	300

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第2節 幸せと出逢う観光まちづくり

①「観幸のまち やわた」のブランド構築

3 観光まちづくりを進める体制づくり		政策企画部、建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆関係機関との連携強化による広域観光推進 ◆「お茶の京都」交流拠点づくり推進協議会開催 ◆観光基本計画策定 ◆観光基本計画を進める体制づくり ・官民協議会開催・運営	平成30年度に策定した観光基本計画を改定し、観光消費額の向上及び交流人口の増大を図る。関係機関との連携を強化し、他市町村と連動した観光プロモーションの実施等、広域的な観光PRを推進する。また、歴史的資源を活用した文化観光を推進するため、拠点となる施設の整備や、付加価値を提供する多様な主体が自由に議論・検証を重ねながら事業を推進する体制を創設する。			
	R5	R6	R7	
	◆関係機関との連携強化による広域観光推進	⇒	⇒	
	◆観光基本計画推進・策定	◆観光基本計画推進	⇒	
	◆歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略推進	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
【新規】 観光基本計画策定	石清水八幡宮を活かした交流拠点づくりや茶文化発信を強化し、文化観光を経済の好循環につなげるための取組を定める観光基本計画を策定する。	-	-	5,000
	R4実績: -			
観光基本計画推進協議会	観光施策に関する基本計画をもとに、観光基本計画推進官民協議会を設置し、庁内推進委員会の運営を行いつつ、計画に基づく取組を推進する。	132	38	144
	R4実績: 推進協議会、庁内委員会 各1回			
歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略推進 【再掲】	文化観光の推進に向け、石清水八幡宮と門前町の魅力向上を目指し、歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略を推進する。	4,000	3,800	0
	R4実績: 未来戦略策定			
お茶の京都DMO 【再掲】	「お茶の京都DMO」と連携し、観光地域づくりに取り組む。	6,570	6,566	6,570
	R4実績: マーケティング調査、地域づくり専門人材配置、情報発信・プロモーション			
観光協会活動助成 【再掲】	八幡市の観光魅力発信及び各種観光事業を行う八幡市観光協会に対し事業費等を助成。	25,700	24,692	25,513
	R4実績: 秋の文化財一斉公開・松花堂ウォーク開催			
京都府観光連盟	京都府下の市町村及び観光関連業界との連携を図り、観光振興及び地域活性化を推進する。	205	205	205
	R4実績: パンフレット掲載等、京なび・関空等でのPR			
乙訓・八幡広域観光連絡協議会	乙訓地域と観光連携を図ることを目的に組織された乙訓・八幡広域観光連絡協議会に参加。	50	50	50
	R4実績: ファムトリップの実施、パンフレット作製			
淀川三川合流域地域づくり情報連絡会	「淀川三川合流域地域づくり構想」に基づき、三川合流域における関係団体の連携を図る。	0	0	0
	R4実績: 実績なし			
歴史街道推進協議会	日本の歴史文化等の再認識及び世界へのアピール等を行う歴史街道推進協議会に参加。	100	100	100
	R4実績: 飛鳥奈良京都連携事業参加・会員向けPRの活用			

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第2節 幸せと出逢う観光まちづくり

②自然と歴史と文化が織りなす「出逢いの物語」観光の推進

1 石清水八幡宮を活かした交流拠点づくり		政策企画部、建設産業部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆男山四十八坊等観光案内板の追加設置(5基) ◆男山四十八坊を紹介する観光案内冊子作成 ◆八幡市駅前既存施設リニューアル実施 ◆歴史文化ものがたりコンテンツ「八幡STORY」PR拡充・「八幡STORY&GUIDE」としてコンテンツ追加整備 ◆駅前再整備に向けた関係機関調整	歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略に基づき、石清水八幡宮とその門前町の拠点整備や推進体制の構築、新たな観光地としての「新・空中茶室」の創造に向けた基本構想を策定し、魅力向上を目指す。また、石清水八幡宮駅周辺について、既存の駅前広場の現況整理・調査を行い、再整備内容の検討を行う。			
	R5	R6	R7	
	◆歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略推進 (男山魅力探求発信事業における調査等)	⇒	⇒	
	◆新・空中茶室プロジェクト推進 (基本構想策定)	⇒	⇒	
	◆石清水八幡宮駅周辺再整備 (交通結節点の機能強化に向けた、現況整理・調査)	⇒	⇒	
	(未来戦略に基づく事業の推進)	(実施設計)		
	(整備計画の検討)	(関係機関調整)		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
八角堂内見学及び期間限定公開【再掲】	平成26年度から実施してきた保存整備工事が平成30年度に完了したことに伴い、建物内部の見学(事前申込)及び期間限定での公開を実施する。	0	0	0
	R4実績: 堂内見学:2回、延29人 期間限定公開:1回(年2日)、延250人			
【充実】 石清水八幡宮駅周辺再整備	「八幡市駅前整備等観光まちづくり構想」の具現化に向けた駅周辺整備を検討。	0	0	5,000
	R4実績: 鉄道事業者との意見交換			
お茶の京都DMO【再掲】	「お茶の京都DMO」と連携し、観光地域づくりに取り組む。	6,570	6,566	6,570
	R4実績: マーケティング調査、地域づくり専門人材配置、情報発信・プロモーション			
歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略推進	文化観光の推進に向け、石清水八幡宮と門前町の魅力向上を目指し、歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略を推進する。	4,000	3,800	0
	R4実績: 未来戦略策定			
【新規】 新・空中茶室プロジェクト推進事業【再掲】	石清水八幡宮や門前町の魅力向上のため、「新・空中茶室」の創造に向けた基本構想を策定する。	-	-	2,200
	R4実績: -			
【新規】 男山魅力探求発信事業	大阪・関西万博を見据え、男山の自然体験や坊跡の歴史を題材としたモニターツアーを開催し、必要な散策路等の環境整備の調査を行う。	-	-	2,900
	R4実績: -			

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第2節 幸せと出逢う観光まちづくり

②自然と歴史と文化が織りなす「出逢いの物語」観光の推進

2 資源を活かした周遊・体験・滞在型の広域観光の推進		政策企画部、建設産業部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆観光基本計画推進 ◆観光プログラム開発促進 ・観光事業者とのワークショップ実施 ◆背割堤さくらまつり実行委員会への参画 ◆茶会・茶香服大会実施 ◆観光庁「域内連携促進事業」を活用したモニターツアー、竹あかり、デジタルスタンプラリー実施	市民等のイベントや祭りへの助成を行い、地域の祭りを観光誘客のツールとして発信するとともに、背割堤さくらまつり実行委員会等さまざまな機関と連携し、イベント開催や情報発信を行う。また、四季彩館を活用し、八幡市産のてん茶を使用した茶会を実施する。さらに、三川合流域の活性化に繋げていくため、継続的に淀川舟運整備推進協議会に参画し、府域を超えた連携を図るほか、枚方～八幡間の安全な航路の確保等について近畿地方整備局への要望活動を実施していく。			
	R5	R6	R7	
	◆観光基本計画推進・策定	◆観光基本計画推進	⇒	
	◆観光プログラム開発促進 (商談会への参加)	⇒	⇒	
	◆背割堤さくらまつり実行委員会への参画	⇒	⇒	
◆茶会実施	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
【新規】 観光基本計画策定 【再掲】	石清水八幡宮を活かした交流拠点づくりや茶文化発信を強化し、文化観光を経済の好循環につなげるための取組を定める観光基本計画を策定する。	-	-	5,000
	R4実績: -			
観光基本計画推進協議会【再掲】	観光施策に関する基本計画をもとに、観光基本計画推進官民協議会を設置し、庁内推進委員会の運営を行いつつ、計画に基づく取組を推進する。	132	38	144
	R4実績: 推進協議会、庁内委員会 各1回			
観光プロモーション等への参加【再掲】	観光事業者へのプロモーションを通じて、周遊・体験・滞在型の観光プログラムの商品化を促進。	29	0	36
	R4実績: 観光協会 4回参加			
観光振興事業助成	東高野街道八幡まちかど雛まつり事業の実施に対し助成。	100	100	100
	R4実績: R5/2/25(土)～3/5(日)開催			
歴史街道推進協議会【再掲】	日本の歴史文化等の再認識及び世界へのアピール等を行う歴史街道推進協議会に参加。	100	100	100
	R4実績: 飛鳥奈良京都連携事業参加・会員向けPRの活用			
太鼓まつり連絡協議会活動助成	太鼓まつり連絡協議会活動に助成、事務局としてまつりの運営を支援。	600	52	600
	R4実績: 新型コロナウイルス感染症により中止			
背割堤さくらまつり実行委員会	国、府、市等関係機関で「背割堤さくらまつり実行委員会」を組織し、「背割堤さくらまつり」を運営。	1,500	1,500	1,500
	R4実績: R4/3/26(土)～4/5(火)11日間開催			
JAF観光協定【再掲】	JAF(一般社団法人日本自動車連盟)と観光協定を締結し、JAFのHPや各種媒体での発信を行う。	4	4	4
	R4実績: JAFへ情報提供、JAFMate1月号への掲載			

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第2節 幸せと出逢う観光まちづくり

②自然と歴史と文化が織りなす「出逢いの物語」観光の推進

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
八幡産てん茶普及啓発事業 【再掲】	松花堂等で茶会、市内小学校でお茶学習を実施することにより、お茶に親しむ機会を創出する。	1,150	801	1,150
	R4実績: お茶席体験参加人数80人 新型コロナウイルス感染症の影響により、お茶学習中止			
淀川舟運整備推進協議会	府域を超えた市町で構成する淀川舟運整備推進協議会に参加し、国への要望活動を実施。	0	0	0
	R4実績: 総会開催 1回 国への要望活動 2回			
淀川舟運活性化協議会	2025年大阪・関西万博を好機と捉え、舟運を活かした上下流地域とのにぎわいづくりや沿川地域全体の活性化を図る淀川舟運活性化協議会に参加し、淀川舟運の更なる活性化に向けた取組を進める。	0	0	0
	R4実績: 協議会開催 2回(書面 1回)			
周遊ルートづくり(他地域連携)事業	他地域、民間事業者や大学と連携し、観光地域活性化のための立案や活動を行う。	300	394	300
	R4実績: 宇治川Eボート川下り&体験イベント実施(10/29)、大河ドラマを契機としたスタンプラリー実施(5/13~9/30)			
市内周遊シャトルバスの運行	秋の文化財一斉公開における市内周遊促進のため、観光地点等を結ぶ周遊バスの運行。	530	534	534
	R4実績: 11/19、20に市内周遊バス(延395人乗車)、IR山崎⇄京阪石清水八幡宮駅シャトルバス運行(延152人乗車)			
【R4終了】 鎌倉時代歴史文化再発見事業【再掲】	大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機とし、他地域との連携を通じた地域連携講座(フォーラム)や街歩きガイドツアー・スタンプラリーを実施。	1,250	1,095	-
	R4実績: フォーラム開催、スタンプラリー実施			

第4章 自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

第2節 幸せと出逢う観光まちづくり

②自然と歴史と文化が織りなす「出逢いの物語」観光の推進

3 おもてなし環境の整備		建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
<ul style="list-style-type: none"> ◆公衆無線LAN設置 ◆社寺等やガイドのネットワーク化推進 ◆交差点名標識の改善(国交省施工) ◆高速道路敷地内の案内標識設置(NEXCO施工) ◆インバウンド対応市内観光案内板3台設置 ◆観光庁「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」を活用した解説文の多言語化 ◆文化庁「文化資源活用事業」を活用した説明板設置等 		日本人観光客だけでなく、外国人観光客にとっても訪れやすいまちとなるよう、ボランティアガイドの養成支援や公衆無線LANの設置、案内看板等の整備を行う。		
		R5	R6	R7
		◆社寺等やガイドのネットワーク化推進	⇒	⇒
		◆案内看板等おもてなし環境の整備	⇒	⇒
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
公衆無線LAN「Japan.Free Wi-Fi KYOTO」設置	主要な観光施設に公衆無線LANを整備し、外国人観光客を含めた観光客の利便性向上を図る。	691	693	0
	R4実績: 男山レクリエーションセンター、松花堂庭園・美術館 増設			
社寺等観光施設連絡会	社寺等の公開促進・共同行事等の開催を目指し、課題解決を図るため連絡会を設置する。	0	0	0
	R4実績: 2回開催、12施設参加			
ボランティアガイド養成講座	観光協会と連携し、ボランティアガイド協会会員を対象に養成講座を実施。	100	100	0
	R4実績: 鎌倉時代歴史文化再発見ツアーに関する養成講座開催			
男山展望台仮設トイレ設置	観光シーズンの春・秋期に男山展望台へ仮設トイレを設置する。	220	220	220
	R4実績: 2基設置(4月～5月、10月中旬～12月中旬)			
【R4終了】 市道科手土井線整備事業 【再掲】	御幸橋架替事業に関連して市道科手土井線の道路改良を行うとともに、本市北の玄関口としてふさわしい修景化を図る。	55,500	55,100	-
	R4実績: 広場(歩道)整備			

第5章

しなやかに発展する
「活力のまち やわた」

第5章 総括

基本目標 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

<施策体系>

第1節 活力の担い手育成

めざす姿 地域の経済・産業を担う人材や企業が育ち、八幡市に活力をもたらしています。

① 商工業の振興

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
創業支援の相談者のうち創業に至った件数	件	2	10	5	^{10より高い} (※1)	△
市域就職面接会で就業に至った人数	人	2	0	3	8	○
中小企業等融資の補給件数	件	52	69	65	65	◎

※1…10件は後期基本計画策定時の最新数値。

② 農業の振興

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
認定農業者数	人	72	65	65	72	○
担い手農家の農地利用集積面積	ha	102	130	130	145	○
農産物直売所等における販売額(※2)	千円	69,814	197,056	197,056(※3)	226,000	-

※2…前期基本計画では農産物直売所(四季彩館)の販売額としていたが、後期基本計画では市内における主な販売所(2箇所)を算出基準に加え、指標を再設定した。

※3…令和3年度実績値(農産物直売所(四季彩館)以外の販売所における販売額の判明時期が7月下旬であるため)。

第2節 活力の基盤整備

めざす姿 八幡市に賑わいをもたらす基盤が整備されています。

① 企業立地の推進

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
商業系・工業系用途地域の指定面積(市街化調整区域の地区計画含む)	ha	246	246	272	272	◎

② 人・物の流れをつくる基盤の整備

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
新名神高速道路(八幡京田辺～高槻間)工事着手率	%	18.0	99.0	99.0	供用開始	○
市内国道1号歩道整備率(延長ベース)	%	50.0	52.0	52.0	96.0	○
居住誘導区域内の人口密度	人/ha	-	71	71	72	○
コミュニティバスの年間利用者数	人	92,299	86,068	91,361	94,100	○

達成の状況の未達成	目標値を達成(◎)		2 件	20.0%
	「前年度実績」より前進または同値(○)		7 件	70.0%
	「前年度実績」より後退(△)		1 件	10.0%

※今年度に現状値を把握することができない指標については、母数から除外。

第5章 総括

基本目標	しなやかに発展する「活力のまち やわた」
------	----------------------

総括(指標の達成状況・今後の方向性)

第1節	<p>(めざす姿の実現に向けて実施した取組、指標の達成状況) 地域に根差した商工業活動の活性化を図るため、中小事業者への取組に対する助成や商工会等との連携による企業への経営を支援する。また、創業に係るワンストップ相談窓口における創業希望者への総合的な支援や市域就職面接会の開催回数の増加等、市内での雇用機会の拡大に取り組んだ。</p> <p>農業振興については、認定農業者や新規就農者の確保支援による担い手育成に取り組んだほか、農産物直売所における地場農産物の販売促進や市内小中学校の給食等での地場産農産物の利用促進等による地産地消の推進に取り組んだ。</p> <p>指標の達成状況では、「中小企業等融資の補給件数」が継続して目標を達成したものの、「市域就職面接会で就業に至った人数」は目標達成に至らなかったほか、「創業支援の相談者のうち創業に至った件数」は前年度実績から後退となった。なお、「認定農業者数」「担い手農家の農地利用集積面積」は前年度実績と同値となっている。</p>
	<p>(今後の取組方針) 商工業の振興については、これまでの取組に加え、中小企業者への奨学金返還支援により人材確保や雇用環境の向上を図るほか、市域就職面接会の開催回数の増加により、市内での雇用機会の拡大に取り組む。</p> <p>農業の振興については、担い手育成や地場農産物の販売促進、地産地消の推進等に引き続き取り組むとともに、担い手農家等が取り組む「農産物生産」「流通・販売」「6次産業」等の新規チャレンジに向けたPDCAサイクルに基づく取組に対し支援する「アグリチャレンジング支援事業」や、農業地域振興整備計画の見直しに取り組む。</p>

第2節	<p>(めざす姿の実現に向けて実施した取組、指標の達成状況) 企業立地の推進に向け、八幡市都市計画マスタープランに基づく京都府や関係機関との連携、市基本計画に基づく地域経済牽引事業の促進等、農地の利用集積等による周辺の土地利用との調和を図った都市的土地利用を進めることで、効果的な企業誘致活動や雇用の創出、就労機会の増加を図った。また、産業振興ゾーンにおいて、市街化調整区域における地区計画決定を行い、企業の進出可能な土地利用の確保に取り組んだ。</p> <p>また、新名神高速道路をはじめとする交通網の整備や、橋本駅前をはじめとする交流拠点の整備を図るとともに、地域公共交通会議による公共交通網の検討を重ねながら、コミュニティバス等市内公共交通の効率的運行に取り組んだ。</p> <p>指標の達成状況では、「商業系・工業系用途地域の指定面積」が目標値を達成したほか、「新名神高速道路工事着手率」や「市内国道1号歩道整備率」等、基盤の整備についても着実に進捗している。「コミュニティバスの年間利用者数」についても、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことも影響し、増加に転じている。</p>
	<p>(今後の取組方針) 企業の進出可能な土地の確保については、新名神高速道路の全線開通を見据え、引き続き産業振興ゾーンにおける土地利用の見直しを検討するとともに、土地利用の転換に併せ、南北連携軸などの整備に向けた調査を行う。</p> <p>また、交流拠点整備については、京阪橋本駅周辺拠点整備事業において、ロータリー整備工事、駅前広場整備工事を進め、令和6年度の供用開始を目指すとともに、石清水八幡宮駅の交通処理機能の向上に向けた駅前広場の現況整理及び調査に取り組む。</p> <p>加えて、地域公共交通計画に基づき、コミュニティバスのルート検討やバス待ち環境の改善、モビリティマネジメントの実施に取り組み、持続可能な公共交通の構築を図る。</p>

総合計画検討懇談会の意見

各種インフラ整備が遅滞なく進むよう、国・京都府・その他各種関係団体とのきめ細かな連携を図られたい。これからのまちづくりや地域の持続可能性を考える場合に、産業の活性化は非常に重要と考える。農業者の販売力・経営力強化につながるよう、地場産農産物等の一層のPR等必要な施策に取り組むとともに、八幡市独自の農産物が確立されるような新しい取組についての支援にも取り組まれない。

商工業は雇用吸収力が高い。市内において飲食店やスーパー等の閉店が続いており、新店舗等が安定した経営が出来るよう支援を図られたい。また、居住者が安心して暮らせるよう、食をはじめとする商工業の振興に引き続き注力されたい。

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第1節 活力の担い手育成

①商工業の振興

1 商工業の振興		建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
<p>◆商工会との連携強化による経営支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓支援(展示会出展支援) ・やわたフェスタ開催支援 <p>◆中小企業者への継続的な補助事業の実施</p> <p>◆働き方改革啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業向け講座等実施 <p>◆新型コロナウイルス感染症感染防止に係る事業者支援</p> <p>◆やわたブランド「ヤワタカラ」認定開始(R3～)</p>	<p>商工会等と連携し、市内イベントや中小企業者等への経営支援を行い、地元商工業の活性化を図り、活力ある地域経済・地域社会を目指す。また、市内中小企業者に対する融資保証料補給及び融資利子補給を継続的に実施するとともに、コロナ禍における企業の資金繰り支援に係る融資の償還が令和5年度より本格化することを受け、中小企業者に対して、中小企業等経営改善支援金の給付を実施し、安定した経営、業務転換、経営革新等の支援をしていく。さらに、商工会等と連携してやわたブランド「ヤワタカラ」の認定を推進し、特産品の開発・PRを行う。</p>			
		R5	R6	R7
	◆商工会との連携強化による経営支援等 (販路開拓支援)		⇒	⇒
	◆中小企業者への継続的な補助事業の実施		⇒	⇒
	◆やわたブランド創造事業		⇒	⇒
	◆中小企業等経営改善支援金給付の実施		⇒	⇒
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
商工会活動助成	市内商工業の総合的な改善発達を図り、地域経済の発展を目的とする商工会に対し助成。	20,959	20,507	15,750
	R4実績: 中小企業知恵の経営ステップアップ事業・まちゼミ事業・やわたフェスタ開催事業			
融資保証料補給	京都府中小企業融資制度による融資を受けた者に対し、保証料の一部を補給。	2,600	2,461	3,000
	R4実績: 保証料補給件数 32件			
融資利子補給	京都府中小企業融資制度による融資を受けた者及び日本政策金融公庫の融資を受けた者に対し、利子の一部を補給。	1,600	777	750
	R4実績: 利子補給件数 26件			
中小企業者等事業継続支援金給付	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業継続にあたり融資を受けた市内中小企業・個人事業主等の負担軽減を図るため支援金を給付。	0	0	0
	R4実績: -			
【新規】 中小企業等経営改善支援金給付事業	京都府の「伴走支援型経営改善おうえん資金」の融資を受けた事業者に対し支援金を給付。	-	-	1,200
	R4実績: -			
やわたブランド創造事業 【再掲】	商工会等と連携した特産品認定の仕組みづくりや特産品の開発とPRを行う。	1,535	1,106	1,904
	R4実績: 「ヤワタカラ」第2回、第3回認定 14品目認定(認定総数31品目)			

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第1節 活力の担い手育成

①商工業の振興

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
商工業活性化事業【再掲】	地域に根差した商工業活動の活性化を図り、活力ある地域経済・地域社会を目指すため、事業者等への商工業振興にかかる各種取組に対し、助成する。	5,000	3,077	5,000
	R4実績： 補助件数20件			

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第1節 活力の担い手育成

①商工業の振興

2 八幡発の創業の推進		建設産業部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆創業者、第二創業者への継続的なサポート ・創業者の掘り起こし、支援充実に係る検討	創業者、第二創業者をサポートするため、創業支援等事業計画に基づき、創業に係る経営・財務・人材育成・販路開拓について、各関係機関と連携し、継続的に支援していく。また、創業者の掘り起こしや支援の充実にについて検討していく。			
	R5	R6	R7	
	◆創業者、第二創業者への継続的なサポート (創業者の掘り起こし、支援充実に係る検討)	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
ワンストップ相談窓口設置	ワンストップ相談窓口を設置し、相談者を総合的に支援することができる創業支援員を配置。	3,243	3,665	2,560
	R4実績: 市相談件数 8件			
融資保証料補給 (開業・経営承継支援資金)	京都府中小企業融資制度の開業・経営承継支援資金による融資を受けた者に対し、保証料の一部を補給。	700	183	450
	R4実績: 創業に係る保証料補給件数 2件			
融資利子補給 (新創業融資制度)	日本政策金融公庫の新創業融資制度による融資を受けた者に対し、利子の一部を補給。	380	408	250
	R4実績: 創業に係る利子補給件数 12件			
商工業活性化事業	地域に根差した商工業活動の活性化を図り、活力ある地域経済・地域社会を目指すため、事業者等への商工業振興にかかる各種取組に対し、助成する。	5,000	3,077	5,000
	R4実績: 補助件数 20件			

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第1節 活力の担い手育成

①商工業の振興

3 就業支援		市民生活部、健康福祉部、建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆就労相談、地元雇用促進の継続的な実施	関係機関と連携し、就労相談及び地元雇用促進を継続的に実施する。また、市内事業者が実施する従業員の奨学金返済支援に対し助成し、人材確保や雇用環境の向上を図る。			
	R5	R6	R7	
	◆就労相談、地元雇用促進の継続的な実施	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
個別就職相談会	京都ジョブパーク及び地域若者サポートステーションと連携した相談会を実施。	0	0	0
	R4実績: 相談件数 32件			
八幡市域就職面接会	ハローワーク伏見と連携し、地元企業が参加する就職面接会を開催。	30	3	30
	R4実績: 1回開催(就業者数3人)			
【新規】 中小企業奨学金返還支援事業	人材確保や雇用環境の向上を図るため、京都府の「就労・奨学金返済一体型支援事業」の交付決定を受けた事業者に対し助成。	—	—	480
	R4実績: —			
生活困窮者自立支援 (自立相談支援) 【再掲】	経済問題や家庭問題など、様々な課題を抱えた生活困窮者に対し、訪問支援や個別支援計画の策定など、自立に向けた包括的な支援を実施。	30,631	27,827	27,825
	R4実績: 相談件数 407件(延べ662件)			
就職困難者就労対策事業	就職困難者の就労支援として、求職相談事業や資格免許の情報提供など、人材育成、企業啓発等の事業を実施する。	317	311	346
	R4実績: 就労パソコン講座参加者 11名			

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第1節 活力の担い手育成

①商工業の振興

4 産業と地域の共生		建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆関係機関との連携 ◆適正管理に向けた啓発・指導	関係機関との連携及び適正管理に向けた啓発・指導を行う。			
	R5	R6	R7	
	◆関係機関との連携	⇒	⇒	
	◆適正管理に向けた啓発・指導	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
自動車処理事業振興対策 (事業者等指導)	自動車処理事業の振興及び廃油廃液に伴う公害防止等を図るため、市内処理事業者及び協同組合への指導を実施。	0	0	0
	R4実績: 指導 38業者			

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第1節 活力の担い手育成

②農業の振興

1 担い手の育成・強化		健康福祉部、建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆認定農業者の確保・育成 ◆新規就農者の確保・育成		認定農業者及び新規就農者の確保・育成を図るため、八幡市地域担い手育成総合支援協議会など関係機関等の活動支援を継続的に実施する。		
		R5	R6	R7
		◆認定農業者の確保・育成 (アグリチャレンジング支援) (農産物販売強化)	⇒	⇒
		◆新規就農者の確保・育成	⇒	⇒
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
地域担い手育成総合支援協議会事業助成	地域農業の担い手を育成・確保する活動を支援するため、八幡市地域担い手育成総合支援協議会の活動経費に対し助成。	150	150	250
	R4実績: 総会 3回開催			
地域農業担い手認定者支援事業助成	地域農業の担い手認定者の経営規模拡大に向けた活動支援、農機具・貨物自動車等の購入・修理を行う八幡市農業経営者会議に対し、活動費の一部を助成。	850	500	850
	R4実績: 新規認定者1名、再認定者 6名			
農業青年クラブ活動助成	八幡市農業青年クラブの活性化を図るため、活動に係る農業用機械等の購入に対し助成。	110	76	114
	R4実績: 視察研修に対し助成			
農地中間管理	農業の担い手の発掘・育成を図るため、農地の貸付及び借受希望者の掘り起こしや担い手(受け手)への公募の周知、相談等を実施。	400	200	200
	R4実績: 関係機関との連絡調整			
スマート農業実装チャレンジ事業	作物生産の作業性・生産効率向上に必要なスマート農業技術を搭載した機械及び設備の導入に対し助成。	6,502	6,028	10,780
	R4実績: 助成 1法人			
【新規】アグリチャレンジング支援事業	担い手農家等が新たに行う収量拡大や品質向上、加工品開発等の取組や農業活性化協議会が行う農産物販売強化活動を支援する。	-	-	1,800
	R4実績: -			

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第1節 活力の担い手育成

②農業の振興

2 生産基盤等の強化		建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆農産物の生産に必要な施設整備等に対する支援		農産物の生産に必要な施設整備等について、農業団体の取組への支援を実施するほか、農地の利用集積を図ることにより、耕作放棄地の発生防止や農家の経営安定化等を図る。		
		R5	R6	R7
		◆八幡市農業振興地域整備計画 (計画策定)	⇒	⇒ (計画推進)
		◆農産物の生産に必要な施設整備等に対する支援	⇒	⇒
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
【充実】 八幡市農業振興地域整備計画策定・推進	国の農用地等の確保等に関する基本方針、京都府農業振興地域整備基本方針、市の土地利用計画等と整合を図った農業地域振興整備計画を見直し、策定する。	0	0	2,500
	R4実績: 計画推進			
農業用水対策事業 (農業用施設改修等助成)	農業用揚水機・農業用排水路の新設、修理、改修に係る1事業あたり50万円以上の工事に助成。	1,340	476	1,340
	R4実績: 助成 2件			
排水事業負担軽減事業	綴喜西部土地改良区における排水機等の維持管理にかかる賦課金の農家負担軽減を図るため、綴喜西部土地改良区に対し、事業費の一部を助成。	6,070	5,990	6,070
	R4実績: 八幡市域における綴喜西部土地改良区の組合員の負担軽減			
【充実】 農業用施設維持補修	農道・農業用排水路等の農業用施設について、必要な維持補修等を実施する。	12,300	11,122	21,220
	R4実績: 揚水機更新助成 3件			
川北排水機場維持管理【再掲】	6市2町の負担により管理運営する川北排水機場について、農地等を水害から守るため、適正な維持管理を実施。	12,030	13,231	6,880
	R4実績: 委託 4件			
有害鳥獣駆除対策	有害鳥獣による農林業の被害を減少させるため、有害鳥獣を捕獲する。	270	265	300
	R4実績: 52回出動			
農地の利用集積推進	耕作放棄地の発生防止や農家の経営安定化等を図るため、農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地パトロールやアンケート調査を基に農地の利用集積を推進する。	1,730	1,662	630
	R4実績: 160,082㎡			
野菜価格安定対策事業	野菜価格の低落や収穫量の減少が農業経営に及ぼす影響を緩和するため、「京のふるさと産品価格流通安定協会」へ加盟し、事業費を負担。	1,020	187	1,160
	R4実績: ねぎ 3回			

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第1節 活力の担い手育成

②農業の振興

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
環境にやさしい野菜づくり事業	環境に配慮した農業を推進するため、京都やましろ農業協同組合八幡市支店に対し、農業用使用済プラスチックの回収事業費の一部を助成。	450	513	630
	R4実績: 処理量 28,500kg			
水田農業構造改革対策事業	水田農業に係る生産基盤等の強化を図るため、スクミリンゴガイ駆除、経営所得安定対策事業、加工用米生産事業等に対し助成。	3,020	2,601	3,670
	R4実績: 駆除剤 835袋			
スマート農業実装チャレンジ事業【再掲】	作物生産の作業性・生産効率向上に必要なスマート農業技術を搭載した機械及び設備の導入に対し助成。	6,502	6,028	10,780
	R4実績: 助成 1法人			
【新規】 アグリチャレンジング支援事業 【再掲】	担い手農家等が新たに行う収量拡大や品質向上、加工品開発等の取組や農業活性化協議会が行う農産物販売強化活動を支援する。	—	—	1,800
	R4実績: —			
茶業振興対策事業 (茶園環境改善事業)	茶業の振興を図るため、生産体制の強化、伝統的な手摘み栽培技術の継承、商品価値や市場評価の高い良質茶の生産を推進する。	1,000	552	1,875
	R4実績: 被覆棚強化更新 23.6a			

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第1節 活力の担い手育成

②農業の振興

3 地産地消の推進		建設産業部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆農産物直売所運営助成 ◆八幡産ブランド野菜PR助成 ◆地元産米・味噌給食利用促進 ◆やわた農業まつり開催	新鮮な地場産農産物を提供する農産物直売所の運営や地元産の農産物を使用した学校給食の実施に対し助成することにより、地産地消を推進する。			
	R5	R6	R7	
	◆農産物直売所運営助成	⇒	⇒	
	◆地元産米・味噌給食利用促進	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
やわた流れ橋交流プラザ「四季彩館」管理運営	都市型市民と農村型市民とのふれあいの場を創出するため、やわた流れ橋交流プラザの管理運営を行う。	19,285	19,825	19,285
	R4実績: 利用者数 90,197人			
八幡産ブランド野菜PR事業助成【再掲】	八幡市産の農産物であることを出荷袋に表記し、地産地消を推進する活動に対し助成。	0	0	0
	R4実績: 実績なし			
安全・安心でおいしいお米生産事業助成	農業振興・地産地消を推進するため、生産管理されたJA出荷米「こだわり米」及び特別栽培米について、JA京都やましろ八幡市支店に対し助成。	2,200	2,885	2,900
	R4実績: 助成 1等米4,687袋、2等米2,708袋			
「京の米」生産イノベーション事業費助成	米の産地間競争に対応するため、生産・流通機械の整備や生産基盤の機能保全対策に対し助成。	205	0	830
	R4実績: 実績なし			
農産物品評会開催	高品質で安全な農作物の普及啓発を図り、農業に対する理解を深めるため、農産物品評会を開催。	185	155	210
	R4実績: 出品数140点			
都市・農村ふれあい事業	都市と農村の地域交流を推進する松花堂ふれあい市・八幡市農業女性グループ等に対し、活動費の一部を助成する。	303	203	303
	R4実績: 視察研修等に助成			
地元産米給食利用促進補助金	八幡市学校給食運営委員会が行う地元産米給食利用促進事業に対し助成。	612	534	600
	R4実績: 利用 53,340kg			
地元産味噌給食利用促進補助金	八幡市学校給食運営委員会が行う地元産味噌給食利用促進事業に対し助成。	1,631	1,365	2,277
	R4実績: 利用 味噌1,702kg、白味噌655.7kg			

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第2節 活力の基盤整備

①企業立地の推進

1 企業の進出可能な土地の確保		建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆八幡市都市計画マスタープラン改定 ◆立地適正化計画策定 ◆都市計画検討・推進 ◆地籍調査事業推進(西山地区)	今後の土地利用の方向性を示す「八幡市都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」に基づき、土地の利活用に取り組む。また、産業振興の土地利用に向け、関係機関と調整し、区域区分の見直しや市街化調整区域における地区計画決定等の都市計画決定を行い、工業・商業基盤の整備を進める。			
		R5	R6	R7
	◆土地利用の見直し (区域区分見直しによる都市計画決定)	⇒ (市街化調整区域における地区計画決定)	⇒ (市街化調整区域における地区計画決定)	⇒ (市街化調整区域における地区計画決定)
	◆産業振興ゾーン関連事業 (南北連携軸道路整備検討) (雨水排水基本計画改定)	⇒ (計画推進)	⇒	⇒
	◆地籍調査事業推進	⇒	⇒	⇒
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
市街地整備計画推進	新名神高速道路の全線開通のインパクトを好機と捉える中で、今後の土地利用の方向性を示す計画に基づく取組を推進する。	0	0	0
	R4実績: 計画推進			
八幡市都市計画マスタープラン計画推進	八幡市のめざす将来都市像の実現に向けたまちづくりの指針となる八幡市都市計画マスタープランに基づく取組を推進する。	0	0	0
	R4実績: 計画推進			
立地適正化計画推進【再掲】	居住機能や医療・福祉・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実等を計画的に行うための立地適正化計画に基づき、コンパクトシティに向けた取組を推進する。	0	0	0
	R4実績: 計画推進			
都市計画調査・決定	都市計画マスタープランに基づき、必要な調査・調整等を行い、都市計画を決定・変更する。	3,300	3,262	3,200
	R4実績: 市街化調整区域における地区計画決定(2地区)			
【新規】 雨水排水基本計画改定	産業振興ゾーンの土地利用を推進するため、雨水排水基本計画を改定する。	-	-	9,000
	R4実績: -			
【新規】 南北連携軸道路等整備調査	産業振興ゾーンの土地利用を推進するため、南北連携軸の整備を検討する。	-	-	5,600
	R4実績: -			
地籍調査事業	区画整理事業や土地取引の円滑化に向け、地籍調査を実施。	6,170	5,850	14,600
	R4実績: 西山地区0.25km ² の地籍調査			

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第2節 活力の基盤整備

①企業立地の推進

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
土地利用・規制	各種土地利用規制を伴う他法令との調整を行うとともに、土地区画整理事業施行地区内における土地の形質の変更等の許可、及び同許可に係る現状回復等の命令を行う。	0	0	0
	R4実績: 調整			
開発・宅地造成工事指導	良好な市街地形成に向け、市の開発指導要綱等に基づき個人又は事業主に対して指導を行う。	0	0	0
	R4実績: 開発事前協議 14件 宅地造成等規制法事前協議 1件			
土地区画整理事業	土地区画整理事業者の求めに応じ、事業の準備又は施行のための技術的援助を行う。	0	0	0
	R4実績: 関係機関調整・事業施行中 1地区			
建築指導	都市計画施設の区域及び市街地開発事業の施行区域内における建築許可を行うとともに、道路、公園等の施設の配置や建築物について、地区計画を策定し、建築行為等の審査を行う。また、良好な市街地形成に向け、市の開発指導要綱等に基づき個人又は事業主に対して指導を行う。	0	0	0
	R4実績: 行為審査 26件 建築事前協議 260件			
道路位置指定指導	良好な市街地形成に向け、市の開発指導要綱等に基づき個人又は事業主に対して指導を行う。	0	0	0
	R4実績: 実績なし			
太陽光発電設備の設置指導	市民の生命及び財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする「太陽光発電設備の設置の規制等に関する条例」に基づき、設置行為等について個人又は事業主に対し指導・審査を行う。	0	0	0
	R4実績: 実績なし			

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第2節 活力の基盤整備

①企業立地の推進

2 農地の保全		建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆多面的機能支払交付金を通じた支援 ◆生産緑地法の運用 ◆特定生産緑地指定	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に取り組む活動組織に「多面的機能支払交付金」を通じた支援を実施する。 また、生産緑地について、新規指定に向けた調整等生産緑地法の運用により都市における農地等の適正な保全を図る。			
	R5	R6	R7	
	◆八幡市農業振興地域整備計画 (計画策定)	⇒	⇒ (計画推進)	
	◆多面的機能支払交付金を通じた支援	⇒	⇒	
	◆生産緑地法の運用 (生産緑地地区の変更)	⇒ (新規指定に向けた調整)	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
【充実】 八幡市農業振興地域整備計画策定・推進 【再掲】	国の農用地等の確保等に関する基本方針、京都府農業振興地域整備基本方針、市の土地利用計画等と整合を図った農業地域振興整備計画を見直し、策定する。	0	0	2,500
	R4実績: 計画推進			
都市計画調査・決定 【再掲】	都市計画の見直しや決定にあたり、農地保全との調和を図るため、農業振興地域整備計画等との調整等を行う。	3,300	3,262	3,200
	R4実績: 特定生産緑地指定、生産緑地地区の変更			
農業の有する多面的機能促進事業	資源の適切な保全や景観形成、農薬使用削減など農業の多面的な機能を促進する活動に対し助成。	20,250	17,706	20,170
	R4実績: 助成 3団体			
生産緑地法の運用	市街化区域内の農地等のうち、公害や災害の防止など良好な生活環境の確保に効果があり、公園・緑地などの敷地に適している土地を生産緑地地区として指定。	0	0	0
	R4実績: 特定生産緑地指定、生産緑地地区の変更、現況調査			

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第2節 活力の基盤整備

①企業立地の推進

3 企業誘致の推進		建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆各市町の紹介紙及び府下用地案内パンフレット作成 ◆誘致活動のための勉強会等参加 ◆地域未来投資促進法に基づく基本計画を策定	各市町の紹介紙作成や府下用地案内パンフレットの作成、誘致活動のための勉強会等に参加するとともに、市内で提供できるような用地が確保できた際には、京都府や関係機関と連携し、優良企業の誘致に取り組む。			
	R5	R6	R7	
	◆各市町の紹介紙及び府下用地案内パンフレット作成	⇒	⇒	
	◆誘致活動のための勉強会等参加	⇒	⇒	
◆地域経済牽引事業の促進	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
京都市町村企業誘致推進連絡会議	府内19市町が密接な関係を構築し、効果的な企業誘致活動の展開を図る。	80	80	80
	R4実績: 負担金支出、企業誘致説明会参加(2回)			
工業団地の効率的な利用促進	入居状況調査により現状を把握し、効率的な工業団地の利用を促進する。	0	0	0
	R4実績: 2年に1回入居状況調査実施(今年度未実施)			
地域経済牽引事業の促進	地域未来投資促進法に基づく八幡市基本計画に適合する地域経済牽引事業の促進を図る。	0	0	0
	R4実績: 相談2件			

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第2節 活力の基盤整備

②人・物の流れをつくる基盤の整備

1 新名神高速道路（八幡京田辺～高槻間）の整備促進		建設産業部		
これまでの取組（総括）		主な3年間の取組（総括）		
<ul style="list-style-type: none"> ◆東工区整備促進 ・協議、調整 ◆西工区整備促進 ・協議、調整 ◆中工区整備促進 ・協議、調整 	市内3つの工区（東、中、西）に分けて展開されている新名神高速道路（八幡京田辺～高槻間）整備事業の令和9年度開通を目標に、全工区の工事推進に向けた協議・調整への協力を行う。			
		R5	R6	R7
	◆東工区整備促進 （協議・調整）	⇒	⇒	⇒
	◆中工区整備促進 （協議・調整）	⇒	⇒	⇒
◆西工区整備促進 （協議・調整）	⇒	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
新名神高速道路整備事業（八幡京田辺～高槻間） ＜NEXCO事業＞	全国の広域幹線ネットワークを構成し、国土の東西交流を支える新名神高速道路の令和9年度「八幡京田辺～高槻間」開通に向け、NEXCO西日本を主体とし、京都府、関係市町が連携し事業を実施。	0	0	0
	R4実績： 工事推進、早期開通に向けた要望			
新名神高速道路整備事業（八幡京田辺JCT周辺整備） ＜NEXCO事業＞	新名神八幡京田辺JCT（H29.4開通）周辺の機能復旧等を実施。	0	0	0
	R4実績： 関係機関協議			
（都）内里高野道線、（府）八幡京田辺インター線整備事業 ＜京都府事業＞	新名神高速道路八幡京田辺IC周辺のアクセス道路整備を進める。	17,820	17,820	6,750
	R4実績： 用地取得			

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第2節 活力の基盤整備

②人・物の流れをつくる基盤の整備

2 市内幹線道路の整備		建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
<ul style="list-style-type: none"> ◆二階堂川口線BP ・用地取得、工事 ◆野神線 ・用地取得 ◆橋本駅前線 ・用地取得、設計、工事 ◆八幡田辺線 ・用地取得、工事 ◆内里高野道線 ・用地取得 ◆国道1号歩道整備 ・事業協力 ・用地事務受託 	市道野神線及び市道橋本駅前線については令和6年度の整備完了を目指し、道路整備工事を進める。また、国道1号歩道整備については、用地事務の一部を国から受託し、整備促進に向けた協力を行う。さらに、市道二階堂川口線BPについては、(都)八幡田辺線接続部および現道接続部の工事着手を目標とし、幹線道路・都市計画道路(街路)については、南北連携軸(国道1号以南)の整備に向けた調査・検討を行い、城陽―八幡連絡道路等の未事業化路線については、京都府へ事業化に向け働きかけを行う。			
		R5	R6	R7
		◆野神線 (水路改修工事)	⇒ (道路整備工事、整備完了)	
		◆八幡田辺線・内里高野道線 (用地取得・整備促進)	⇒ (整備促進)	⇒ (整備促進)
		◆幹線道路・都市計画道路 (街路)計画検討 (調査・検討)	⇒ (計画決定)	⇒ (整備促進)
		◆国道1号歩道整備 (用地取得)	⇒ (用地取得及び整備工事)	⇒ (用地取得及び整備工事)
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
(都)八幡田辺線整備事業 <京都府事業>	京阪道路へのアクセス道路として、国道1号以西から市道二階堂川口BPへつなぐ道路を整備。	21,129	21,129	21,110
	R4実績: 用地取得、道路築造			
(都)内里高野道線、(府)八幡京田辺インター線整備事業 <京都府事業>【再掲】	新名神高速道路八幡京田辺IC周辺のアクセス道路を整備。	17,820	17,820	6,750
	R4実績: 用地取得			
市道二階堂川口線BP整備事業	下奈良地区の歩行者安全確保、交通の円滑化を図るためのバイパス道路を整備。	0	0	0
	R4実績: 関係機関協議			
市道橋本駅前線整備 (橋本駅周辺拠点整備)	橋本駅周辺拠点整備に向け、既設道路を新たな駅ロータリーまで延伸させる道路を整備。	167,829	75,889	238,900
	R4実績: 用地取得、関係機関協議、工事 (繰越:120,000)			
【充実】 (仮称)八幡南北線道路整備 計画	広域高規格道路整備に伴う市内の道路混雑解消を図るため、新たな南北幹線道路の計画を検討。	0	0	5,600
	R4実績: 府への要望書提出 国道1号以南の道路計画検討			
市道西山下奈良線整備事業	(都)八幡田辺線の西伸事業に合わせ、渋滞のない快適な移動確保を目指し、市道西山下奈良線の延伸を検討。	0	0	0
	R4実績: 計画検討			
市道長部代砂島線整備事業	渋滞のない快適な移動確保を目指し、市道長部代砂島線の延伸、改良を検討。	0	0	0
	R4実績: 計画検討			
国道1号歩道整備事業 <国事業>	国が進める国道1号の歩道整備事業の用地事務の一部を受託。	1,250	669	2,000
	R4実績: 用地事務受託による用地取得			
市道野神線整備事業	歩道未整備、道路幅員狭小、線形不良区間を解消するための道路整備。	36,200	36,584	66,000
	R4実績: 用地取得、物件補償			

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第2節 活力の基盤整備

②人・物の流れをつくる基盤の整備

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
城陽-八幡連絡道路整備計画	木津川を渡河し城陽市を結ぶ新たな連絡道路の事業化を図る。	0	0	0
	R4実績: 府への要望書を提出			
【充実】 幹線道路・都市計画道路 (街路)計画	幹線道路等の整備計画を策定し、事業を推進。	0	0	5,600
	R4実績: 国道1号以南の道路計画検討			

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第2節 活力の基盤整備

②人・物の流れをつくる基盤の整備

3 交流拠点の整備		建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
<ul style="list-style-type: none"> ◆土地の利活用検討 <ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画策定・推進 ◆石清水八幡宮駅前整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との調整 ・整備に向けた検討 ・放生川踏切道改良計画策定 ◆橋本駅前整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ・整備基本計画策定 ・関係機関協議 ・暫定整備の設計 ・工事着手 ・用地取得 ◆科手土井線整備 <ul style="list-style-type: none"> ・広場(歩道)整備 	石清水八幡宮駅周辺の再整備について、交通結節点の機能強化に向けた現況整理及び調査を行い、整備に向けた計画策定、関係機関や土地所有者との協議を進める。また、橋本駅周辺整備については、隣接して計画する民間開発事業との事業調整を図るとともに、電線共同溝の整備、ロータリー整備工事を行い、令和6年度の供用開始を目標に整備を進める。			
		R5	R6	R7
	◆土地の利活用検討 (立地適正化計画推進)	⇒	⇒	
	◆石清水八幡宮駅前整備推進 (交通結節点の機能強化に向けた、現況整理・調査)	⇒	(整備計画の検討)	(関係機関調整)
◆橋本駅前整備推進 (電線共同溝整備、ロータリー整備工事)	⇒	(駅前広場整備工事、供用開始)		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
立地適正化計画推進	居住機能や医療・福祉・商業等の都市機能の立地や今後の公共交通政策等を計画的に行うための立地適正化計画を策定し、コンパクトシティに向けた取組を推進する。 R4実績: 計画推進	0	0	0
市営駐車場管理運営	石清水八幡宮駅周辺での違法駐車を防止し、周辺環境の向上を図ることを目的に駐車場利用を促進。 R4実績: 利用台数 19,202台	4,100	3,334	4,300
【充実】 石清水八幡宮駅周辺再整備 【再掲】	「八幡市駅前整備等観光まちづくり構想」の具現化に向けた駅周辺整備を検討。 R4実績: 鉄道事業者との意見交換	0	0	5,000
放生川踏切拡幅	踏切道改良促進法の「改良を実施すべき踏切」に指定されたことを受け、歩道拡幅による踏切改良の実施を検討。 R4実績: 関係機関調整	0	0	0
【R4終了】 市道科手土井線整備事業	御幸橋架替事業に関連して市道科手土井線の道路改良を行うとともに、本市北の玄関口としてふさわしい修景化を図る。 R4実績: 広場(歩道)整備	55,500	55,100	—
橋本駅周辺拠点整備事業	交流拠点として京阪橋本駅前広場及び周辺道路を整備し、都市機能の誘導を図る。 R4実績: 用地取得、関係機関協議、工事	167,829 (繰越:120,000)	75,889	238,900
放置自転車等対策(駐輪場管理運営) 【再掲】	放置自転車等対策として石清水八幡宮自転車駐車場の管理運営を行う。 R4実績: 利用率 自転車19.1%、バイク21.8%	7,500	7,309	6,954

第5章 しなやかに発展する「活力のまち やわた」

第2節 活力の基盤整備

②人・物の流れをつくる基盤の整備

4 持続可能な公共交通の構築		建設産業部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆コミュニティバス運行 ・事業者等との協議・検討 ◆コミュニティバス利用促進 ・広報・啓発 ◆地域公共交通計画 ・地域公共交通会議 	コミュニティバス等市内公共交通の効率的運行について、バス事業者等と協働して取り組むとともに、引き続き利用促進のための広報、啓発等を実施しながら、運行の持続を図る。また、地域公共交通計画を策定し、持続可能な地域公共交通の維持・利用促進に向けた取り組みを進める。			
	R5	R6	R7	
	◆コミュニティバス運行 (事業者等との協議・検討)	⇒	⇒	
	◆コミュニティバス利用促進 (広報・啓発)	⇒	⇒	
	◆地域公共交通計画 計画推進	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
地域公共交通計画推進	持続可能な公共交通の実現に向け、今後の地域公共交通の方向性を明確にするため、地域公共交通計画を推進。	0	0	0
	R4実績: 地域公共交通計画推進			
地域公共交通会議	地域の需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保及び利便の増進等に必要なる事項を協議。	432	323	572
	R4実績: 本会議4回、作業部会2回開催			
【R4終了】 八幡市バス交通計画推進	市バス路線のあり方や新たな公共交通手段の検討、バス利用促進等に向け策定した計画に基づき、各種施策を推進。	0	0	—
	R4実績: 計画推進			
バス交通対策事業	公共交通サービスを楽しむ地域へのサービス提供として、コミュニティバス運行業務を委託により実施。	54,100	53,518	52,300
	R4実績: 1日20便 年間91,361人利用			
八幡市公共交通事業者等補助金	新型コロナウイルス感染症の影響を受けているなか、原油価格高騰により更なる影響を受けている公共交通事業者等に対し、公共交通事業者等補助金を交付。	7,000	3,652	0
	R4実績: バス会社及びタクシー会社7件支援			

第6章

持続可能な
「安心・安全のまち やわた」

第6章 総括

基本目標 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

<施策体系>

第1節 環境と発展の調和

めざす姿 持続可能な発展を可能にする環境にやさしい社会システムが実現しています。

① 環境にやさしい暮らしの創出

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
市内の温室効果ガス排出量	千t-CO ₂	-	310(R1)	324(R2)	310より低い (※1)	△
騒音苦情件数	件	26	22	25	22より低い (※2)	△
不法投棄件数	件	99	34	15	34より低い (※3)	◎
環境学習参加者数	人	-	319	1,273	319より高い (※4)	◎

※1…310千t-CO₂は後期基本計画策定時の最新数値(R1)。

※2…22件は後期基本計画策定時の最新数値。

※3…34件は後期基本計画策定時の最新数値。

※4…319人は後期基本計画策定時の最新数値。

② 資源の循環利用

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
再資源化率(可燃・不燃)	%	18.3	16.0	15.9	36.0	△
市民1人1日あたりごみ排出量	g	791	812	793	776	○

第2節 安心・安全

めざす姿 災害に強く、犯罪や事故を抑制できるなど、安心・安全を支える仕組みと基盤が整っています。

① 地域ぐるみでの防犯・交通安全対策の推進

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
刑法犯認知件数(※5)	件	545	287	267	287より低い (※6)	◎
消費者教室、出前講座参加者数	人	-	357	658	400	◎
交通事故発生件数(※5)	件	246	109	130	120	△

※5…各年12月末現在。(計画当初値は平成28年12月末現在)

※6…287件は後期基本計画策定時の最新数値。

② 自助・共助・公助による防災・減災対策の推進

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
地区防災計画策定地域数	地域	2	5	5	20	○
災害時要援護者台帳の登録要援護者数	人	432	331	289	800	△
福祉避難所協定締結施設数	施設	8	12	12	14	○
住宅耐震化率	%	86.1	92.5	93.5	95.0	○

③ 火災予防・消防活動の推進

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
火災発生件数	件	23	10	21	10より低い (※7)	△

※7…10件は後期基本計画策定時の最新数値。

第6章 総括

基本目標 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第3節 持続可能な暮らしの基盤づくり

めざす姿 人口減少社会の中にあっても、住みたい、住み続けたいと思える豊かで持続可能な暮らしの基盤が整っています。

① 生活都市としての魅力の向上

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
居住誘導区域内の人口密度【再掲】	人/ha	-	71	71	72	○
管理不全空き家数	件	-	135	134	135より低い (※8)	◎
市営住宅等耐震化棟数	棟	67	71 (87.7%)	73	81 (100%)	○
市営住宅等長寿命化改善棟数(外壁改修・屋上防水)	棟	1	4	6	18	○

※8…287件は後期基本計画策定時の最新数値。

② 公共施設の適正管理とインフラ施設の更新・耐震化・長寿命化

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
公共施設の耐震化率	%	80.2	84.5	85.1	100	○
上水道管路全体の耐震適合率	%	22.8	27.0	28.1	34.0	○
基幹管路の耐震適合率	%	-	32.7	33.8	40.0	○
重要給水施設配水管路の耐震適合率	%	-	38.8	40.3	45.0	○
配水池の耐震化率	%	96.8	98.6	98.6	100	○
下水道施設の耐震化率	%	30.0	33.8	34.3	39.5	○
徴収率(水道料金)	%	92.5	94.8	94.9	95.2	○
徴収率(下水道使用料)	%	92.8	95.0	95.0	95.5	○

第4節 戦略的な行財政経営

めざす姿 健全で持続可能な財政運営の下、これからの時代にふさわしい市役所の体制が整い、効果的・効率的な行政サービスが提供されています。

① 健全で持続可能な財政運営

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
行財政改革による効果額(平成28年比累計効果額)	百万円	317	2,634	2,719	3,934	○
経常収支比率(※9)	%	99.7	91.5	91.5	94.8	-
将来負担比率(※9)	%	23.4	0.0	0.0	25.9	-
収支改善	億円	-	-	(※10)	13	-

※9…現状値(R4)は、令和4年3月31日実績値。

※10…平成30年度から令和4年度の中期財政見通しを踏まえて令和5年度取得予定。

② 意欲と能力にあふれた組織と職員づくり

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
時間外勤務が年間300時間を超える職員数	人	-	76	67	50人以下	○
地域活動参加職員の割合	%	71.2	38.0	50.3	85.0	○

③ 新たな需要に応える効果的で効率的な行政サービスの提供

指標名	単位	計画当初値	前年度実績	現状値 (R4)	目標値 (R9)	達成状況
八幡市の行政の取組への満足度	%	71.4	74.2	(※11)	80.0	-
マイナンバーカード交付率	%	-	45.4	66.2	100	○
ホームページアクセス件数	件	494,975	2,068,662	1,407,640	950,000	◎
LINE公式アカウントの友だち登録者数	人	-	2,908	3,522	7,000	○
審議会等委員の市民公募委員の割合	%	7.2	11.2	12.5	20.0	○

※11…第6次八幡市総合計画策定時に当該年度の現状値を取得予定。

達成の状況の	目標値を達成(◎)		6 件	18.2%
	未達成	「前年度実績」より前進または同値(○)	21 件	63.6%
		「前年度実績」より後退(△)	6 件	18.2%

※今年度に現状値を把握することができない指標については、母数から除外。

第6章 総括

基本目標 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

総括(指標の達成状況・今後の方向性)

第1節	<p>(めざす姿の実現に向けて実施した取組、指標の達成状況) 第3次八幡市環境基本計画を推進し、温室効果ガスの排出量削減や省エネルギーに関する市民のさらなる意識向上と取組の促進に向け、みどりのつどいやスマート・エコ祭開催、「COOL CHOICE」による啓発、幼稚園・保育園児への環境教育の実施、市内世帯への再生可能エネルギー導入促進を図るとともに、関係機関と連携した騒音対策や市民・事業所との協働による美化活動を実施した。</p> <p>また、資源の循環利用の推進については、3R(リユース、リデュース、リサイクル)の啓発やプラスチック製容器包装の分別、小型家電リサイクルの啓発に取り組むとともに、資源物の回収拠点の整備や自治会等による再資源化の促進を図った。</p> <p>指標の達成状況では、「不法投棄件数」「環境学習参加者数」が目標値を達成、「市民1人1日あたりごみ排出量」が前年度実績から前進している一方、「市内の温室効果ガス排出量」「騒音苦情件数」「再資源化率(可燃・不燃)」は前年度実績から後退している。</p>
	<p>(今後の取組方針) 引き続き、温室効果ガスの排出量削減や省エネルギーに関する市民のさらなる意識向上と取組の促進に向け、継続的に取り組むほか、公共施設へのリユース太陽光発電システム設置に新たに取り組むなど、さらなる再生可能エネルギーの普及を図ることにより環境にやさしい暮らしの創出につなげ、2050年CO₂実質排出ゼロを目指していく。</p> <p>資源の循環利用の推進については、引き続き各種啓発や再資源化の促進等に取り組んでいくことにより、環境にやさしい社会システムの構築を目指していく。</p>

第2節	<p>(めざす姿の実現に向けて実施した取組、指標の達成状況) 防犯・交通安全対策については、青色防犯パトロールや八幡警察署と連携した啓発活動等に取り組むとともに、犯罪被害者等支援にも取り組んだ。また、八幡警察署や関係部局と連携した交通安全啓発に取り組んだほか、道路照明のLED化等による犯罪の発生しにくいまちづくりや、ゾーン30のエリア拡大をはじめとする児童生徒の通学時の安全確保等に取り組んだ。さらに、消費者被害の未然防止に向け、高齢者から若年者まで様々な世代に対応した消費者教室の開催、出前講座の実施などの啓発事業に取り組んだ。</p> <p>防災・減災対策については、防災機能を備えた市役所新庁舎を整備し、令和5年1月に開庁するとともに、防災アプリやドローンの運用等、緊急情報の発信力向上や関係部局と連携した避難所環境の改善等に取り組んだ。また、住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに基づき、住宅所有者に対する普及啓発チラシのポスティング等を実施するなど、耐震化に向けた取組を行った。</p> <p>火災予防・消防活動については、防火意識の高揚及び防火管理体制の充実を図り、市内事業所や子ども・高齢者等を対象とした予防啓発活動及び地域の消防力向上に向けた消防団の訓練指導を実施するとともに、各種訓練や研修を通じ消防職員の育成、NET119緊急通報システムや電話通訳センターを介した三者間同時通訳の運用、消防車両の更新を含めた消防資機材の整備等による消防力の強化や大規模災害に備えた消防相互応援協定の強化を図った。また、京都府南部9消防本部が共同で行う京都府南部消防指令センターの設置や消防分署の設置に向けて取り組んだ。</p> <p>指標の達成状況では、「刑法犯認知件数」「消費者教室、出前講座参加者数」が目標値を達成しており、安心・安全のまちづくりに寄与している。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う行動制限が緩和されたことにより外出機会が増加したため、「交通事故発生件数」は増加に転じ、前年度実績から後退している。また、「災害時要援護者台帳の登録要援護者数」「火災発生件数」についても前年度実績から後退している。</p>
	<p>(今後の取組方針) 防犯・交通安全対策については、警察等との連携による各種防犯活動を進めるとともに、子どもの通学路の安全を確保するため、犯罪防止と市民の防犯意識の向上等に取り組む。また、犯罪の未然防止のため、防犯カメラの設置補助事業や維持管理等を行う。さらに、八幡警察署や関係部局と連携しながら交通安全啓発を実施することにより、交通安全意識の醸成を図る。加えて、消費者被害の未然防止に向け、引き続き啓発事業に取り組んでいく。</p> <p>防災・減災対策については、引き続き国土強靱化地域計画の推進や情報収集・発信能力の強化、市民の防災行動の向上等に取り組むほか、大規模災害発生時における避難所等のトイレ対策として、クラウドファンディングを活用したトイレカーの導入など、さらなる避難所環境の改善に取り組む。また、住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに基づき、普及啓発に努めるとともに、木造住宅耐震診断士派遣事業や木造住宅耐震改修助成事業の推進により、令和7年度における住宅耐震化率95.0%を目指す。</p> <p>火災予防・消防活動については、引き続き予防啓発活動を実施するとともに、障がいのある人や外国人市民からの通報に迅速に対応可能なNET119緊急通報システムや三者間同時通訳の運用に取り組む。また、京都府南部9消防本部が共同で行う京都府南部消防指令センターの設置や、新名神高速道路の全線開通も見据えた消防分署の今年度設置に向け、体制構築や人材育成等を図り、さらなる消防力の強化を図っていく。</p>

第6章 総括

基本目標 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第 3 節	<p>(めざす姿の実現に向けて実施した取組、指標の達成状況)</p> <p>「八幡市住生活基本計画」や「八幡市都市計画マスタープラン」等に基づき、良好な住まいづくりの誘導や住生活環境の形成等を進めた。また、「八幡市空き家等対策計画」に基づき、官民協働の取組により空き家の適正な管理と活用を行い、良好な居住環境の保全を図るとともに、空き家の現状把握及び所有者への適正管理依頼を行った。さらに、京都府、UR、関西大学、本市との4者連携による「男山地域まちづくり連携協定」に基づくコミュニティ支援や子育て支援等各種取組の継続実施、新たな取組の検討による男山地域の再生に取り組み、生活都市としての魅力向上に取り組んだ。</p> <p>公共施設や道路・上下水道施設等インフラ施設については、「八幡市公共施設等総合管理計画」や「八幡市個別施設計画」、「八幡市水道ビジョン」、「八幡市下水道事業経営戦略」等に基づく維持補修や耐震化・長寿命化に取り組んだ。</p> <p>指標の達成状況では、インフラ施設の耐震化率や市営住宅に関する指標は前年度実績から前進しているほか、「管理不全空き家数」は昨年度から減少し目標値を達成している。</p>
	<p>(今後の取組方針)</p> <p>「八幡市住生活基本計画」や「八幡市都市計画マスタープラン」等に基づき、引き続き良好な住まいづくりの誘導や住生活環境の形成等を進める。また、空き家については、良好な住環境を保全するとともに安心して暮らせる安全で快適なまちづくりを推進するべく、適正な管理を依頼するとともに、(一社)八幡市空き家バンクと連携し、利活用の促進に取り組む。さらに、「男山地域まちづくり連携協定」に基づく各種取組を継続的に実施しつつ、締結から10年を迎えることを受け、この間実施してきた取組の成果を確認するとともに、その結果を踏まえ、今後の中長期的なまちづくりを見据えた取組や連携のあり方を検討していく。</p> <p>公共施設や道路・上下水道施設等インフラ施設については、「八幡市公共施設等総合管理計画」や「八幡市個別施設計画」、「八幡市水道ビジョン」、「八幡市下水道事業経営戦略」等に基づく耐震化・長寿命化に引き続き取り組むとともに、公共施設においては、指定管理者制度をはじめとする官民連携手法の活用により、施設の適正管理とライフサイクルコストの低減につなげていく。また、市役所庁舎をはじめとする公共・公用施設の効果的な管理手法の検討を進める。</p>

第 4 節	<p>(めざす姿の実現に向けて実施した取組、指標の達成状況)</p> <p>財政運営については、人口減少と少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少等により個人市民税収入の減少が見込まれる中、持続可能な運営を図るため、「令和4年度行財政改革取組計画」及び「中期財政見通し」に基づき、歳入の確保と歳出の抑制に取り組むとともに、令和5年度を初年度とする「第8次行財政改革実施計画」の策定に取り組んだ。</p> <p>組織と職員づくりについては、人口減少や新庁舎の開庁を見据えた組織の在り方を検討し、組織改正を実施した。また、効率的・効果的な業務執行による時間外勤務の削減など、さらなる定員管理や職員配置の適正化、働き方改革の推進を図るとともに、職員研修の充実や地域活動への参加促進により、職員の能力と意欲の向上を図った。</p> <p>行政経営については、第5次八幡市総合計画の前期基本計画期間が終了することに伴い中間見直しを実施し、社会情勢や市民意識の変化等を踏まえた後期基本計画を策定したほか、SNSの活用等による情報発信手段の充実をはじめ、審議会等市民公募委員やパブリックコメントの実施等、意思決定の場への市民参画の促進と、マイナンバーカードの交付率向上等による市民サービスの向上に取り組んだ。</p> <p>指標の達成状況では、いずれの指標も概ね前年度実績から前進しており、中でも「ホームページアクセス件数」は、新型コロナウイルス感染者数の全数把握終了後も新型コロナウイルス等に関する情報発信を多く行っていることも影響し、高止まり傾向が続いており、目標値を大きく上回っている。</p>
	<p>(今後の取組方針)</p> <p>財政運営については、新たに策定した「第8次行財政改革実施計画」に基づき歳入の確保と歳出の抑制に取り組むなど、持続可能な運営を図っていく。</p> <p>組織と職員づくりについては、引き続き効率的で効果的な業務執行に取り組むことにより、時間外勤務の削減を図るほか、働き方改革の取組として、これまで研究してきた RPA の導入により業務の効率化を図る。また、新たな人材育成・組織改善に向けた取組を試行的に開始する。</p> <p>行政経営については、第5次八幡市総合計画後期基本計画をはじめとする市の計画の効果的なPDCAサイクルの実施を推進するとともに、事務事業の実施プロセスなどを客観的に検証する取組を試行的に実施し、事業のより良い進め方の検討や情報公開のさらなる推進を図る。また、SNSの活用等による情報発信手段の充実をはじめ、審議会等市民公募委員やパブリックコメントの実施等、意思決定の場への市民参画の機会充実を図る。加えて、市民課窓口業務の一部委託導入やマイナンバーカード交付率100%の達成に向けた取組等により、効率的・効果的な行政サービスの提供及び市民サービスの向上に取り組む。</p>

第6章 総括

基本目標	持続可能な「安心・安全のまち やわた」
------	---------------------

総合計画検討懇談会の意見

交番連絡協議会等、地域の安心・安全に関する枠組において防犯関連の情報共有が活性化されることを期待したい。

市ホームページアクセス件数が目標値を達成しているが、市単独での情報発信には限界があるので、民間やインフルエンサー、市民等にも協力を得て情報を届ける取組についても検討されたい。

不法投棄件数は改善されたが、火災発生件数の増加は安心・安全のまちづくりに悪影響を及ぼす恐れがある。要因を分析の上、必要な対策を講じられたい。

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第1節 環境と発展の調和

①環境にやさしい暮らしの創出

1 脱炭素社会に向けた取組		市民生活部、建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆スマート・エコ祭開催 ◆省エネ普及に向けた啓発及び再生可能エネルギー導入促進 ◆第3次八幡市環境基本計画策定 ◆地球温暖化対策調査	市民による省エネルギーや温室効果ガスの排出量削減に向けた意識啓発とさらなる取組の促進に向け、啓発・教育事業を継続する。また、地球温暖化対策の推進を図るため、公共施設や市内世帯への再生可能エネルギーの導入を促進し、「2050年CO ₂ (二酸化炭素)実質排出ゼロ」を目指す。			
	R5	R6	R7	
	◆スマート・エコ祭開催	⇒	⇒	
	◆就学前環境教育推進	⇒	⇒	
	◆地球温暖化対策推進 (再生可能エネルギー導入促進)	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
第3次八幡市環境基本計画推進	市民・事業者等との協働により取り組む環境施策を体系的に示した「環境基本計画」を推進。 R4実績: 計画推進	0	0	0
八幡市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)推進	区域の温室効果ガスの排出抑制等についての施策を取りまとめた「地球温暖化対策実行計画」を推進。 R4実績: 計画推進	0	0	0
第3次八幡市エコ・オフィス計画(八幡市地球温暖化対策実行計画・事務事業編)推進	市の事務事業に関し、温室効果ガス排出量削減等に向けた取組をまとめた「エコ・オフィス計画」を推進。 R4実績: 計画推進	0	0	0
市民向け環境学習啓発事業【再掲】	地球温暖化対策として、啓発ポスター・学習ハンドブック・再エネ工作教室・エコかるたを作成するなど情報提供や就学前児・小学校低学年向けの教材作成等を実施。(令和3年度まで環境省の補助金を活用し国民運動「COOL CHOICE」の普及啓発事業として実施) R4実績: 工作教室参加者延べ32人	5,000	486	199
【R4終了】 地球温暖化対策調査業務委託	地球温暖化対策の推進を図るため、再生可能エネルギーの導入に向けた調査業務を実施。 R4実績: 市で調査を実施	2,000	0	-
【新規】 地球温暖化対策推進事業費(リユース太陽光発電システム設置事業)	公共施設へのリユース太陽光発電システムを設置する。 R4実績: -	-	-	3,500
地球温暖化対策推進事業費(住宅用太陽光発電システム等設置費助成)	住宅用太陽光発電システムを設置する個人に対して、設置費用の一部を助成。 R4実績: 助成 40件	2,000	1,982	2,000
地球温暖化対策推進事業費(家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費助成)	太陽光発電システム、蓄電設備を同時設置する個人に対して、設置費用の一部を助成。 R4実績: 助成 21件	3,600	3,629	5,400

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第1節 環境と発展の調和

①環境にやさしい暮らしの創出

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
みどりのつどい(グリーンカーテン講習会)【再掲】	みどりのつどいを開催し、多くの恵みを与えてくれている緑のはたらきを見直し、緑を守り育てていくことの大切さを市民に啓発する。	100	80	100
	R4実績: 参加者204人 ゴーヤの苗の配布を実施			
スマート・エコ祭開催【再掲】	八幡市で環境活動に携わっている団体の活動パネル展示、「やわたのまちの小さな仲間たちフォトコンテスト」・「グリーンカーテン写真コンテスト」の優秀作品展示や気候変動等をテーマとしたVRシアター・エコドライブシミュレーター体験等を実施し、環境について考える場づくりとして、環境啓発を実施。	180	123	243
	R4実績: 参加者数 約250人			
八幡市環境白書作成	環境基本計画に掲げる各項目の取組内容及び目標の進捗状況等についてとりまとめ、白書として作成・公表。	21	4	21
	R4実績: 作成 50部			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第1節 環境と発展の調和

①環境にやさしい暮らしの創出

2 人と自然との共生		市民生活部、建設産業部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆みどりのつどい開催 ◆環境に配慮した農業活動への支援	市民生活に欠かせない「みどり」を大切にする豊かな心を育むべく、みどりのつどいを開催する。また、八幡農業ボランティアの会の主催による農産物収穫体験の実施や花のまちづくり推進事業等を実施する。			
	R5	R6	R7	
	◆みどりのつどい開催	⇒	⇒	
◆環境に配慮した農業活動への支援	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
児童用机天板交換【再掲】	小学校の学習環境の整備を図るため、児童用机天板の府内産木材化を実施。 R4実績: 市内小学校4年生552台導入	4,893	4,118	4,950
【新規】 京の木香る園づくり事業【再掲】	子どもたちが木の香りや温もりを肌で感じるができるよう、公立就学前施設において、府内産木材を使用した備品を整備する。 R4実績: —	—	—	8,400
花のまちづくり事業【再掲】	自治会等が実施する事業を対象にみどりの基金を活用して花の苗等を支給。 R4実績: 参加 延46団体	1,199	1,212	1,195
みどりのつどい(グリーンカーテン講習会)【再掲】	みどりのつどいを開催し、多くの恵みを与えてくれている緑のはたらきを見直し、緑を守り育てていくことの大切さを市民に啓発する。 R4実績: 参加者204人 ゴーヤの苗の配布を実施	100	80	100
自然観察会開催	市民に対し、自然とふれあう機会を創出するため、市内の自然環境を活用した自然観察会を開催する。 R4実績: 市内小学生及び保護者等 24人	30	32	30
環境にやさしい野菜づくり事業【再掲】	環境にやさしい農業促進に向け、農業使用済みプラスチックの処理事業に対し助成。 R4実績: 処理量28,500kg	450	513	630
農業の有する多面的機能促進事業【再掲】	資源の適切な保全や景観形成、農薬使用削減など農業の多面的な機能を促進する活動に対し助成。 R4実績: 助成 3団体	20,250	17,706	20,170

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第1節 環境と発展の調和

①環境にやさしい暮らしの創出

3 安心で快適に住み続けられる、美しい八幡づくり		市民生活部、建設産業部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆公害防止に向けた調査・指導 ◆山手幹線の渋滞緩和 ・渋滞対策勉強会開催 ・対策検討 ◆定期的な騒音測定	新名神(八幡京田辺～高槻間)開通、八幡京田辺JCT付近で事業が進められている土地 区画整理事業等による周辺地域の交通渋滞に関する課題や対策について、関係機関と検 討・調整を行うとともに、環境基準を満たす広域幹線道路の整備が進むよう、定期的に騒音 測定を実施する。また、公共交通機関や徒歩・自転車の利用を促進する。 加えて、自動車処理事業について周辺の違法駐車や廃車の保管に対して適正な指導を行 うとともに、環境にやさしい農業の促進を図る。			
	R5	R6	R7	
	◆定期的な騒音測定	⇒	⇒	
	◆山手幹線の渋滞緩和	⇒	⇒	
	(渋滞対策勉強会開催) (対策検討)	(対策検討)	(検討に基づく対策の実施)	
	◆公害防止に向けた調査・ 指導	⇒	⇒	
◆環境に配慮した農業活動 への支援	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
山手幹線渋滞対策勉強会開催	関係機関との連携により、新名神高速道路等の整 備や開発事業に伴う山手幹線の渋滞対策に関する 勉強会を開催。 R4実績: 勉強会開催:1回	0	0	0
道路交通騒音測定	広域幹線道路の整備に伴う騒音についての現状把 握を目的とし、定期的な調査を行うとともに、規制値 を超過した場合、道路管理者に改善を要請。 R4実績: 調査 独自4カ所、権限移譲2カ所	825	631	800
騒音に関する苦情相談	発生源の特定及び発生の未然防止を目的とし、市 民からの相談に応じる。 R4実績: 相談件数:25件	0	0	0
公害調査・防止活動及び臭気 検査分析	公害の調査及び防止活動として、河川の水質調査 及び臭気の検査分析を行う。 R4実績: 河川水質調査(市内16地点)4回	1,460	1,210	1,498
土砂等による土地の埋め立て 事業等を行う事業者への指導	土砂等による土地の埋め立て事業等に係る指導・ 許可等を行う。 R4実績: 許可1件(うち継続1件)	0	0	0
動物適正飼育啓発事業	犬の糞公害防止啓発用看板、ワンワンクリーンキャ ンペーン用啓発物品等の購入。 R4実績: 新型コロナウイルス感染症の感染拡大 の影響により啓発用品配布中止	148	0	148
猫避妊手術費助成	動物の適正飼養に係る啓発及び野良猫の繁殖抑 制に向け、猫の避妊手術に係る費用の一部を助 成。 R4実績: 助成 猫191件	1,200	955	1,200
不法投棄禁止啓発事業	市内の不法投棄禁止を啓発のため、看板や啓発 シールを作成。 R4実績: 実績なし	0	0	0

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第1節 環境と発展の調和

①環境にやさしい暮らしの創出

4 みんなで取り組む環境活動		市民生活部、建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
<p>◆就学前児童をはじめとする環境教育・啓発事業実施</p> <p>◆環境マネジメントシステム(KES)運用</p> <p>◆市内事業者の環境マネジメントシステム取得促進</p> <p>◆アダプトプログラム「美しいまちづくりまかせて！」事業実施</p> <p>◆「まちかどのごみ」ゼロの日の実施</p> <p>◆市民環境団体活動助成</p>	市内1事業所として、市が率先し環境マネジメントシステムの運用に取り組むとともに、市内事業者の取得促進を図る。また、市内事業者に対して、廃棄物の発生抑制・再使用の指導を行い、正しい分別によるリサイクルの推進を促進するとともに、建設業をはじめ各種事業活動などから発生する廃棄物の適正な処理・処分を行う。 市民自身のマナーや美化意識の向上のため、啓発活動や清掃活動の実施とともに、各種団体及び市民等による自主的な取組への支援を行う。			
		R5	R6	R7
	◆就学前環境教育推進	⇒	⇒	⇒
	◆環境マネジメントシステム(KES)運用	⇒	⇒	⇒
	◆市内事業者の環境マネジメントシステム取得促進	⇒	⇒	⇒
	◆「美しいまちづくりまかせて！」事業実施	⇒	⇒	⇒
	◆「まちかどのごみ」ゼロの日の実施	⇒	⇒	⇒
	◆市民環境団体活動助成	⇒	⇒	⇒
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
就学前環境教育推進【再掲】	環境市民ネットに委託し、市内幼稚園・保育園などに対して環境学習を実施する。	44	44	44
	R4実績: 地球レンジャーによる環境教育として大型紙芝居を作成・上演			
環境マネジメントシステム運用	環境マネジメントシステムの運用及び監査委員(市民・市内中学生)による監査を実施し、職員の環境配慮意識の向上を図る。	153	153	167
	R4実績: 環境マネジメントシステム(KES)監査の実施			
環境マネジメントシステム認証取得支援	市内事業者等による環境マネジメントシステムの認証取得を促進。	0	0	0
	R4実績: 実施なし			
美しいまちづくり事業(アダプトプログラム推進事業)	一定区画の公共の場所を養子にみため、市民が里親となって養子の美化(清掃等)を行い、行政が支援。	113	72	121
	R4実績: 登録 14団体			
市民総参加による市内美化活動	「環境月間」や「環境衛生週間」の周知啓発及び広く市民に参加していただく地域清掃の取組「まちかどのごみ」ゼロの日を実施するとともに、環境市民団体(水と緑を守る市民の会)に対し活動費の一部を助成。	1,620	1,394	1,800
	R4実績: ごみゼロ2回開催(6月・9月)参加者合計333名(176名・157名)			
美しいまちづくり条例啓発用路面ステッカー取付委託事業	市内の歩道にポイ捨て禁止啓発のステッカーを設置。	320	207	301
	R4実績: 路面ステッカー10枚貼替及び2枚新規貼付			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第1節 環境と発展の調和

②資源の循環利用

1 ごみの減量と再使用（2R）の推進		政策企画部、市民生活部		
これまでの取組（総括）		主な3年間の取組（総括）		
◆資源物収集の実施 ・定点回収実施 ・新たな資源物分別の検討 ◆奨励金による資源物収集の促進 ◆分別の啓発に向けた情報提供 ◆不用品情報の提供	3R(リデュース・リユース・リサイクル)のさらなる推進に向け、奨励金による自治会等での再資源化促進及びプラスチック製容器包装の分別啓発を行う他、小型家電リサイクルの更なる啓発や新たな資源物分別収集を検討する。また、分別への協力が図られるよう、啓発チラシ等による情報提供に努める。			
		R5	R6	R7
	◆資源物収集の実施 (新たな資源物分別の検討)		⇒	⇒
	◆奨励金による資源物収集の促進		⇒	⇒
	◆分別の啓発に向けた情報提供		⇒	⇒
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
資源物収集	空ビン、空缶、紙パック、ペットボトル、廃食用油の定点回収を実施。(一部シルバー人材センターへ委託)	59,830	59,038	63,120
	R4実績: 空ビン 286.42t 空缶 96.70t 紙パック 23.54t ペットボトル 170.30t 廃食用油 4,633ℓ			
小型家電回収	公共施設(市内10か所)で小型家電の回収を実施。	0	0	0
	R4実績: 回収 2,700kg			
プラスチック製容器包装回収	プラスチック製容器包装の収集を隔週の指定曜日で実施。(H27年1月開始)	0	0	0
	R4実績: 回収 435.63t			
再生資源化奨励事業	資源物の独自収集を行う自治会等の団体に対し、kg当たり4円の奨励金を支給。	7,500	5,955	7,000
	R4実績: 支給団体62、回収 1,732t			
ごみ分別アプリケーション導入	ごみの分別区分と住所毎の収集日について市民がスマートフォン等から検索できるアプリを導入。	400	220	264
	R4実績: ごみ分別アプリの導入準備			
ごみ減量・分別収集啓発チラシ作成	ごみ減量・リサイクル推進啓発に係る刊行物(ごみ分別啓発チラシ「ごみの分け方・出し方 資源物回収日程表」)を作成し、市内全戸に配付。	400	330	1,063
	R4実績: 全戸配布 1回			
【R4終了】 不用品情報の提供 (生活情報センター)	くらしの無駄をなくし、物資の有効利用を促進するために、ホームページや広報等で市民の不用品情報の提供を行う。	0	0	-
	R4実績: 登録総件数 51件			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第1節 環境と発展の調和

②資源の循環利用

2 資源の適切な循環利用と適正処理の推進		市民生活部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆可燃物・不燃物及び大型ごみ収集 ◆ごみ収集車民間委託 ・委託台数検討 ◆城南衛生管理組合との連携による収集体制整備	資源物の回収拠点の整備、効率的な収集活動の推進と、城南衛生管理組合の効率的な運営、処理施設の適切な維持管理の推進を実施する。			
	R5	R6	R7	
	◆可燃物・不燃物及び大型ごみ収集	⇒	⇒	
	◆ごみ収集車民間委託 推進委託台数検討	⇒	⇒	
◆城南衛生管理組合との 連携による収集体制整備	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
第三次八幡市一般廃棄物処理基本計画推進	ごみの処理に関する基本的事項を定めた計画に基づき、ごみ収集・処理を実施。 R4実績: 計画推進	0	0	0
可燃物・不燃物収集	可燃物収集(週2回)及び不燃物収集(隔週)の直営及び民間委託による収集を実施。 R4実績: 可燃物 11,011.66t 不燃物 1,886.51t	152,900	154,792	153,590
ふれあい訪問収集	可燃物・不燃物収集に際して、1人暮らし高齢者宅等への戸別訪問・収集を実施。 R4実績: 申請件数 285人、利用者 99人	0	0	0
大型ごみ収集	大型ごみについて、随時持ち込みを受け付けるとともに、予約制での戸別収集を実施。(有料) R4実績: 収集 453.00t	2,250	2,200	1,620
カラスよけネット等購入費助成	ごみの飛散防止と定点収集の促進を図るため、カラスよけネット等を購入した市内の自治組織等に対し、カラスよけネット購入費の一部を助成。 R4実績: 助成 新規 39件、更新 71件	230	230	230
城南衛生管理組合じんかい関係負担金	城南衛生管理組合での廃棄物処理に係る運営・建設経費について、構成団体として分担割合を負担。 R4実績: じんかい関係負担 607,306千円	618,310	607,306	732,690
城南衛生管理組合し尿関係負担金	城南衛生管理組合でのし尿処理に係る運営・建設経費について、構成団体として分担割合を負担。 R4実績: し尿関係負担 71,657千円	77,770	71,657	100,000

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第2節 安心・安全

①地域ぐるみでの防犯・交通安全対策の推進

1 犯罪の発生しにくいまちづくり		総務部、建設産業部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
<ul style="list-style-type: none"> ◆小中学校安全対策 ◆八幡警察署との連携による防犯啓発実施 ◆各種団体への活動支援 ◆防犯カメラ設置促進 <ul style="list-style-type: none"> ・設置補助制度運用 ・市設置カメラの更新 ◆道路照明のLED化推進 	犯罪防止と市民の防犯意識の向上を目的に、青色防犯パトロール車の継続運用や八幡警察署と連携した啓発、小中学校での防犯訓練や教職員研修を実施する。また、犯罪被害者等支援窓口を設置し、警察などの関係機関と連携した対応を行う。加えて、犯罪の未然防止に向け、防犯カメラ新設に対する補助を実施するとともに、老朽化した水銀灯とナトリウム灯のLED化を推進する。			
		R5	R6	R7
	◆小中学校安全対策	⇒	⇒	⇒
	◆八幡警察署との連携による防犯啓発実施	⇒	⇒	⇒
	◆各種団体への活動支援	⇒	⇒	⇒
	◆防犯カメラ設置促進 (設置補助制度運用) (市設置カメラの維持管理)	⇒	⇒	⇒
	◆道路照明のLED化推進	⇒	⇒	⇒
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
防犯対策事業(危機管理課)	市内各種団体との連携による防犯対策の推進に向け、八幡防犯協会、八幡防犯推進委員協議会、八幡市暴力追放対策協議会の活動を支援。	550	550	550
	R4実績: 負担金:360千円、補助金:190千円			
防犯対策事業(総務課)	各種団体との連携による防犯対策の推進に向け、社会を明るくする運動推進委員会(綴喜地区及び市内)及び八幡地区保護司会の活動を支援。	220	219	220
	R4実績: 保護司28人、社会を明るくする運動構成員28団体			
青色防犯パトロール車運用	犯罪防止と市民の防犯意識の向上を目的に青色防犯パトロール車を運用。	0	0	0
	R4実績: 定期パトロール実施			
防犯カメラ設置事業	犯罪未然防止のため、防犯カメラ新設への助成とともに、市設置防犯カメラの維持管理を行う。	2,450	1,528	2,400
	R4実績: 市設置分95台維持管理、設置補助金:1件			
小中学校安全対策【再掲】	児童生徒及び教職員の防犯意識向上に向け、小学校1年生・4年生を対象とした危機管理プログラム研修及び各小中学校での防犯訓練を実施。	1,016	852	1,016
	R4実績: 職員研修実施、対象児童 994人			
犯罪被害者等支援事業	犯罪被害者等の相談支援窓口を設置し、見舞金の支給や警察など関係機関と連携した支援を行う。また、市民等から寄贈された古本の売却代金を犯罪被害に遭われた人への支援活動に役立てる「ホンデリングプロジェクト」に参加し、支援啓発を実施。	560	259	560
	R4実績: ホンデリングプロジェクト冊数:832冊			
道路照明新設・維持補修事業	道路照明の維持補修を行うとともに、道路照明のLED化に取り組む。	50,650	45,530	50,200
	R4実績: 道路照明LED化ナトリウム灯 77灯、蛍光灯 4灯			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第2節 安心・安全

①地域ぐるみでの防犯・交通安全対策の推進

2 詐欺被害や消費者トラブルの防止		政策企画部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆消費者被害の防止に向けた啓発活動の実施 ◆関係機関との連携による問題解決サポート ◆小中学校での消費者教育実施	消費者被害の未然防止に向け、警察など関係機関とも連携し、高齢者から若年者まで様々な世代に対応した消費者教育及び啓発を実施する。また、被害発生時には、関係機関と連携し問題の解決へのサポートを行う。			
	R5	R6	R7	
	◆消費者被害の防止に向けた啓発活動の実施	⇒	⇒	
	◆関係機関との連携による問題解決サポート	⇒	⇒	
◆小中学校での消費者教育実施	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
消費生活相談	生活情報センターにおける消費生活に関する相談受付及び関係機関との連携による問題解決サポートを行う。 R4実績: 相談 518件	14,975	14,876	14,892
消費者啓発活動	消費生活に関する知識・理解を深める生活情報センター寄席、くらしのセミナー、夏休みこどもセミナーを開催。 R4実績: 生活情報センター寄席開催 参加者461人	1,215	1,229	1,296
消費者教育	小中学生も消費者としての力を身につけられるよう、学校の授業において消費生活について学ぶ消費者教育講座を実施。 R4実績: 消費者教育講座 小学校3校 中学校3校 中学校3校 テキスト配付 394冊	72	49	72
消費者啓発活動(街頭啓発講師派遣)	消費者被害防止に向けた啓発活動及び市民等の依頼に応じた講師派遣を実施。 R4実績: 街頭啓発 9回 講師派遣 3回 参加者46人	0	0	0
消費生活情報提供	消費者行政この一年や啓発グッズを活用し、消費生活に関する意識啓発を図る。 R4実績: 消費者行政この一年作成 150部 教育小冊子購入 2種類 950冊 啓発グッズ購入 3種類 6,650個	239	446	640
八幡市生活情報センターだより発行	消費生活に関する最新の情報を提供し、消費者意識の啓発を行う。 R4実績: 発行 年6回	1,271	1,251	1,396
家庭用品品質表示法に基づく立入検査	家庭用品品質表示法に基づき、市内店舗等へ立入検査を行う。 R4実績: 立入検査4店舗	0	0	0
消費生活用製品安全法に基づく立入検査	消費生活用製品安全法に基づき、市内店舗等へ立入検査を行う。 R4実績: 実績なし	0	0	0

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第2節 安心・安全

①地域ぐるみでの防犯・交通安全対策の推進

3 交通事故の発生しにくいまちづくり		建設産業部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆交通安全指導員による児童生徒の通学見守り ◆交通安全施設整備 ・「ゾーン30」設定・推進 ・道路バリアフリー化工事 ◆通学路安全対策工事	児童生徒等の通行の安全確保に向け、交通安全指導員を配置し見守りを行うとともに、八幡警察署を構成団体を含む八幡市交通安全協議会と連携し、市内の交通安全確保のための啓発活動等を実施する。また、特に児童生徒の通学時の交通安全確保に向け、通学路の安全調査を行う。			
	R5	R6	R7	
	◆交通安全指導員による児童生徒の通学見守り	⇒	⇒	
	◆交通安全施設整備 (「ゾーン30」設定・推進) (道路バリアフリー化工事)	⇒	⇒	
◆通学路安全対策工事	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
交通安全指導員による通園通学安全指導 【再掲】	市内通学路各所において、交通安全指導員を配置し、見守りや交通指導を実施。 R4実績： 指導員14人配置	4,531	4,058	4,553
交通安全対策協議会活動助成	交通対策の検討及び交通安全教育・啓発運動を行う交通安全対策協議会に対し、活動費の一部を助成。 R4実績： 構成 27団体	990	990	990
高齢者運転免許証自主返納支援事業	高齢者が当事者となる交通事故防止対策として、70歳以上の運転免許証保持者を対象に記念品を贈呈し、運転免許証の自主的な返納を図る。 R4実績： 返納 254件	766	765	750
通学路安全対策工事	児童生徒の通学時の安全確保を図るため、通学路の安全対策工事を実施。 R4実績： 実績なし	0	0	0
交通安全施設整備	交通安全施設の新設及び維持補修を実施。特に、歩道の安全対策に向けたバリアフリー化や児童生徒の交通安全確保に向けた「ゾーン30(30km制限区域)」の設置を進める。 R4実績： バリアフリー化 1か所	20,400	17,928	26,600
放置自転車等対策(放置自転車等撤去移送)	自転車放置禁止区域内の放置自転車の撤去・保管および返却を実施するとともに、放置防止の啓発・指導を行う。 R4実績： 撤去回数62回、撤去台数26台	4,860	5,029	5,146
放置自転車等対策(駐輪場管理運営)	放置自転車等対策として石清水八幡宮自転車駐車場の管理運営を行う。 R4実績： 利用率 自転車19.1%、バイク21.8%	7,500	7,309	6,954

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第2節 安心・安全

①地域ぐるみでの防犯・交通安全対策の推進

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
通学路調査	児童生徒の通学時における交通安全を徹底するため、各学校の報告に基づき通学路の安全状況を把握し、必要に応じて関係機関と連携を行う。	0	0	0
	R4実績: 危険箇所把握			
国道1号歩道整備事業 【再掲】	歩行者、自転車の安全性確保、交通の円滑化のため、国が進める国道1号の歩道整備事業の用地事務の一部を受託。	1,250	669	2,000
	R4実績: 用地事務受託による用地取得			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第2節 安心・安全

②自助・共助・公助による防災・減災対策の推進

1 危機管理体制の強化		総務部、上下水道部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
<ul style="list-style-type: none"> ◆危機管理体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画推進 ・業務継続計画推進 ◆新庁舎整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計 ・実施設計 ・着工 ・竣工、開庁 ◆防災対策推進 ◆防災備蓄品整備 ◆災害時協定締結・拡大 	災害時の災害対策本部・警戒本部の設置による対応や災害備蓄品の計画的購入及びトイレカーの導入に向けたクラウドファンディングの実施等の避難所環境整備、事業者等との協定拡充等を進めるとともに、被災時にも適切に業務を進められるよう、業務継続計画の検証等を行う。また、防災機能を有した新庁舎の整備完了により、旧庁舎の解体及び再整備を推進する。			
		R5	R6	R7
	◆危機管理体制の整備 (地域防災計画推進) (業務継続計画推進)	⇒	⇒	⇒
	◆旧庁舎等整備推進 (方向性検討)	⇒	⇒	⇒
	◆防災対策推進	⇒	⇒	⇒
	◆災害時協定拡大 (拡大検討)	⇒	⇒	⇒
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
八幡市地域防災計画推進	市域の防災活動の総合的かつ計画的な推進を図るため、地域防災計画に基づく取組を進める。	66	66	60
	R4実績: 計画改訂			
八幡市業務継続計画(BCP)推進	災害時に優先すべき業務の特定及び業務の執行体制や対応手順、業務の継続に必要な資源の確保等を図るための業務継続計画を推進。	0	0	0
	R4実績: 八幡市業務継続計画推進			
一般災害対策活動	災害発生時に警戒態勢を整備し、状況把握や被害の軽減を図るとともに、防災会議の開催や通常時の防災活動を進める。	7,800	6,225	7,800
	R4実績: 対策本部 0回、警戒本部3回			
防災備蓄品整備	災害応急活動に必要な物資(食料、災害用簡易トイレ等)を計画的に備蓄・更新。	4,910	4,170	2,239
	R4実績: アルファーマイ2,600食、ライスクッキー1,200食、ビスケット1,200食、飲料水6,240本、液体ミルク144缶、ロール畳100巻、排便処理袋セット2,000回分、生理用ナプキン3,626枚			
防災アプリケーション運用	市民への避難情報をはじめとする災害情報や各種市政情報の発信を目的とし、防災アプリを運用。	2,244	2,244	2,244
	R4実績: 運用継続			
旧庁舎及び敷地環境整備事業 【再掲】	ひろば機能を確保しつつ旧庁舎の解体及び再整備や庁舎敷地の環境整備を行う。	35,500	34,653	73,800
	R4実績: 防災倉庫、現庁舎安全対策等整備			
【R4終了】 庁舎整備事業	防災拠点機能を確保し、市民に開かれた庁舎になるよう整備を行う。	4,843,600	4,811,219	-
	R4実績: 竣工、開庁			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第2節 安心・安全

②自助・共助・公助による防災・減災対策の推進

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
【R4終了】 庁舎整備事業 (IT関連経費) 【再掲】	新庁舎開庁に向け、ネットワーク・サーバ・通信回線網等ITインフラの整備を行う。また、既存機器移設、新規設置PCの購入及び内部事務システムの導入を行う。 R4実績: ITインフラの整備	808,600	802,600	-
ドローン運用体制の構築	災害時における情報収集能力の向上に向け、ドローンを活用できるよう、操作講習を受講するとともに、機体の整備を行う。 R4実績: 6名に実施(消防2、商観1、秘広1、防災1)	240	237	476
公共下水道雨水事業 【再掲】	内水排除対策の充実に向け、雨水地下貯留施設の設置及び排水路の改修等を行う。 R4実績: 橋本地区雨水排水管路布設工事	40,000	38,810	16,000
災害時使用井戸の確保	災害時の手洗い用水の確保に向け、市内井戸の登録とともに井戸水の水质調査を行う。 R4実績: 登録0件	33	7	33
小学校屋内運動場空調設備等整備【再掲】	生徒の熱中症対策及び避難所としての環境整備に向け、小学校屋内運動場等の空調設備の整備を実施。 R4実績: くすのき・さくら小学校整備	260,700 (繰越:129,400)	130,220	84,700
子ども防災デイキャンプ	小学生を対象としたマンホールトイレ組立等の体験型防災訓練を実施。 R4実績: 46名(53名応募、内7名不参加)で実施	65	40	65
市町村広域災害ネットワーク	構成市町村において地震等の災害が発生し、被災団体独自で十分な応急措置が困難な際、相互に救援協力し、応急・復旧対策を行う。 R4実績: 会議3回	72	48	135
災害時応援協定の締結・運用	災害時の応急活動への相互支援に係る協定を事業者等と締結し、災害時の緊急需要に備える。 R4実績: 協定締結新規2件	0	0	0
【新規】 トイレカー導入	大規模災害時における避難所等のトイレ対策としてクラウドファンディングを活用し、自走式トイレカーを導入する。 R4実績: -	-	-	1,500
八幡市国民保護計画推進	八幡市国民保護計画に基づき、有事の際の市民の生命、身体、財産の迅速・的確な保護を推進。 R4実績: 計画推進	100	0	100
自衛官募集	政令で定めるところにより、自衛官を募集。 R4実績: 広報やわた掲載3回	40	32	40

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第2節 安心・安全

②自助・共助・公助による防災・減災対策の推進

2 自助・共助による防災・減災		総務部、健康福祉部、建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆防災ハザードマップ更新・全戸配布・周知拡大 ◆自主防災組織活動支援 ◆災害時要援護者台帳への登録促進 ◆福祉避難所の確保・運営・備蓄品の更新	市民の防災力向上に向け、防災・減災対策等に関する情報提供や啓発を拡充する。また、障がいや高齢により配慮が必要な人が、災害時に安心して避難できるようにするために必要な取組を行うとともに、被災者への支援等を行う。			
	R5	R6	R7	
	◆防災ハザードマップの周知拡大	⇒	⇒	
	◆自主防災組織活動支援	⇒	⇒	
	◆災害時要援護者台帳への登録促進	⇒	⇒	
	◆福祉避難所の確保・運営(備蓄品の更新)	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
市民の防災力向上啓発	防災ハザードマップ等を活用した出前講座の実施や地域の防災訓練でのブース展示、パネル展示等による防災知識・情報の提供。 R4実績: 防災出前講座22回	0	0	0
マイ防災マップ及びタイムライン等策定支援	市内各地域での自発的な防災マップやタイムライン等の策定を支援。 R4実績: 説明会 2回 作成ワークショップ 6回 作成 5自治会	0	0	0
避難所運営マニュアル配布	各避難所の運営マニュアルを作成し、各自治会へ配布。 R4実績: 改訂を検討	0	0	0
J-ALERT新型受信機運用	特別警報等の情報伝達強化に向け、地震や武力攻撃など緊急事態発生時に、国からの緊急情報を住民に速やかに伝達する「J-ALERT」を運用。 R4実績: 全国一斉試験 6回	0	0	0
自主防災組織活動推進【再掲】	自主防災推進協議会に対し、活動費の一部を助成し、自主防災組織の連携強化及び活動支援を図るとともに、未組織地域への啓発活動等による設立支援を実施。また、防災訓練等に際し訓練支援を実施。 R4実績: 自主防災推進協議会への活動助成	1,050	930	1,100
地区防災計画策定支援	市内各地域における自発的な地区防災計画の策定を支援。 R4実績: 実績なし	0	0	0
要配慮者利用施設の避難確保計画策定・推進支援	浸水想定区域内の要配慮者利用施設に対し避難確保計画の策定・推進を支援。 R4実績: 計画策定 2施設	0	0	0
災害時要援護者支援対策事業	災害時に配慮が必要な人およびその支援者について、災害時要援護者台帳への登録を促進。 R4実績: 登録 289人	700	588	860

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第2節 安心・安全

②自助・共助・公助による防災・減災対策の推進

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
福祉避難所の確保	福祉避難所の確保とともに、運営マニュアルの整備を進める。	0	0	0
	R4実績: 協定締結施設 0施設 全12施設			
福祉避難所の災害備蓄品整備	福祉避難所向け災害備蓄品を計画的に備蓄・更新。	556	449	646
	R4実績: 計画的更新の実施			
火災等見舞金等支給	市内で火災等の被害に遭った市民に対し、要綱に基づき見舞金等を支給。	964	964	512
	R4実績: 見舞金10件、見舞品6件			
被災者住宅等支援事業助成	床上浸水等の被災者に対し、住宅の補修や一時転居等の費用の一部を助成。	1,000	0	1,000
	R4実績: 実績なし			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第2節 安心・安全

②自助・共助・公助による防災・減災対策の推進

3 災害に強いまちづくり		総務部、建設産業部、上下水道部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
<ul style="list-style-type: none"> ◆河川維持補修 ◆治山対策推進 ・危険木緊急伐採 ◆住宅耐震化緊急促進アクションプログラム策定・推進 ◆木造住宅耐震化促進 ・耐震診断士派遣 ・木造住宅耐震改修助成 	治水対策については、関係市町村で構成する木津川治水会及び宇治川・桂川改修促進期成同盟会と連携し、国への治水関係事業の推進に係る要望活動を継続する。治山対策については、京都府の「災害に強い森づくり事業」を活用した危険木除去を継続する。住宅の耐震化については、「八幡市建築物等耐震改修促進計画」に定める住宅耐震化率95%以上の令和7年度末達成に向け、普及啓発を行うとともに、耐震改修を行う住宅所有者への支援に取り組む。			
	R5	R6	R7	
	◆河川維持補修	⇒	⇒	
	◆治山対策推進 (危険木緊急伐採)	⇒	⇒	
	◆住宅耐震化緊急促進アクションプログラム推進	◆住宅耐震化緊急促進アクションプログラム見直し	⇒	
◆木造住宅の耐震化促進 (耐震診断士派遣) (耐震改修助成)	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
八幡市雨水排水基本計画推進	市全域の雨水排水に係る総合的な調整等を行うため策定した計画に基づき、各種施策を推進。 R4実績: 計画推進	0	0	0
公共下水道雨水事業【再掲】	内水排除対策の充実に向け、雨水地下貯留施設の設置及び排水路の改修等を行う。 R4実績: 橋本地区雨水排水管路布設工事	40,000	38,810	16,000
污水地震対策事業	下水道施設(汚水管渠)の耐震化など総合的な地震対策を行う。 R4実績: 耐震化 35箇所等	37,600	32,951	56,000
【充実】 河川維持補修	水害対策及び景観・環境の維持等を図るため、河川の浚渫や補修等の維持管理を行う。 R4実績: 河川・水路等の維持管理	44,680	44,405	61,870
川北排水機場維持管理	6市2町の負担により管理運営する川北排水機場について、適正に維持管理を行う。 R4実績: 委託 4件	12,030	13,231	6,880
八幡排水機場維持管理	治水対策として、ゲートの閉鎖及びポンプ運転により内水排除を行う排水機場の操作及び維持管理を行う。 R4実績: 操作実日数 1日	12,290	11,865	12,450
樋門維持管理	橋本樋門及び上津屋樋門の維持管理を行い、内水排除対策を進める。 R4実績: 操作実日数 2日	780	773	770
木津川治水会要望活動	木津川の治水事業の促進並びに水防体制の強化に向けた研究・要望活動等を行う木津川治水会に加入し、要望活動を実施。 R4実績: 要望2回	164	127	65

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第2節 安心・安全

②自助・共助・公助による防災・減災対策の推進

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
宇治川・桂川改修促進期成同盟会要望活動	宇治川・桂川改修工事の促進に向けた要望活動等を行う宇治川・桂川改修促進期成同盟会に加入し、要望活動を実施。	57	57	72
	R4実績: 要望2回			
地籍調査事業【再掲】	災害復旧(土地境界の復元)の迅速化に向け、地籍調査を実施。	6,170	5,850	14,600
	R4実績: 西山地区0.25km ² の地籍調査			
危険木緊急伐採	人家裏の危険木について、伐採・除去を行う。	163	0	158
	R4実績: 実績なし			
ブロック塀等対策助成	避難路の確保を図るため、道路に面するブロック塀の撤去並びに生垣への改修を行った方に対し、改修費の一部を助成。	500	345	500
	R4実績: 助成:7件			
土地改良施設維持管理適正化事業負担金	川北排水機場の維持管理及び土地改良施設改修等事業費負担を通じて、農地等の水害被害防止・軽減を図る。	430	430	430
	R4実績: 工事2件に対し負担			
木造住宅耐震診断事業	木造住宅の耐震性の向上を図るため、京都府木造住宅耐震診断士を派遣して耐震診断を実施。	1,820	1,820	2,340
	R4実績: 派遣35件			
木造住宅耐震改修助成事業	耐震性の不十分な木造住宅の耐震改修や耐震シェルター設置等に係る費用の一部を助成。	19,119	19,119	31,600
	R4実績: 耐震改修 24件(うち簡易 8件)			
大規模建築物等耐震化緊急支援事業	旧耐震基準により着工された不特定多数の者が利用する建築物等について、耐震化に要する費用の一部を助成。	0	0	0
	R4実績: 実績なし			
マンション耐震診断助成事業の検討	旧耐震基準により着工されたマンション(共同住宅)の耐震性向上のため、耐震診断に要する費用の一部助成を検討。	0	0	0
	R4実績: 調査・検討			
男山緑地景観保全地区防災点検	男山緑地景観保全のため、防災点検を行う。	0	0	3,000
	R4実績: —			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第2節 安心・安全

③火災予防・消防活動の推進

1 火災予防		消防本部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆火災予防意識の向上に向けた啓発活動実施 ◆子ども防火服購入・活用 ◆女性防火推進隊活動支援	防火意識の高揚及び防火管理体制の充実を図るため、市内事業所や子ども・高齢者等を対象とした予防啓発活動及び消防訓練指導を実施する。			
	R5	R6	R7	
	◆火災予防意識の向上に向けた啓発活動実施	⇒	⇒	
	◆女性防火推進隊活動支援	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
災害対策啓発	火災予防運動の実施及び事業所等における防火意識の向上に向けた訓練指導を実施。また、事業所等への立入検査を実施し、防火管理の徹底を指導。	450	141	1,100
	R4実績: 火災予防運動 年2回 訓練指導 事業所53回 保育園・幼稚園14回 甲種防火管理者取得講習会 年1回			
女性防火推進隊活動支援	高齢者宅への防火訪問指導や文化財査察等予防啓発を実施する女性防火推進隊の活動支援及び入隊促進を行う。	1,100	611	1,280
	R4実績: 高齢者防火訪問 21回 街頭広報 10回 文化財査察 21回			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第2節 安心・安全

③火災予防・消防活動の推進

2 消防力の強化		消防本部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆消防力の強化に向けた取組の実施 ◆消防団活動の支援	各種訓練や研修を通じた消防職員の育成、NET119緊急通報システムや電話通訳センターを介した三者間同時通訳の導入、消防車両の更新を含めた消防資機材の整備等により消防力を強化するとともに、大規模災害に備え消防相互応援協定を強化する。また、消防分署の設置や京都府南部9消防本部が共同で行う京都府南部消防指令センターの設置に向けて取り組む。			
	R5	R6	R7	
	◆消防力強化に向けた取組の実施	⇒	⇒	
	◆消防分署設置 (令和6年1月運用開始予定)	⇒	⇒	
	◆京都府南部消防指令センター共同運用(検討)	⇒	⇒	
	◆消防資機材の整備	⇒	⇒	
	◆消防団活動の支援	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
消防本部運営	市の消防・救急活動の拠点となる八幡市消防本部を運営し、必要職員の確保、研修受講や資格取得等を通じた人材育成を図る。	704,349	693,169	742,220
	R4実績: 研修等受講23回 延べ134人 資格取得 7科目 20人			
常備消防活動	災害発生時の火災出動や救助・警戒活動を行うとともに、出動に備えた訓練等を実施。			
	R4実績: 出動 火災21件 救助62件 その他災害320件			
救急活動	救急出動を行うとともに、出動に備えた訓練等を実施。			
	R4実績: 救急出動 4,288件			
救急安心センター事業負担金	京都府健康福祉部医療課からの依頼に基づき、令和2年度から府内一円で導入される救急安心センター事業(救急電話相談窓口)の実施に向け、事業費の一部を負担する。			
	R4実績: 負担金 737千円			
緊急消防援助隊	緊急消防援助隊に係る訓練の実施及び資機材の整備・維持管理を行う。	210	9	0
	R4実績: 全国合同訓練及び近畿ブロック合同訓練参加			
消防応援協定の拡充	大規模災害に備え、隣接市町との消防相互応援協定の強化を図る。	0	0	0
	R4実績: 新名神高速相互応援協定に係る他市町との協議			
火災防御計画策定・推進	大規模火災を想定した特定地域における火災防御計画を策定・推進。	0	0	0
	R4実績: 地域別火災防御計画推進			
消防団運営・活動支援	地域の消防力向上に向け、消防団員の加入促進や各種訓練・活動支援を行う。	24,700	20,326	24,640
	R4実績: 京都府消防操法大会、各種訓練等			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第2節 安心・安全

③火災予防・消防活動の推進

具体的事業名	概要・実績		R4		R5
			予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
単独水利施設整備	市内各所の消火栓の新設及び緊急修繕に係る費用を負担。		13,950	12,661	9,000
	R4実績:	緊急修理1ヶ所、既設整備19ヶ所			
消防施設維持管理	消防車や救急車の点検整備及び消防施設の維持管理、消火栓等の維持管理・更新等を行う。		39,470	38,017	189,100
	R4実績:	緊急車両車検、法定点検等			
【充実】 機械器具整備	消防車、救急車の更新及びそれらに伴う積載資機材の整備を行う。		42,400	36,391	95,500
	R4実績:	高規格救急自動車、高度救命資機材			
水防対策	淀川右岸水防事務組合及び淀川・木津川水防事務組合による水防活動費を負担。		2,400	1,593	2,430
	R4実績:	新型コロナウイルスの為各訓練中止			
【充実】 消防分署設置	増加傾向にある災害出動に対応するとともに、市内東部地区における警備体制の強化をはかる。		471,000	112,653	692,300
	R4実績:	消防分署新築工事、消防分署新築工事監理業務、消防分署新築工事監督支援業務			
NET119緊急通報システム利用	聴覚や言語の障がいがある方からの通報等に対応できるよう、通報者が滞在する直近の消防本部に位置情報を送るシステムを運用する。		1,130	1,072	1,130
	R4実績:	NET119緊急通報システム運用			
三者間同時通訳業務	外国人市民等からの119番通報に迅速に対応できるよう、電話通訳センターを介した三者間同時通訳を運用する。		330	330	330
	R4実績:	三者間同時通訳運用			
京都府南部消防指令センター共同運用	京都府南部9消防本部が個別に運用している消防指令センターを1か所に集約し、消防指令業務(119番受付、部隊の出動指令、指令管制等)を共同で行う。(八幡市は令和12年度に運用開始)		640	181	1,950
	R4実績:	京都府南部指令センター共同運用負担金			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第3節 持続可能な暮らしの基盤づくり

①生活都市としての魅力の向上

1 居住地としての八幡市の魅力発信		建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆八幡市住生活基本計画推進 ◆住宅新築等の支援	居住地としての八幡市の魅力を発信するため、八幡市住生活基本計画や八幡市都市計画マスタープラン等に基づき、各施策等を進める。	R5	R6	R7
	◆八幡市住生活基本計画推進	⇒	⇒	⇒
	◆住宅新築等の支援	⇒	⇒	⇒
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
八幡市住生活基本計画推進	「住生活」にかかる幅広い分野での総合的かつ具体的な計画となる住生活基本計画後期基本計画に基づく取組を推進する。	0	0	0
	R4実績: 後期基本計画推進			
住生活総合調査	住宅及び環境への評価や住宅改善等の居住者の意識・意向を把握するため、5年毎に調査を実施。	0	0	0
	R4実績: 実績なし			
八幡市都市計画マスタープラン推進 【再掲】	都市計画マスタープランを推進し、良好な住宅地の創出を検討。	0	0	0
	R4実績: 計画推進			
立地適正化計画推進 【再掲】	居住機能や医療・福祉・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実等を計画的に行うための立地適正化計画に基づき、コンパクトシティに向けた取組を推進する。	0	0	0
	R4実績: 計画推進			
優良建築物等整備事業等の検討	「良好な住居環境を創出する優良なマンションの建替えの円滑化に関する基本的な方針」に基づき、優良建築物等整備事業の活用等を検討。	0	0	0
	R4実績: 調査・検討			
特定優良賃貸住宅の供給に関する法律に係る許可等	特定優良賃貸住宅の供給計画の認定、特定優良賃貸住宅の建設又は管理の状況に係る報告の徴収等を行う。	0	0	0
	R4実績: 実績なし			
勤労者住宅資金貸付事業	市内に居住する勤労者に対し、住宅の新築・増改築及び修繕に係る資金について、長期融資を実施。	50	0	50
	R4実績: 実績なし			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第3節 持続可能な暮らしの基盤づくり

①生活都市としての魅力の向上

2 男山地域の再生		政策企画部、健康福祉部、建設産業部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆男山地域まちづくり連携協定に基づく取組推進 ・だんだんテラス運営支援 ・おひさまテラス運営支援 ・絆ネット構築支援 ・地域包括ケア推進	「男山地域まちづくり連携協定」に基づき、「だんだんテラス」の運営支援や「男山やってみよう会議」の活動支援、地域子育て支援施設の活動支援、絆ネットワークの構築支援など各種取組を継続するとともに、新たな取組を関係機関と連携して検討する。また、同協定締結及び男山地域再生基本計画策定から10年を迎えたことを踏まえ、これまでの成果を確認しつつ、今後の取組方針を策定する。加えて、団地型分譲集合住宅の建替支援を進める。			
	R5	R6	R7	
	◆男山地域まちづくり連携協定に基づく取組推進 (だんだんテラス運営支援) (おひさまテラス運営支援) (地域包括ケア推進)	⇒	⇒	
◆男山地域の持続可能なまちづくりに向けた再調査・今後の取組方針策定	◆今後の取組方針に基づく取組推進		⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
男山地域再生基本計画推進(ハード事業総括)	「UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン」に基づく事業及び住民等による団地型分譲集合住宅の再生事業の進捗に合わせ、都市計画等に関する検討を行う。 R4実績: 短期的・中期的な取組の検討	0	0	0
分譲マンション建替検討費助成	マンションの建替を検討する管理組合に対し、検討の初期段階での合意形成に向けた基礎的な調査及び検討に要する費用を助成。 R4実績: 実績なし	0	0	0
マンション建替組合認可・指導等	法人格を有するマンション建替組合の設立及び権利変換手法による関係権利の再建後のマンションへの円滑な移行等に関する認可・指導を行う。 R4実績: 実績なし	0	0	0
「男山地域まちづくり連携協定」に基づく取組の方策の検討	協定締結の4者(京都府、UR、関西大学、八幡市)の連携により、各種取組の方策を検討。 R4実績: 連携協議会開催 月2回	0	0	0
【新規】男山地域の持続可能なまちづくりに向けた再調査	男山地域まちづくり連携協定締結及び男山地域再生基本計画策定から10年を迎え、これまでの成果を確認するとともに、今後の取組方針を策定する。 R4実績: —	—	—	5,700
だんだんテラス運営支援	地域コミュニティ拠点施設「だんだんテラス」の運営支援及び活動費に対し助成。 R4実績: 365日開設 だんだん通信発行	300	162	800
地域コーディネーター配置	だんだんテラスに様々な団体との連携や団体間を結びつける役割のコーディネーターを配置。 R4実績: 配置 1名	3,000	3,000	3,000
男山やってみよう会議活動支援	地域住民が主体性を持って取り組む各種活動への支援を行う。 R4実績: やってみよう会議開催 毎月開催	0	0	0

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第3節 持続可能な暮らしの基盤づくり

①生活都市としての魅力の向上

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
子育て支援事業費助成 【再掲】	男山地域の地域子育て支援施設「おひさまテラス」 に対し、子育て支援事業費の一部を助成。 R4実績： 利用児童数 延889人	1,546	1,546	1,547
【R4終了】 絆ネットワーク構築支援事業 【再掲】	男山地域にコーディネーターを配置し、地域のネット ワーク構築等を支援。R5年度より「わたしたちの談 話」プロジェクトと統合し充実を図る。 R4実績： コーディネーター配置1名	3,650	3,650	-
男山地域再生・地域包括ケア 事業助成 【再掲】	地域包括ケア推進拠点用地賃借料の助成。 R4実績： 助成1箇所	1,310	1,299	1,310

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第3節 持続可能な暮らしの基盤づくり

①生活都市としての魅力の向上

3 空き家の適正な管理と活用		建設産業部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆空き家実態調査 ◆空き家利活用方策検討・実施 ◆固定資産税納税通知書へ空き家適正管理啓発文書を同封	空き家等の状態及び所有者の意向を調査・把握し、適正管理について指導を行うとともに、「八幡市空家等対策計画」に基づき、官民協働による空き家の流通及び利活用の促進に取り組む。			
	R5	R6	R7	
	◆空き家利活用方策検討・実施	⇒	⇒	
	◆空家対策等計画 (計画推進)	⇒	⇒ (計画見直し)	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
管理不全空き家対策	放置され、管理不全な状態にある危険な空き家等についての、その現状把握と所有者への適正管理依頼を行う。	0	0	0
	R4実績: 改善のあった空き家 15件			
空家等対策計画策定・推進	空き家の官民協働による流通促進・利活用などの対策を総合的かつ計画的に実施するための計画に基づく取組を推進。	0	0	0
	R4実績: 計画推進			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第3節 持続可能な暮らしの基盤づくり

①生活都市としての魅力の向上

4 公営住宅の適正管理		建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆市営住宅ストック総合活用計画推進 ◆市営住宅長寿命化計画推進 ◆公営住宅の適正管理 ・長寿命化改善実施 ・バリアフリー化改善実施 ・耐震化実施	社会経済情勢の変化と施策の効果に対する評価を踏まえ、「八幡市営住宅等ストック総合活用計画」及び「八幡市営住宅等長寿命化計画」を推進する。また、老朽化した非木造市営住宅の長寿命化、安全性の確保、居住性の向上を図る。			
	R5	R6	R7	
	◆市営住宅ストック総合活用計画推進	⇒	⇒	
	◆市営住宅長寿命化計画推進	⇒	⇒	
◆公営住宅の適正管理 (長寿命化改善実施) (バリアフリー化改善実施) (耐震化実施)	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
市営住宅ストック総合活用計画推進	今後の集約・建替え及び長寿命化工事等を行うにあたり、基本的な指針となるストック総合活用計画に基づく取組を推進。 R4実績: 計画推進	0	0	0
市営住宅長寿命化計画推進	市営住宅を今後も維持・活用していくため、市営住宅等長寿命化計画に基づく取組を推進。 R4実績: 計画推進	0	0	0
公営住宅維持管理	公営住宅について、計画に基づく長寿命化や耐震化を行うとともに、空家改修やバリアフリー化等を実施し、適正な維持管理を行う。 R4実績: (管理戸数) 市営住宅 175戸 改良住宅 406戸 福祉住宅 6戸 府営住宅 194戸 長寿命化改善実施 一丁地 5戸 バリアフリー化実施 一丁地 5戸 上ノ段1戸、小松1戸、三反長1戸、軸1戸	261,452	260,827	235,320

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第3節 持続可能な暮らしの基盤づくり

②公共施設の適正管理とインフラ施設の更新・耐震化・長寿命化

1 公共施設の適正管理		総務部、建設産業部、こども未来部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆公共施設等総合管理計画及び個別施設計画推進 ◆指定管理者制度推進 ◆建築物耐震改修促進計画に基づく耐震化促進 ◆市有財産の適切管理 ◆固定資産台帳の更新	「八幡市公共施設等総合管理計画」及び各長寿命化計画等の個別施設計画に基づく適正な管理を進めるとともに、「八幡市建築物耐震改修促進計画」に基づき効果的な建築物の耐震化を促進する。また、指定管理者制度をはじめとする官民連携手法の導入など、民間の資金や創意工夫を活用する。			
	R5	R6	R7	
	◆公共施設等総合管理計画及び個別施設計画推進	⇒	⇒	
	◆指定管理者制度推進 (指定管理者選定(1施設))	⇒	⇒	
	◆建築物耐震改修促進計画 (耐震化促進)	⇒	⇒ (計画改定)	
	◆市有財産の適切管理	⇒	⇒	
	◆財産管理台帳システム運用	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
八幡市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画推進	八幡市公共施設等総合管理計画及び個別施設ごとの具体の対応方針を定める個別施設計画に基づき、適正な管理を推進する。	0	0	0
	R4実績: 計画推進			
八幡市建築物耐震改修促進計画推進	建築物耐震改修促進計画に基づき、建築物の耐震診断及び耐震改修を促進。	0	0	0
	R4実績: 計画推進			
指定管理者制度の推進	公の施設の管理に民間事業者等が有するノウハウを活用することにより、サービスの質を向上させる。	50	32	50
	R4実績: 指定管理者選定 更新3施設			
庁舎管理	庁舎、附属施設の適切な管理・整備、庁舎内外の警備・清掃を行う。	161,649	147,841	208,340
	R4実績: 庁舎の維持管理			
旧庁舎及び敷地環境整備事業	ひろば機能を確保しつつ旧庁舎の解体及び再整備や庁舎敷地の環境整備を行う。	35,500	34,653	73,800
	R4実績: 防災倉庫、現庁舎安全対策等整備			
公用車維持管理	公用車(共用車、専用車)の車両管理及び維持管理の総括を行う。	17,959	15,831	18,290
	R4実績: 管理台数 公用車25台			
市有財産維持管理	市有地の適正な管理及び市有財産の維持管理の総括を行う。	290	289	315
	R4実績: 市有地の除草等			
財産管理台帳システム運用	公共施設等のマネジメントの推進に伴い、固定資産等の情報を集約した台帳を整備・更新する。	1,056	1,056	2,200
	R4実績: 維持管理に関するサポート			
法定外公共物管理	法定外公共物等について、「法定外公共物管理システム」の運用により適正な管理を行う。	1,270	1,270	1,290
	R4実績: システムの運用・管理			
旧学校施設管理	旧学校施設(旧四小・五小・東小)のグラウンド・体育館の管理	8,819	9,152	15,180
	R4実績: 旧学校施設の維持管理			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第3節 持続可能な暮らしの基盤づくり

②公共施設の適正管理とインフラ施設の更新・耐震化・長寿命化

2 快適な道路環境の整備		建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆橋の長寿命化修繕計画策定 ・計画に基づく修繕 ◆道路舗装修繕計画策定 ・計画に基づく修繕 ◆道路・橋りょうの点検 ・路面性状調査 ・道路附属物点検 ・橋りょう定期点検 ◆主要市道道路改良 ・実施設計 ・改良工事	快適な道路環境の整備のため、「道路舗装修繕計画」、「橋の長寿命化修繕計画」等の計画に基づく修繕を行う。また、生活道路となる市道の道路改良工事を順次実施する。			
	R5	R6	R7	
	◆橋の長寿命化修繕計画に基づく修繕	⇒	⇒	
	◆道路舗装修繕計画に基づく修繕	⇒	⇒	
	◆道路・橋りょうの点検(橋りょう定期点検)	⇒	⇒	
◆主要市道道路改良(改良工事)	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
橋りょう長寿命化補強補修	橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、定期的な点検を行い、市管理橋りょうの計画的・効率的な修繕を実施。	45,600	50,692	70,000
	R4実績: 詳細設計 2橋、補強補修工事 2橋、定期点検 116橋			
橋りょう長寿命化修繕計画推進	道路橋りょうの定期点検等を実施のうえ、修繕の方向性等を定めた「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づく修繕を推進。	1,350	1,837	0
	R4実績: 橋りょう長寿命化修繕計画改定			
道路附属物点検	道路照明やガードレールなどの道路附属物の点検を実施。	0	0	2,400
	R4実績: 職員による点検実施			
道路舗装修繕計画推進	修繕の方向性を定めた「道路舗装修繕計画」に基づく修繕を推進。	0	0	10,000
	R4実績: 継続推進			
市道維持補修(市道・下排水路等維持補修)	安全で快適な道路環境の整備に向け、排水路の浚渫や道路舗装の維持補修等を実施。	163,695	165,337	185,320
	R4実績: 道路・側溝等の維持管理			
主要道路改良事業	市内の主要な市道の道路改良工事を実施。	20,000	20,221	20,000
	R4実績: 橋本地域道路改良工事			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第3節 持続可能な暮らしの基盤づくり

②公共施設の適正管理とインフラ施設の更新・耐震化・長寿命化

3 上下水道事業の健全な運営		上下水道部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆上下水道事業経営推進 ・民間企業のノウハウ活用 ・会計システム更新 ・委託業者の再選定 ・水道ビジョン改定等準備 ◆上下水道施設の適正な維持管理 ・上水道施設の更新 ・管路の耐震化 ・下水道施設の更新、長寿命化及び耐震化	上下水道事業の健全な運営のため、作業の見直しやICTの活用により、業務の効率化と徴収率の向上を図るとともに、老朽化した上水道施設の更新及び管路の耐震化、老朽化した下水道施設の更新・長寿命化及び耐震化に取り組む。			
	R5	R6	R7	
	◆上下水道事業の経営推進 (民間企業のノウハウ活用) (調査研究)	⇒	⇒ (水道ビジョン、経営戦略見直し)	
◆上下水道施設の適正な維持管理 (上水道施設の更新) (管路の耐震化) (下水道施設の更新・長寿命化及び耐震化)	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
八幡市水道ビジョン推進	水道事業の運営基盤強化等を図るため策定したビジョンに基づき、事業経営を推進。中間改定については、経営戦略の策定と一体で行う。	0	0	0
	R4実績: 水道ビジョン推進			
営業関連業務	窓口及び検針・徴収・開閉栓業務委託及び上下水道事業に係る機器・システム・備品の管理等を行う。	134,955	128,360	128,985
	R4実績: 窓口及び検針・徴収・開閉栓業務委託継続			
原水及び浄水事業	水道水の安定供給に向け、供給事業者である京都府営水道から浄水の供給を受けるとともに、浄水場・受水場等施設の維持管理等を行う。	818,089	822,366	872,339
	R4実績: 府営水受水 4,533,179m ³ 等			
配水及び給水事業	水道水の安定供給に向け、配水管・給水管の維持管理等を行う。	91,809	88,560	103,540
	R4実績: 緊急修理 243件等			
【充実】 上水道施設整備事業	水道水の安定供給に向け、施設の新設及び更新、耐震補強等を行う。	50,817	31,350	179,035
	R4実績: 9号取水井新設詳細設計業務委託 美濃山浄水場自家発電機室等詳細設計業務委託			
配水管更新等事業	水道水の安定供給に向け、基幹管路や老朽化した配水管の更新による耐震化工事等を行う。	406,306 (繰越52,000)	383,504	244,220
	R4実績: 男山吉井地区配水管布設替他6件 L=3,648.4m			
量水器維持管理	量水器の購入。	13,122	12,969	24,800
	R4実績: 量水器購入数 3,759個			
八幡市下水道事業経営戦略推進	下水道事業のより一層の経営基盤の強化のため、中長期的な経営の基本計画として策定した「八幡市下水道事業経営戦略」を推進する。	0	0	0
	R4実績: 経営戦略推進			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第3節 持続可能な暮らしの基盤づくり

②公共施設の適正管理とインフラ施設の更新・耐震化・長寿命化

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
汚水管渠維持管理	下水道施設(汚水管渠)の管理及び維持補修・修繕等を行う。	96,814	88,023	86,911
	R4実績: 下水道施設(汚水)維持補修・修繕等			
汚水管渠改築更新事業	下水道施設(汚水管渠)のライフサイクルコスト縮減を図るため、更新及び長寿命化を行う。	83,615	76,888	91,204
	R4実績: 汚水本管改築更新 L=263m等			
汚水地震対策事業【再掲】	下水道施設(汚水管渠)の耐震化など総合的な地震対策を行う。	37,600	32,951	56,000
	R4実績: 耐震化 35箇所等			
雨水地震対策事業	八幡市から枚方市へ雨水が流入することから、枚方市の下水道施設(ポンプ場等)の耐震化に係る費用の一部を負担する。	51,100 (繰越39,300)	11,795	19,200
	R4実績: 北部ポンプ場耐震化費用負担			
雨水管渠維持管理	下水道施設(雨水管渠)の管理及び維持補修・修繕等を行う。	21,903	21,364	33,126
	R4実績: 下水道施設(雨水)維持補修・修繕等			
雨水管渠改築更新事業	下水道施設(雨水管渠)のライフサイクルコスト縮減を図るため、更新及び長寿命化を行う。	0	0	0
	R4実績: 実績なし			
ポンプ場管理運営費負担	枚方北部ポンプ場の利用者として、施設管理・整備等に係る費用を負担。	10,859	10,859	15,846
	R4実績: 枚方北部ポンプ施設管理・整備等費用負担			
流域等下水道管理	流域等下水道施設(枚方北部調整槽、洛南浄化センター、伏見水環境保全センター、淀川左岸流域下水道)の利用者として、施設管理運営等費用を負担。	427,326	427,441	511,676
	R4実績: 流域下水道施設管理運営等費用負担			
水洗化促進	市内の水洗化普及促進に向け、啓発や水洗化への金銭的支援を行う。	3,712	3,761	3,778
	R4実績: 水洗化普及促進の啓発活動			
公共下水道雨水事業	内水排除対策の充実に向け、雨水地下貯留施設の設置及び排水路の改修等を行う。	40,000	38,810	16,000
	R4実績: 橋本地区雨水排水管渠布設工事			
木津川流域下水道施設整備費負担	木津川流域下水道施設(処理場等)の利用者として京都府が実施する建設等費用の一部を負担。	137,510	62,453	92,809
	R4実績: 木津川流域下水道施設建設等費用負担			
淀川左岸流域下水道施設整備費負担	淀川左岸流域下水道施設(処理場等)の利用者として大阪府が実施する建設等費用の一部を負担。	6,610	3,553	2,215
	R4実績: 淀川左岸流域下水道施設建設等費用負担			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第4節 戦略的な行財政経営

①健全で持続可能な財政運営

1 計画的な行財政改革の推進		政策企画部、総務部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆第7次行財政改革実施計画策定・推進 ◆第8次行財政改革実施計画策定 ◆組織の見直し検討、事務改善委員会設置、組織改正実施 ◆中期財政見通しの推進	中期財政見通しで明らかとなった収支不足の解消と継続的な歳入歳出バランスを維持するため、行財政改革の取組を推進する。また、簡素で効率的かつ行政課題に的確に対応できる組織機構を構築するため、組織改正や分掌事務の見直しも検討、適宜実施する。			
	R5	R6	R7	
	◆第8次行財政改革実施計画に基づく取組の推進	⇒	⇒	
	◆組織の見直し検討	⇒	⇒	
◆中期財政見通しの推進	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
第8次行財政改革実施計画推進	八幡市行財政検討審議会への諮問・答申を経て第8次行財政改革実施計画について、計画の進捗管理を図るとともに、取組を推進する。	559	262	74
	R4実績: 審議会開催 5回、計画策定			
【R4終了】 第7次行財政改革実施計画実績取りまとめ	令和1～3年度の3カ年計画であった第7次行財政改革実施計画について、八幡市行財政検討懇談会への意見聴取を行うとともに、実績を取りまとめる。	37	31	—
	R4実績: 懇談会開催 1回、実績取りまとめ 3カ年累計効果額 1,565,307千円			
【R4終了】 令和4年度行財政改革取組計画推進	第7次と第8次実施計画の狭間となる令和4年度について、行財政改革に資する取組計画を策定し、推進を図る。	0	0	—
	R4実績: 取組推進			
中期財政見通しの推進	中期財政見通しに則り、財政健全化を実施。	0	0	0
	R4実績: 減債基金積立金増額 (200百万円増)			
地方公会計の整備・推進	財務諸表4表を整備し、市ホームページで市民に公表する。(平成28年度決算以降は国の統一的な基準による財務書類作成となる。)	437	437	423
	R4実績: 3年度決算に基づく財務諸表の公表			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第4節 戦略的な行財政経営

①健全で持続可能な財政運営

2 歳入の確保		政策企画部、総務部、市民生活部、健康福祉部、建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆使用料・手数料水準の見直し検討・実施 ◆市税・保険料等の収納率向上対策推進 ◆税源涵養に資する事業用地の創出を検討		庁舎整備をはじめとする大規模事業や今後の財政収支不足に備えるため、これまでの行財政改革の取組に加え、使用料・手数料水準の見直しや基金・ふるさと納税制度(企業版含む)の有効活用、関係機関と連携した市税等の賦課徴収、土地利用の見直しを行い、税源涵養策を展開し、歳入の確保を行う。		
		R5	R6	R7
		◆使用料・手数料水準の見直し検討	⇒	⇒
		◆市税・保険料等の収納率向上対策推進	⇒	⇒
		◆ふるさと納税制度(企業版含む)の活用による歳入の確保	⇒	⇒
		◆土地利用の見直し (区域区分見直しによる都市計画決定)	⇒ (市街化調整区域における地区計画決定)	⇒ (市街化調整区域における地区計画決定)
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
ふるさと応援寄附金	ふるさと納税制度に基づき、八幡市を応援する方からの寄附をクラウドファンディング型も含め募集し、歳入の確保を図る。	828	211	1,380
	R4実績: 寄付実績:58件、1,014,000円(うちCF型:30件、409,000円)			
まち・ひと・しごと創生寄附活用事業(企業版ふるさと納税)	国から認定を受けた「地域再生計画」に基づき実施する地方創生に関する事業に対し、企業からの寄附を募集することにより、歳入の確保を図る。寄附を行った企業は、法人関係税から最大9割の税額控除が受けられる。	0	0	0
	R4実績: 地域再生計画の認定(R5.3.31)			
基金の運用管理	各種基金の適正な管理運用と有効活用を実施。	-	-	-
	R4実績: -			
市税・保険料等収納率向上対策	各種市税・保険料等の収納率向上を図る。	0	0	0
	R4実績: 市税収納率 現年度 99.4% 過年度 34.0% 国民健康保険料収納率 現年度 94.3% 過年度 32.5% 介護保険料収納率 現年度 99.5% 過年度 10.6% 後期高齢者医療保険料収納率 現年度 99.7% 過年度 39.6%			
私債権収納率向上対策	「八幡市債権管理条例」に基づき、私債権の収納率向上を図る。	110,354	105,598	109,697
	R4実績: 住宅使用料収納率 現年度 91.5% 過年度 2.9% くらしの資金貸付金収納率 現年度 64.4% 過年度 2.4%			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第4節 戦略的な行財政経営

①健全で持続可能な財政運営

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
八幡市都市計画マスタープラン推進【再掲】	八幡市のめざす将来都市像の実現に向けたまちづくりの指針となる都市計画マスタープランを推進し、税源涵養に資する事業用地の創出について検討。	0	0	0
	R4実績: 計画推進			
都市計画調査・決定【再掲】	都市計画決定を進める中で、税源涵養に資する事業用地の創出について検討。	3,300	3,262	3,200
	R4実績: 市街化調整区域における地区計画決定(2地区)			
地籍調査事業【再掲】	地籍調査を実施し、固定資産税の課税適正化を推進。	6,170	5,850	14,600
	R4実績: 西山地区0.25km ² の地籍調査			
大谷飛地土地利用検討	大谷飛地について、周辺環境と調和した良好な低層住居系の土地利用を検討。	0	0	0
	R4実績: 関係機関等調整・協議			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第4節 戦略的な行財政経営

①健全で持続可能な財政運営

3 歳出の抑制		政策企画部、総務部、建設産業部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆対前年度当初予算比で同水準の維持を予算編成方針に明記 ◆公共施設に関する情報の集約 ◆第3セクター運営改善検討	庁舎整備をはじめとする大規模事業や今後の財政収支不足に備えるため、これまでの多様な担い手による行政サービスの提供や第3セクターの運営改善等、行財政改革の取組を継続し、歳出の抑制に繋げる。 また、公共施設の総合的かつ計画的な管理を推進するため、公共施設に関する情報を集約するとともに、民間のノウハウ等を活用した施設管理運営方法を検討し、維持管理経費の抑制に取り組む。			
	R5	R6	R7	
	◆公共施設に関する情報の集約	⇒	⇒	
	◆施設管理運営方法の検討	⇒	⇒	
	◆第3セクター運営改善検討	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
中期財政見通しを踏まえた収支不足への対応	義務的経費以外の経費について歳出一般財源ベースで対前年度当初予算額と同程度の水準の維持を編成方針に明記。	0	0	0
	R4実績: 減債基金積立金増額(200百万円増)			
公共施設の管理運営方法見直し検討	公共施設に関する情報の集約を行うとともに、民間のノウハウ等を活用した施設管理運営方法を検討。	0	0	0
	R4実績: 検討			
財産管理台帳システム運用【再掲】	公共施設等のマネジメントの推進に伴い、固定資産等の情報を集約した台帳を整備・更新する。	1,056	1,056	2,200
	R4実績: 維持管理に関するサポート			
第3セクター運営改善検討(やわた市民文化事業団)	運営改善に向け、利用者数・来場者数の増加方策を検討・実施。	0	0	0
	R4実績: 検討			
第3セクター運営改善検討(八幡市公園施設事業団)	運営改善に向け、利用者数の増加方策を検討・実施。	0	0	0
	R4実績: 検討			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第4節 戦略的な行財政経営

②意欲と能力にあふれた組織と職員づくり

1 人材マネジメントの強化		政策企画部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆働き方改革推進 ・定員管理・職員配置の適正化による時間外勤務の削減 ◆職員の能力等向上 ・職員研修の充実 ・職員提案制度の拡充	組織改正や分掌事務の見直しを含めた適切な定員管理や職員の適正配置によって、時間外勤務削減に取り組むとともに、研修や福利厚生の実施により職員の意欲と能力の向上に取り組む。			
	R5	R6	R7	
	◆職員の能力等向上 (職員研修の充実) (人材育成・組織改善事業の実施)	⇒	◆職員の能力等向上 (職員研修の充実) (人材育成・組織改善事業に基づく人材育成基本方針の再構築)	
◆働き方改革推進 (定員管理・職員配置の適正化による時間外勤務の削減)	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
八幡市人材育成基本方針推進	市役所を担う人材の育成を計画的・効果的に進めるため策定した基本方針に基づき、職員の育成を図る。	0	0	0
	R4実績: 研修計画に基づき職員研修を実施			
【新規】 人材育成・組織改善事業	市役所を担う職員の人材育成に向け、調査分析及びその結果を踏まえた改善策等の検討・試行に取り組むことにより、人材育成の仕組みづくりを行う。	-	-	10,400
	R4実績: -			
職員研修	職員の意欲と能力の向上を図るため、階層別研修や派遣研修等、効果的な職員研修を検討・実施。	4,910	3,192	13,784
	R4実績: 受講職員等 延1,066名			
職員提案制度	市民サービス及び職員の政策立案能力の向上等を目的に、職員による施策の提案制度を運用。令和元年度から政策研究型の類型を創設。	0	0	0
	R4実績: 職員提案 2件(採用1件)			
職員採用	適正な定員管理及び人員配置を図るため、計画的な職員採用を実施。	1,605	1,806	1,279
	R4実績: 職員採用 20人 月額会計年度任用 職員採用 17人			
職員福利厚生	職員の意欲と能力の向上を図るため、必要な福利厚生事業を検討・実施。	9,619	8,501	11,135
	R4実績: 健康診断受診者数 職員 587人			
人事評価制度運用	適切な人事管理と継続的な人材育成を図ることを目的として、職員個々の能力や業績などを反映した人材管理を行うための評価システムを確立。	0	0	0
	R4実績: 職員 540名を対象に実施			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第4節 戦略的な行財政経営

②意欲と能力にあふれた組織と職員づくり

2 組織の弾力的な運用		政策企画部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆組織改正実施 ◆組織の見直し検討、事務改善委員会設置	組織体制の最適化に向け継続的に見直しを図るとともに、特定課題の解決に向けた臨時的組織の運用や応援体制の構築について検討を行うなど、機動的な組織づくりに取り組む。			
	R5	R6	R7	
	◆組織運用	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
組織改正の推進	簡素で効率的かつ行政課題に的確に対応できる組織機構の構築を図るため、組織改正や分掌事務の見直しを検討し、適宜実施。	0	0	0
	R4実績: 7部1室所29課63係から5部3室2所29課14係に改正			
【新規】 人材育成・組織改善事業 【再掲】	市役所を担う職員の人材育成に向け、調査分析及びその結果を踏まえた改善策等の検討・試行に取り組むことにより、人材育成の仕組みづくりを行う。	—	—	10,400
	R4実績: —			
職員提案制度 【再掲】	市民サービス及び職員の政策立案能力の向上等を目的に、職員による施策の提案制度を運用。令和元年度から政策研究型の類型を創設。	0	0	0
	R4実績: 職員提案 2件			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第4節 戦略的な行財政経営

②意欲と能力にあふれた組織と職員づくり

3 公共を担う職員としての意識の向上		政策企画部、建設産業部		
これまでの取組(総括)	主な3年間の取組(総括)			
◆環境マネジメントシステム運用を通じた職員の環境配慮意識向上 ◆職員の地域活動への参加促進 ◆職員研修の実施	行財政改革において、職員が地域の一員として貢献につながる取組の検討・実施とともに、環境マネジメントシステムに基づく、職員用の環境に配慮した取組ガイドによる啓発と内部監査(中学生・市民監査)の実施によって、行政職員としての意識向上に取り組む。また、必要に応じて適宜各種職員研修を実施し、個々の職員の能力や意欲、理解の向上に取り組む。			
	R5	R6	R7	
	◆環境マネジメントシステム運用を通じた職員の環境配慮意識向上	⇒	⇒	
	◆職員の地域活動への参加促進	⇒	⇒	
◆職員研修の実施	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
職員研修【再掲】	職員の意欲と能力の向上を図るため、階層別研修や派遣研修等、効果的な職員研修を検討・実施。	4,910	3,192	13,784
	R4実績: 受講職員等 延1,066名			
職員提案制度【再掲】	市民サービス及び職員の政策立案能力の向上等を目的に、職員による施策の提案制度を運用。令和元年度から政策研究型の類型を創設。	0	0	0
	R4実績: 職員提案 2件(採用1件)			
環境マネジメントシステム運用【再掲】	環境マネジメントシステムの運用及び監査委員(市民・市内中学生)による監査を実施し、職員の環境配慮意識の向上を図る。	153	153	167
	R4実績: 環境マネジメントシステム(KES) 監査の実施			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第4節 戦略的な行財政経営

③新たな需要に応える効果的で効率的な行政サービスの提供

1 持続可能な行政経営を支えるPDCAサイクルの実施		政策企画部、総務部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
<p>◆第5次八幡市総合計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略の一体的な進捗管理</p> <p>・第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定</p> <p>・第5次総合計画後期基本計画策定</p> <p>◆出前講座の実施</p> <p>◆事務の効率化につながる方法の研究</p>	効率的にPDCAサイクルを実施できるよう、「第5次八幡市総合計画」の後期基本計画と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の一体的な進捗管理を図るとともに、事業検証の導入・実施により市が行う事業の妥当性を第三者の視点から検証し、公表する。また、出前講座実施による市政への理解促進と市民の声の市政への反映を行う。			
	R5	R6	R7	
	◆第5次八幡市総合計画後期基本計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略の懇談会委員の選任及び一体的な進捗管理	◆第5次八幡市総合計画後期基本計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略の一体的な進捗管理	⇒	
	◆事業検証の導入・試行	◆事業検証継続実施	⇒	
	◆出前講座の実施	⇒	⇒	
◆事務の効率化につながる方法の研究	⇒	⇒		
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
第5次八幡市総合計画推進	市の長期的なビジョン及び施策を総合的・体系的に示す第5次八幡市総合計画に基づき、各種施策を推進。	10,009	9,801	93
	R4実績: 検討懇談会開催・評価実施 第5次八幡市総合計画後期基本計画策定			
八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進	活力ある地域の維持に向けた魅力あるまちづくりを進めるための地方創生戦略に基づき、各種取組を推進。第5次八幡市総合計画と一体的な進行管理を図る。			
	R4実績: 検討懇談会開催・評価実施			
【新規】事業検証	事務事業の結果やプロセス等の妥当性について、第三者の視点から検証を行い、公表を行う。	—	—	500
	R4実績: —			
出前講座	職員が市民のもとに出向き、市の業務等に関する説明等を行う講座を実施。	0	0	0
	R4実績: 開催 47回 受講者 1,274人			
八幡市統計書発行	行政上の基礎資料として活用するため、八幡市の人口、産業、福祉、教育等の分野についての統計資料を収録した八幡市統計書を発行。	155	120	224
	R4実績: 統計書発行 100部			
各種統計調査	各種行政施策等の基礎資料を得るため、各種統計調査を実施。	1,930	1,794	4,880
	R4実績: 定例調査(学校基本) 臨時調査(就業構造基本調査)			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第4節 戦略的な行財政経営

③新たな需要に応える効果的で効率的な行政サービスの提供

2 効果的・効率的な行政サービスの提供		政策企画部、総務部、市民生活部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆京都府地域情報ファクトブック等へ情報発信 ◆オープンデータ活用推進・検討		市民サービスの向上のため、簡素で効率的かつ行政課題に的確に対応できる組織改正や分掌事務の見直し、コンビニ交付サービス等を実施する。また、行政事務の効率化に向けたICTの活用研究を行い、RPAの導入を推進する。加えて市民課窓口業務の一部委託を令和5年度中に開始する。		
		R5	R6	R7
		◆情報発信の充実 (新たな情報発信方法の研究・検討・活用)	⇒	⇒
		◆情報公開制度の運用	⇒	⇒
		◆RPAの導入 (調査研究・導入人員配置反映検討)	⇒	⇒ (調査研究・導入拡大人員配置反映検討)
		◆オープンデータ活用推進・検討	⇒	⇒
		◆市民課窓口業務一部委託開始	⇒	⇒
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
【R4終了】 庁舎整備事業 (電子決裁等導入)	事務効率化及びペーパーレス化を推進すること、また、内部情報系の事務システムの更新に合わせて、財務会計、文書管理、庶務事務、電子決裁等のシステムを新たに更新、整備する。 R4実績： 庶務事務、財務会計導入・稼働	86,000	85,797	-
【充実】 ICTの活用研究	行政事務の効率化に向けたICTの活用研究を行うとともに、RPAの導入を推進する。 R4実績： RPA・AI-OCR・BPRツール・外部アドバイザー等検討	3,049	3,040	5,457
マイナンバー制度推進	マイナンバー制度の適切な運用を図るとともに、マイナンバーカードの活用等を検討。 R4実績： 制度推進	0	0	0
組織改正の推進 【再掲】	簡素で効率的かつ行政課題に的確に対応できる組織機構の構築を図るため、組織改正や分掌事務の見直しを検討し、適宜実施。 R4実績： 7部1室所29課63係から5部3室2所29課14係に改正	0	0	0
オープンデータ活用の推進	オープンデータ活用の推進に向け、検討を行う。 R4実績： 新たなオープンデータ化の検討	0	0	0
法律相談	法的問題の解決に向け、弁護士相談及び司法書士相談を行う。 R4実績： 弁護士相談 開催36回 相談251件 司法書士相談 開催12回 相談56件	1,728	1,715	1,728

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第4節 戦略的な行財政経営

③新たな需要に応える効果的で効率的な行政サービスの提供

具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
行政書士相談	遺言や成年後見制度などの書類作成等を支援するため、無料の行政書士相談を開催。 R4実績： 開催12回 相談40件	19	14	19
行政相談 (総務省事業)	総務省が実施している行政相談の開設場所を市で提供し、国や府、市などの行政に関する苦情や意見・要望を受け付ける。 R4実績： 開催12回	19	14	19
戸籍住民基本台帳事務	戸籍や住民票、その他証明書等の発行を行うとともに、住民票等コンビニ交付サービスや地域窓口の運営を実施。また、市民課窓口の一部民間委託を令和5年度中に開始する。 R4実績： 証明書発行枚数 62,717枚	211,361 (繰越:2,320)	185,323	206,700

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第4節 戦略的な行財政経営

③新たな需要に応える効果的で効率的な行政サービスの提供

3 市の魅力と情報発信の充実		政策企画部、総務部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆情報発信の充実 ・新たな情報発信方法の研究・検討・活用 ◆情報公開制度の運用	情報発信の充実として、時代に即した情報発信方法の有効性の研究と活用の検討とともに、情報公開制度の適切な運用や、公共データの活用を推進する。			
	R5	R6	R7	
	◆情報発信の充実 (新たな情報発信方法の研究・検討・活用)	⇒	⇒	
	◆情報公開制度の運用	⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算 (千円)	決算見込 (千円)	予算 (千円)
広報やわた発行	市政情報や各種イベント、まちの話題などを掲載した広報紙を毎月発行し、全戸に配布。	15,610	15,441	14,985
	R4実績: 毎月32,200部発行			
【充実】 ホームページ管理運営	市政情報などを随時発信。	1,913	1,913	6,313
	R4実績: アクセス数 1,407,640件			
Instagram市アカウント運営	市の旬の話題などを写真で随時発信するとともに、各種企画を実施。	15	15	30
	R4実績: フォロワー数 6,308件			
LINE・Twitter市アカウント運営	市政情報や各種イベントなどを随時配信。	15	9	15
	R4実績: LINE友だち数 3,522件、Twitterフォロワー数 2,244件			
市公式YouTubeチャンネル開設・運営	各課が保有する既存動画の集約および配信。	0	-	0
	R4実績: チャンネル登録者数 241人			
情報公開制度推進	説明責任を果たし、公平公正な市政を推進するため、公文書及び自己情報の情報公開を行う。	0	0	0
	R4実績: 公文書 325件 自己情報 8件			
【新規】 事業検証 【再掲】	事務事業の結果やプロセス等の妥当性について、第三者の視点から検証を行い、公表を行う。	-	-	500
	R4実績: -			
入札契約制度の適正化の促進	八幡市入札制度懇話会を設置・開催し、入札契約制度の公正の確保及び透明性の向上を図る。	49	40	49
	R4実績: 入札制度懇話会開催 2回			

第6章 持続可能な「安心・安全のまち やわた」

第4節 戦略的な行財政経営

③新たな需要に応える効果的で効率的な行政サービスの提供

4 個人情報保護と情報セキュリティ		政策企画部、総務部		
これまでの取組(総括)		主な3年間の取組(総括)		
◆個人情報保護の推進 ◆IT推進行動計画推進 ◆京都自治体情報セキュリティクラウドの利用継続 ◆職員向けセキュリティ関連研修の実施	個人の権利利益を保護するため、組織的な個人情報保護施策の推進とともに、特定個人情報情報を適正に取り扱うため、監査や研修等、適切な安全管理措置を実施。また、情報セキュリティについては、不正情報の監視を集約的に実施する京都自治体情報セキュリティクラウドの利用継続と、情報セキュリティに高い関心と意識を保持できるよう職員研修を実施。			
		R5	R6	R7
	◆個人情報保護の推進		⇒	⇒
	◆IT推進行動計画推進		⇒	⇒
	◆京都自治体情報セキュリティクラウドの利用継続		⇒	⇒
◆職員向けセキュリティ関連研修の実施		⇒	⇒	
具体的事業名	概要・実績	R4		R5
		予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
個人情報保護制度推進	各課等での適切な個人情報の取扱いを実施する。	0	0	0
	R4実績: 個人情報ファイル件数1,106件 個人情報保護法施行条例制定			
社会保障・税番号制度(特定個人情報保護)	番号制度の導入に伴い、各課が保有する特定個人情報の適正な取扱いを確保する。	0	0	0
	R4実績: 職員研修 2回 評価 新規1事務			
八幡市IT推進行動計画推進	向こう3カ年で重点的に取り組むべき情報施策を示した行動計画に基づき、IT関連事業を実施。	0	0	0
	R4実績: 計画策定(令和4年度～令和6年度)			
京都自治体情報セキュリティクラウドの活用	京都府が運営するセキュリティクラウド(SC)の利用により外部との情報通信を安全かつ確実に実施。	7,210	7,163	6,630
	R4実績: SCの高度なセキュリティ対策を利用			
情報セキュリティ研修の実施	事務用パソコンの利用に際し、情報セキュリティ意識と取扱い技能の向上を目指す。	0	0	0
	R4実績: 開催回数 46 参加人数 144名			
標的型メール訓練の実施	特定の組織や個人の情報窃取等を行う標的型メール攻撃への対応強化を図るため、訓練を実施。	0	0	0
	R4実績: 実施回数 2 参加人数 延1,899名			
特定個人情報の取扱いに関する教育研修	特定個人情報取扱担当者に情報システムの管理及びセキュリティ対策に必要な教育研修を実施。	0	0	0
	R4実績: 実施回数 1 受講人数 274名			